

Speed Wi-Fi NEXT WX01

取扱説明書 詳細版



技術基準適合認証品

ごあいさつ

このたびは、Speed Wi-Fi NEXT WX01（以下、「本製品」と表記します）をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。ご使用前に『取扱説明書 詳細版』（本書）をお読みいただき、正しくお使いください。

本製品の取扱説明書として、同梱の『つなぎかたガイド』および『ご利用にあたっての注意事項』、WiMAX Support Information ホームページで提供の『取扱説明書 詳細版』（本書）をご用意しています。本書ではこれらを総称して『取扱説明書』と表記します。

- 『取扱説明書』のPDF ファイルは、WiMAX Support Information ホームページからダウンロードできます。

<http://www.necat.co.jp/wimax/support/uqc/nad31/index.html>

- 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

■ For Those Requiring an English Instruction Manual

英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the "Setup Guide" and "Notes on usage" from the WiMAX Support Information website (available from approximately one month after the product is released).

『つなぎかたガイド（英語版）』と『ご利用にあたっての注意事項（英語版）』を WiMAX Support Information ホームページに掲載しています（発売約 1 ヶ月後から）。

<http://www.necat.co.jp/wimax/support/uqc/nad31/index.html>

- 本書に記載しているイラストおよび画面は、実際の製品とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合があります。あらかじめご了承ください。

■ 免責事項および安全上のご注意

本製品をご利用になる前に、『取扱説明書 詳細版』（本書）の「免責事項について」（●P3）および「安全上のご注意（必ずお守りください）」（●P5）をお読みのうえ、正しくご使用ください。

■ 本製品をご利用いただくにあたって

- 本製品は WiMAX 2+ と WiMAX に接続する機能を有します。電波環境によって WiMAX 2+ と WiMAX を自動的に切り替えて通信を行います。切替時に数秒間通信ができない時間が生じることがございます。
- 通信中は、身体から 1.5 センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。
- サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル・地下など）では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご注意ください。（ただし、WiMAX 2+ 方式および WiMAX 方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております。）
- 本製品は国内でのご利用を前提としています。国外に持ち出での使用はできません。（This Product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.）
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があります。その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書』をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

■ マナーも携帯する

■ こんな場所では、使用禁止！

- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示にしたがってください。

■ 使う場所に気をつけて！

- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使しましょう。
- 本製品の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まったの操作は控えましょう。
- 新幹線の中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。

■ 周りの人への配慮も大切！

- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

■ 免責事項について

- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 『取扱説明書』の記載内容を守らないことにより、生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、設定内容などが変化または消失することがありますが、これらにより生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをお勧めします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

※ 本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。

発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）

製造元：NEC プラットフォームズ（株）




■ 輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

安全上のご注意(必ずお守りください)







■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■表示の説明


 危険	この表示は「人が死亡または重傷 ^(※1) を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
 警告	この表示は「人が死亡または重傷 ^(※1) を負うことが想定される内容」を示しています。
 注意	この表示は「人が軽傷 ^(※2) を負うことが想定される内容や物的損害 ^(※3) の発生が想定される内容」を示しています。









- ※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
- ※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
- ※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。


■図記号の説明




 禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
 ぬれ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 指示	必ず実行していただくこと（強制）を示す記号です。
 プラグをコンセントから抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただく（強制）内容を示しています。










■ 本体、電池パック、充電用機器、au Micro IC Card (LTE)、周辺機器共通


 **危険** 必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。





- 必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。 
- 高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。 
- ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。ガスに引火するおそれがあります。 
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。 
- 火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。 
- 接続端子をショートさせないでください。また、接続端子に導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、内部に入らないようにしてください。発熱による火災・故障・やけどの原因となります。誤って内部に異物が入ったときは、ご契約された WiMAX 事業者までご連絡ください。 
- 金属製のアクセサリなどをご使用になる場合は、充電の際に接続端子やコンセントなどに触れないように十分ご注意ください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。 
- お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品本体や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。本製品の改造は電波法違反になります。 








 **警告** 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

- 落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・故障の原因となります。 
- 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。 
- 接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。 


- 本製品が落下などによって破損し、ディスプレイが割れたり、機器内部が露出した場合、割れたディスプレイや露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをする場合があります。ご契約された WiMAX 事業者までご連絡ください。 
- 本製品が濡れている状態で充電を行うと、感電や回路のショート、腐食が発生し、発熱による火災・故障・やけどの原因となります。 

- 水などの液体をかけないでください。また、水やペットの尿などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手でのご使用は絶対にしないでください。感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。万一、液体がかかった場合には直ちに AC アダプタの電源プラグを抜いてください。水濡れや湿気による故障は、保証の対象外となり有償修理となります。ご契約された WiMAX 事業者までご連絡ください。 

- 背面カバーを取り外す際、必要以上に力を入れないでください。電池パックが飛び出すなどして、けがや故障の原因となる場合があります。 
- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩きながらの操作はしないでください。安全性を損ない、事故の原因となります。 
- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。 
- 乳幼児の手が届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。 




 **注意** 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。


- 直射日光の当たる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・発火・変形・故障の原因となる場合があります。 
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。また、衝撃などにも十分ご注意ください。 
- 使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災・故障・傷害の原因となります。 
- 外部から電源が供給されている状態の本体、指定の周辺機器に長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。 


- 本製品を長時間で使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となります。 
- コンセントや配線器具は定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。 
- 背面カバーを外したまま使用しないでください。 
- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。 
- 本体から背面カバーを外したまま、放置・保管しないでください。内部にほこりなどの異物が入ると故障の原因となります。誤って内部に異物が入ったときは、ご契約された WiMAX 事業者までご連絡ください。 
- 使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなどの異常が起きたときは使用をやめてください。充電中であれば、指定の充電用機器をコンセントから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、電池パックを外して、ご契約された WiMAX 事業者までご連絡ください。また、落下したり、破損した場合なども、そのまま使用せず、ご契約された WiMAX 事業者までご連絡ください。 
- 充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。また、正しい方向で抜き差ししないと、破損・故障の原因となります。 


■ 本体について


 **警告** 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中に本製品を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の本製品の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の本製品の使用も法律などで罰せられる場合があります。 
- 病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では本製品の電源を切ってください。電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。 
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。 






- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。
 1. 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の装着部位から15cm以上離して携行および使用してください。
 2. 身動きが自由に取れない状況など、15cm以上の離隔距離が確保できないおそれがある場合、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、事前に本製品の電源を切ってください。
 3. 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示にしたがってください。
 4. 医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。

 **注意** 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

- 自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

- 皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。本製品で使用している各部品の材質は以下の通りです。 

使用箇所	使用材質 < 表面処理 >
<Speed Wi-Fi NEXT WX01本体>	
ディスプレイパネル部	PMMA
外装ケース	PC樹脂<塗装>
電源ボタン	PC樹脂
SETボタン	PC樹脂
SELECTボタン	PC樹脂
背面カバー	PC樹脂<塗装>
<ACアダプタ>	
外装ケース	PC+MBS樹脂(PC系アロイ)
電源プラグ	銅合金<ニッケルメッキ>
USBレセプタクル(シールド部)	銅合金<ニッケルメッキ>、LCP樹脂
<microUSBケーブル>	
ケーブル(ジャケット部)	PVC樹脂
USBプラグ(シールド部)	鉄<ニッケルメッキ>、PBT樹脂
USBプラグ(樹脂部)	PVC樹脂
microUSBコネクタ(シールド部)	ステンレス<ニッケルメッキ>、LCP樹脂
microUSBコネクタ(樹脂部)	PVC樹脂
<電池バック>	
外装(樹脂部)	PC樹脂
外装(ラベル)	PET
接続端子部	PCB<金メッキ>

- SIM カードスロットに液体、金属体、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障・傷害の原因となります。誤って異物が入ったときは、ご契約された WiMAX 事業者までご連絡ください。 
- ストラップなどを持って、本製品を振りまわさないでください。けがなどの事故や破損の原因となります。 
- 通常は背面カバーを閉めた状態で使用してください。背面カバーを閉めずに使用すると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。 
- 砂浜などの上に直に置かないでください。microUSB ポートなどから、本製品本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。 
- 通信中などの使用中は、本体が熱くなることがありますので、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。火災・傷害・故障の原因となる場合があります。 

■ 電池パックについて





Li-ion 00


（本製品の電池パックは、リチウムイオン電池です。）
電池パックは工場出荷時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。










！ 危険 必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

- 電池パックのプラス(+)とマイナス(-)をショートさせないでください。⊘
- 電池パックを本製品に接続するときは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると、破裂・火災・発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理せず、接続部を十分に確認してから接続してください。⊘
- 釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。発火や破損の原因となります。⊘
- 持ち運ぶ際や保管するときは、金属片（ネックレスやヘアピンなど）などと接続端子が触れないようにしてください。ショートによる発熱・発火・火災・漏液・故障の原因となる場合があります。⊘
- 分解・改造をしたり、直接ハンダ付けをしたりしないでください。電池内部の液が飛び出し、目に入ったりして失明などの事故や発熱・発火・破裂の原因となります。⊘
- 落としたり、踏み付けたり、破損や液漏れした電池パックを使用しないでください。発熱・発火・漏液・故障・傷害の原因となる場合があります。液漏れや異臭がするときは直ちに火気から遠ざけてください。漏れた液に引火し、発火・破裂の原因となります。⊘
- 電池パックを水や海水・ペットの尿などで濡らさないでください。電池パックが濡れると発熱・破裂・発火・故障・傷害の原因となります。誤って水などに落としたときは、直ちに電源を切り、電池パックを外して、ご契約された WiMAX 事業者までご連絡ください。また、濡れた電池パックは充電をしないでください。⊘
- 液漏れて皮膚や衣服に付着した場合は、傷害をおこすおそれがありますので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますのでこすらずに水で洗った後、直ちに医師の診断を受けてください。機器に付着した場合は、液に直接接触しないで拭き取ってください。⚠






- 電池パックは消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、指定の新しい電池パックをお買い求めください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。なお、寿命は使用状態などにより異なります。 
- ペットが電池パックに噛みつかないようにご注意ください。電池パックの漏液・発熱・破裂・発火・火災・故障・傷害などの原因となります。 

■ 充電用機器について

 **警告** 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。


- 指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電・傷害などの原因となります。AC100V～AC240V(50/60Hz)に対応している日本国内家庭用のACアダプタをご利用ください。 
- 指定の充電用機器の電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと感電や発熱・発火による火災・傷害の原因となります。指定の充電用機器が傷んでいるときや、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。 
- 指定の充電用機器のケーブルを傷付けたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだケーブルは使用しないでください。感電・ショート・火災・傷害の原因となります。 
- 接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。 
- 雷が鳴り出したら電源プラグに触れないようにしてください。落雷による感電などの原因となります。 
- お手入れをするときは、指定の充電用機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電や回路のショートの原因となります。 
- 電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。火災、やけど、感電の原因となります。 
- 長時間使用しない場合はACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いておいてください。火災・故障の原因となります。 
- 水やペットの尿など液体が直接かからない場所でご使用ください。発熱・火災・感電・傷害・電子回路のショートによる故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちにACアダプタの電源プラグを抜いてください。 

⚠ 注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。





- 風呂場などの湿気の多い場所で使用したり、濡れた手で AC アダプタを抜き差ししないでください。感電・故障・傷害の原因となります。
- 充電は安定した場所で行ってください。傾いたところやぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。火災・故障・傷害の原因となります。
- 指定の充電用機器の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。
- 本体から電池パックを外した状態で指定の充電用機器を差したまま放置しないでください。発火・感電・傷害の原因となります。










■ au Micro IC Card (LTE) について

⚠ 警告 必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に au Micro IC Card (LTE) を入れないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

⚠ 注意 必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

- au Micro IC Card (LTE) の取り付け・取り外しの際にご注意ください。手や指を傷付ける可能性があります。
- au Micro IC Card (LTE) を使用する機器は、当社が指定したものをご使用ください。指定品以外のものを使用した場合はデータの消失や故障の原因となります。
指定品については、ご契約された WiMAX 事業者へお問い合わせください。
- au Micro IC Card (LTE) を分解、改造しないでください。データの消失・故障の原因となります。
- au Micro IC Card (LTE) を火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

-
- au Micro IC Card (LTE) を火の中に入れてたり、加熱したりしないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。 
 - au Micro IC Card (LTE) の IC (金属) 部分を不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失・故障の原因となります。 
 - au Micro IC Card (LTE) を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。 
 - au Micro IC Card (LTE) を折ったり、曲げたり、重いものを載せたりしないでください。故障の原因となります。 
 - au Micro IC Card (LTE) を濡らさないでください。故障の原因となります。 
 - au Micro IC Card (LTE) の IC (金属) 部分を傷付けないでください。故障の原因となります。 
 - au Micro IC Card (LTE) はほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。 
 - au Micro IC Card (LTE) 保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。故障の原因となります。 
 - au Micro IC Card (LTE) は、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。 

取り扱い上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、電池パック、充電用機器、au Micro IC Card (LTE)、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れて、中で重いものの下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
また、外部接続器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。
(周囲温度 5℃～35℃、湿度 35%～85%の範囲内でご使用ください。)
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて接続端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷が付く場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、外装の印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになってる近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 通信中や充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 本体が高温になった場合、保護機構が働き、自動的に電源が切れることがあります。その際は、しばらくしてから電源を入れ直して使用してください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書』をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- 電池パックは電源を切ってから取り外してください。電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されたデータが変化・消失するおそれがあります。

■ 本体について

- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- ボタンやディスプレイの表面に爪や鋭利なもの、硬いものなどを強く押し付けしないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- 背面カバーを外したところに貼ってある「技適マーク」の印刷されたシールは、お客様が使用されている本製品および通信モジュールが電波法および電気通信事業法に適合したものであることを証明するものですので、はがさないでください。
- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。
本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク」が本製品本体の銘板シールに表示されております。
本製品本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。
- 本製品は不正改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。
- 本製品に登録された内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品で使用している有機 EL ディスプレイは、非常に高度な技術で作られています。一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。また、見る角度によっては明るさのむらが見える場合があります。これらは有機 EL ディスプレイの特性によるもので、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 有機 EL ディスプレイは、同じ画像を長く表示し続けたり、極端に長く使用したりすると部分的にディスプレイの照度が落ちますが、これらは有機 EL ディスプレイの特性によるもので故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 有機 EL ディスプレイに直射日光を当てたまま放置すると、故障の原因となります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。
- 本製品の温度上昇や電池残量の低下などにより、ディスプレイの輝度が落ちる場合があります。

- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります（結露といいます）。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- microUSB コネクタに外部機器を接続するときは、microUSB コネクタに対して外部機器のコネクタがまっすぐになるように抜き差ししてください。
- microUSB コネクタの外部機器を接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 通常のごみと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品の回収にご協力ください。au ショップなどで本製品の回収を行っております。
- 本製品の SIM カードスロットには、au Micro IC Card (LTE) カード以外のものは挿入しないでください。
- au Micro IC Card (LTE) の取り付け・取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。手や指を傷付ける場合があります。
- au Micro IC Card (LTE) の読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電池パックを取り外したり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。

■ 電池パックについて

- 夏期、閉めきった（自動車）車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では電池パックの容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 長時間使用しない場合は、本体から背面カバーを外して電池パックを外し、高温多湿を避けて保管してください。

-
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。
 - 電池パックは消耗品です。充電しても機能が回復しない場合は寿命ですので、指定の電池パックをご購入ください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。
 - 通常のごみと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった電池パックの回収にご協力ください。au ショップなどで使用済み電池パックの回収を行っております。
 - 電池パックは、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■ 充電用機器について

- ご使用にならないときは、指定の充電用機器の電源プラグをコンセントから外してください。
- 指定の充電用機器の電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。感電、発熱、火災の原因となります。
- 充電用機器のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電、発熱、火災の原因となります。

■ au Micro IC Card (LTE) について

- au Micro IC Card (LTE) は、au からお客様にお貸し出したものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますのでご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、ご契約された WiMAX 事業者へお問い合わせください。
- au Micro IC Card (LTE) の取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。本製品への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他の IC カードリーダー／ライターなどに、au Micro IC Card (LTE) を挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au Micro IC Card (LTE) の IC (金属) 部分はいつもきれいな状態で使用ください。お手入れは乾いた柔らかい布 (めがね拭きなど) などで拭いてください。
- au Micro IC Card (LTE) にシールなどを貼らないでください。
- 変換アダプタを取り付けた IC カードを挿入しないでください。故障の原因となります。

■ 著作権・肖像権について

- お客様が本製品でインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。
また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。
※控え作成の手段：本製品の設定内容をパソコンに保存することができます。詳細は、「9-9 メンテナンス」の「設定値の保存&復元」(●P9-43)を参照してください。
ただし、上記の手段でも控えが作成できないデータがあります。あらかじめ、ご了承ください。

■ PIN コードについて

PIN コード

- 第三者による au Micro IC Card (LTE) の無断使用を防ぐために、電源を入れるたびに PIN コードの入力を必要にすることができます。また、PIN コードの入力可否を設定する場合にも入力が必要となります。
- PIN コードは 3 回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PIN ロック解除コードを利用して解除できます。
 - ・ お買い上げ時の PIN コードは「1234」、入力可否は「入力不要」に設定されていますが、お客様の必要に応じて PIN コードは 4 ～ 8 桁のお好きな番号、入力可否は「入力必要」に変更できます。

PIN ロック解除コード

- PIN コードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。
 - ・ PIN ロック解除コードは、au Micro IC Card (LTE) が取り付けられていたプラスチックカード裏面に印字されている 8 桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
 - ・ PIN ロック解除コードを入力した場合は、新しく PIN コードを設定してください。
 - ・ PIN ロック解除コードを 10 回連続で間違えた場合は、ご契約された WiMAX 事業者までお問い合わせください。
 - ・ 「PIN コード」はデータの初期化を行ってもリセットされません。

■ Bluetooth® / 無線 LAN (Wi-Fi®) 機能について

- Bluetooth® 機能は日本国内でご使用ください。本製品の Bluetooth® 機能は日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。海外でご利用になると罰せられることがあります。
- すべての Bluetooth® 機器との接続を保証するものではありません。
- 無線 LAN (Wi-Fi®) 機能は日本国内でご使用ください。本製品の無線 LAN (Wi-Fi®) 機能は日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。海外でご利用になると罰せられることがあります。
- 無線 LAN (Wi-Fi®) や Bluetooth® 機器が使用する 2.4GHz 帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線 LAN (Wi-Fi®) アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

■ 2.4GHz 帯ご使用上の注意

本製品の Bluetooth® 機能 / 無線 LAN (Wi-Fi®) 機能は 2.4GHz 帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
 2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
 3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、ご契約された WiMAX 事業者までご連絡ください。
- ◎ 本製品はすべての Bluetooth®・無線 LAN (Wi-Fi®) 対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべての Bluetooth®・無線 LAN (Wi-Fi®) 対応機器との動作を保証するものではありません。
 - ◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線 LAN (Wi-Fi®) の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線 LAN (Wi-Fi®) によるデータ通信を行う際はご注意ください。
 - ◎ 無線 LAN (Wi-Fi®) は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

- ◎ Bluetooth®・無線 LAN（Wi-Fi®）通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ Bluetooth®と無線 LAN（Wi-Fi®）は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断されることがあります。接続に支障がある場合は、今お使いの Bluetooth®、無線 LAN（Wi-Fi®）のいずれかの使用を中止してください。

本製品の Bluetooth® 機能および無線 LAN（Wi-Fi®）機能は、2.4GHz 帯の周波数を使用します。

- Bluetooth® 機能：2.4FH1 本製品は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として FH-SS 変調方式を採用し、与干渉距離は約 10m 以下です。
- 無線 LAN（Wi-Fi®）機能：2.4DS/OF4 本製品は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として DS-SS 方式および OFDM 方式を採用しています。与干渉距離は約 40m 以下です。全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

2.4DS4/OF4/FH1

2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す

DS4 : DS-SS 方式で想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す

OF4 : OFDM 方式で想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す

FH1 : FH-SS 方式で想定される干渉距離が 10m 以下であることを示す

■:■:■:■: 全帯域を使用し、かつ本製品としては移動体識別装置の帯域を回避不可能であることを意味する

- 本製品を 2.4GHz 帯で運用する場合、干渉低減や周波数利用効率向上のため、チャンネル設定として CH1、CH6、CH11 のいずれかにすることを推奨します。ただし、無線 LAN（Wi-Fi®）以外のシステムとの干渉を避けるために、推奨の CH1、CH6、CH11 以外を使用しなければならない場合はこの限りではありません。（使用チャンネルの設定方法は、「9-4 無線 LAN 設定」▶P9-12 を参照してください。）

■ 5GHz 帯ご使用上の注意

本製品の無線 LAN（Wi-Fi®）機能は 5GHz 帯を使用します。電波法により 5.2GHz 帯および 5.3GHz 帯の屋外利用は禁止されております。

本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。

IEEE802.11b/g/n

W52 (5.2GHz 帯 / 36, 40, 44, 48ch)

IEEE802.11a/n/ac

W53 (5.3GHz 帯 / 52, 56, 60, 64ch)

J52 W52 W53 W56

W56 (5.6GHz 帯 / 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch)

■ データ通信端末の比吸収率（SAR）について

この機種 Speed Wi-Fi NEXT WX01 は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

このデータ通信端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、本データ通信端末に対する SAR の許容値は 2.0W/kg です。このデータ通信端末を本取扱説明書に記述する通常使用の場合の SAR の最大値は 0.211W/kg です。個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

データ通信端末は、携帯電話等基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信している状態では、通常 SAR はより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、データ通信端末の出力は小さくなります。

通信中は、身体から 1.5 センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本データ通信端末が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで 20 年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ <http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ <http://www.arib-emf.org/index02.html>

NEC プラットフォームズ（株）のホームページ

<http://www.necat.co.jp/wimax/support/uqc/nad31/index.html>

au のホームページ

<http://www.au.kddi.com/>

※技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第 14 条の 2）で規定されています。

目次

安全上のご注意（必ずお守りください）	5
目次	23
1 章 ご利用の準備	
1-1 本製品の使いかた	1-2
1-2 箱の中身をチェックしよう	1-4
1-3 各部の名称とはたらき	1-5
本体	1-5
クレードル（別売）	1-8
1-4 au Micro IC Card (LTE) について	1-10
au Micro IC Card (LTE) を取り付ける	1-10
au Micro IC Card (LTE) を取り外す	1-11
1-5 電池パックを取り付ける／取り外す	1-12
電池パックを取り付ける	1-12
電池パックを取り外す	1-12
1-6 充電のしかた	1-14
充電のしかた	1-14
充電時間	1-15
電池残量	1-15
1-7 電源 ON/OFF のしかた	1-16
1-8 あらかじめ確認してください	1-17
接続端末の準備	1-17
2 章 基本操作	
2-1 基本的な操作を覚える	2-2
ディスプレイメニューについて	2-2
2-2 クイック設定 Web について	2-4
クイック設定 Web を起動する	2-4
クイック設定 Web のトップページ	2-5
詳細設定にログインする	2-6
詳細設定のトップページ設定画面	2-7
3 章 無線 LAN (Wi-Fi®) 接続 / USB 接続 / Bluetooth 接続	
3-1 無線 LAN (Wi-Fi®) で接続する	3-2
ディスプレイメニューで無線 LAN 情報を確認する	3-2
Windows パソコンを接続する	3-4
Mac を接続する	3-8
スマートフォン／タブレット (Android) を接続する	3-9
iPhone/iPod touch/iPad/iPad mini を接続する	3-11
ニンテンドー 3DS LL/3DS/DSi LL/DSi/DS Lite/DS を接続する	3-14
Wii U を接続する	3-18
Wii を接続する	3-21
PlayStation®Vita を接続する	3-22
PSP®「プレイステーション・ポータブル」を接続する	3-24
「プレイステーション 3」を接続する	3-25
「プレイステーション 4」を接続する	3-26
WPS 対応の無線 LAN (Wi-Fi®) 端末を接続する	3-27
3-2 USB で接続する	3-30
USB で接続する	3-30

3-3	Bluetooth で接続する	3-32
	本製品の Bluetooth デバイス名などをあらかじめ控えておく	3-32
	本製品の Bluetooth を「ON」にする	3-33
	設定する	3-34
4 章	WAN 側回線の接続設定	
4-1	WiMAX 2+/WiMAX	4-2
	接続先設定方法	4-2
4-2	Wi-Fi スポット	4-4
	接続先設定方法	4-5
	WiMAX 2+/WiMAX と Wi-Fi スポット接続の切り替え方法	4-7
5 章	便利な機能	
5-1	らくらく QR スタートを使う	5-2
5-2	ECO 機能を使う	5-4
	無線スリープ	5-4
	自動省電力	5-4
5-3	スマートフォンアプリで情報を見る	5-6
	「NEC WiMAX 2+ Tool」をダウンロード/インストールする	5-6
	情報表示	5-6
5-4	休止状態から起動する (リモート起動)	5-11
5-5	5GHz 帯で利用する	5-13
5-6	その他の便利な機能	5-15
	VPN パススルー	5-15
	IP パケットフィルタリング	5-19
	ポートマッピング	5-19
	UPnP 機能	5-19
6 章	セキュリティ対策をする	
6-1	セキュリティ機能について	6-2
	セキュリティ機能について	6-2
	暗号化	6-3
	ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)	6-4
	MAC アドレスフィルタリング機能	6-4
	ネットワーク分離機能	6-5
	アドバンスド NAT (IP マスカレード /NAPT)	6-5
	不正アクセス検出機能	6-6
	ダイナミックポートコントロール機能	6-6
7 章	バージョンアップをする	
7-1	ファームウェアをバージョンアップする	7-2
	ファームウェアをバージョンアップする	7-2
7-2	クイック設定 Web 画面でのバージョンアップ	7-4
	ファームウェアをダウンロードし、バージョンアップする	7-10
8 章	工場出荷時の状態に戻す (初期化)	
8-1	ディスプレイメニューで初期化する	8-2
	ディスプレイメニューで初期化する	8-2
8-2	クイック設定 Web で初期化する	8-3
	クイック設定 Web で初期化する	8-3

9章 機能設定

9-1	クイック設定 Web について	9-2
	クイック設定 Web を起動する	9-2
	クイック設定 Web のトップページ	9-3
	詳細設定にログインする	9-4
	詳細設定のトップページ設定画面	9-5
9-2	各種機能の詳細設定をする (詳細設定)	9-6
9-3	ネットワーク設定	9-7
	基本設定	9-7
	接続設定	9-8
	プロファイル設定	9-9
	通信量カウンター	9-11
9-4	無線 LAN 設定	9-12
	無線 LAN 設定	9-12
	MAC アドレスフィルタリング	9-18
	WPS 設定	9-20
9-5	Wi-Fi スポット設定	9-21
	基本設定	9-21
	接続先設定	9-22
9-6	Bluetooth 設定	9-23
	Bluetooth ペ어링情報	9-23
9-7	ECO 設定	9-24
	ECO 設定	9-24
9-8	詳細設定	9-25
	LAN 側設定	9-25
	LAN 側無線設定	9-27
	DHCP 除外設定	9-28
	DHCP 固定割当設定	9-29
	IPv4 パケットフィルタ設定	9-30
	IPv6 パケットフィルタ設定	9-33
	ポートマッピング設定	9-35
	静的ルーティング	9-37
	その他の設定	9-38
9-9	メンテナンス	9-42
	管理者パスワードの変更	9-42
	設定値の保存&復元	9-43
	設定値の初期化	9-44
	ファームウェア更新	9-45
	PING テスト	9-46
	PIN コード管理	9-47
	再起動	9-50
9-10	情報	9-51
	現在の状態	9-51
	通信情報ログ	9-52
	UPnP の状態	9-52
	マニュアル	9-53

10章 スマートフォン用クイック設定 Web

10-1	スマートフォン用クイック設定 Web について	10-2
	クイック設定 Web を起動する	10-2
	クイック設定 Web のトップページ	10-3
	詳細設定のトップページ設定画面	10-5
10-2	各種機能の詳細設定をする (詳細設定)	10-6
10-3	ネットワーク設定	10-7
	基本設定	10-7
	接続設定	10-8
	プロファイル設定	10-9
10-4	無線 LAN 設定	10-11
	無線 LAN 設定	10-11
	WPS 設定	10-13
10-5	ECO 設定	10-14
	ECO 設定	10-14
10-6	詳細設定	10-16
	その他の設定	10-16
10-7	メンテナンス	10-17
	管理者パスワードの変更	10-17
	設定値の初期化	10-18
	ファームウェア更新	10-19

11章 本製品のディスプレイメニューについて

11-1	ディスプレイメニューの使いかた	11-2
	設定モード	11-2
11-2	ディスプレイの表示説明	11-12

12章 付録

12-1	周辺機器のご紹介	12-2
12-2	故障とお考えになる前に	12-3
12-3	アフターサービスについて	12-7
12-4	製品仕様	12-8
	Speed Wi-Fi NEXT WX01 本体仕様	12-8
	AC アダプタ仕様	12-10
	クレードル (別売) 仕様	12-10
12-5	『au Wi-Fi SPOT』利用規約	12-11
12-6	知的財産権について	12-13
	商標について	12-13
12-7	索引	12-14



1

ご利用の準備

- 1-1 本製品の使いかた 1-2
- 1-2 箱の中身をチェックしよう 1-4
- 1-3 各部の名称とはたらき 1-5
- 1-4 au Micro IC Card (LTE) について 1-10
- 1-5 電池パックを取り付ける／取り外す 1-12
- 1-6 充電のしかた 1-14
- 1-7 電源 ON/OFF のしかた 1-16
- 1-8 あらかじめ確認してください 1-17

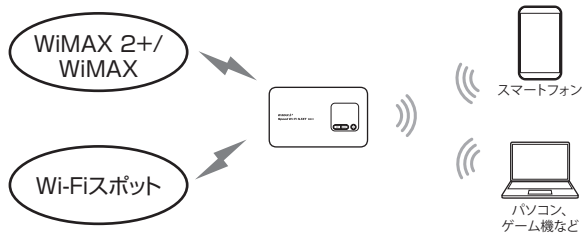
本製品は、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 機能および Bluetooth 機能によりパソコンやゲーム機、スマートフォンなどの複数の端末と接続することができます。また、USB やクレードル (別売) を使って有線で接続することができます。さらに、接続した端末から本製品を経由して WiMAX 2+ 方式、WiMAX 方式、および Wi-Fi スポット (公衆無線 LAN) を使ったインターネット接続でデータ通信ができます。

■ 無線 LAN (Wi-Fi[®]) で接続する

本製品とパソコンやゲーム機、スマートフォンなどの無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末を接続し、データ通信ができます。

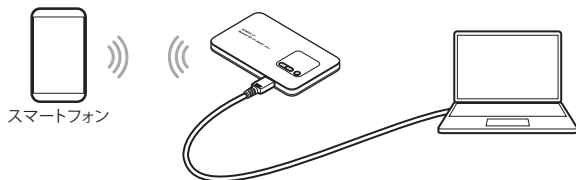
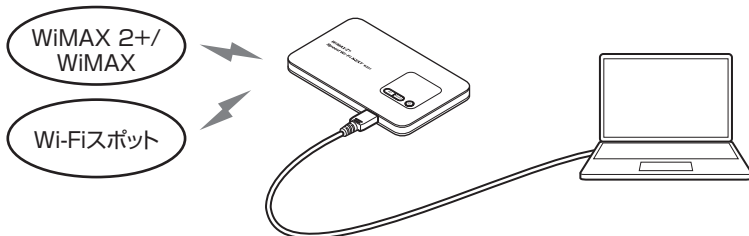
本製品に無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末を最大 10 台まで接続することが可能です。

ただし、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 機能と Bluetooth 機能は同時に利用することはできません。



■ USB で接続する

本製品とパソコンを指定の microUSB ケーブルで接続するだけで、データ通信ができます。



※無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続、または Bluetooth 接続と USB 接続を同時に利用することもできます。

■ Bluetooth で接続する

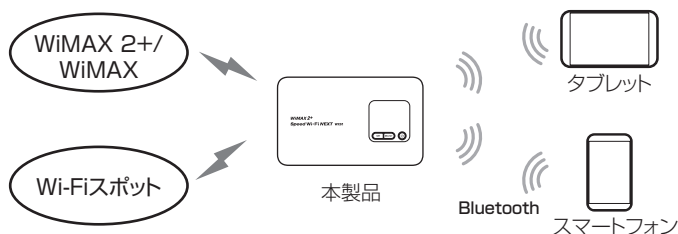
本製品をアクセスポイントとして、スマートフォンやタブレットなどの Bluetooth 搭載端末をインターネットにつないで利用することができます。電池の持ちが気になる外出先での節電に効果があります。

Bluetooth 接続できる上限台数は 7 台です。(ペアリング登録できる上限台数は 10 台です。)

ただし、Bluetooth 搭載端末側の接続状況によっては上限まで接続できない場合があります。

また、複数台接続した状態からペアリングを行う際、接続台数が 7 台以下でもペアリングできないときがあります。その場合は、他の Bluetooth 搭載端末を切断してからペアリングを行ってください。

なお、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 機能と Bluetooth 機能は同時に利用することはできません。



- ペアリング処理中に、他のペアリング済みの Bluetooth 搭載端末から、接続または切断をしないでください。
- ペアリング登録台数が上限に達したときは、本製品のディスプレイに「登録上限のため、ペアリング情報を削除してください」と表示されます。その場合は、クイック設定 Web 画面の「Bluetooth 設定」で「Bluetooth ペアリング情報」に表示されているペアリング情報を削除してください。
- ご利用の Bluetooth 搭載端末が Bluetooth2.1 以上に対応し、かつ、ネットワーク接続ができるプロファイル (PANU) に対応していることを確認してください。
※ PANU に対応している機種については、スマートフォンの各メーカーサイトにてご確認ください。

■ 有線 LAN で接続する

クレードル (別売) を使って、パソコンと有線 LAN 接続することができます。

※ クレードル (別売) の使いかたについては、別売の WX01 クレードルに同梱の「WX01 クレードル (NAD31PUA) 取扱説明書」を参照してください。

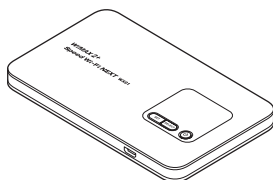


お知らせ

- USB 接続または有線 LAN 接続と無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続を同時に利用した場合、合わせて最大 11 台まで接続できます。
- USB 接続または有線 LAN 接続と Bluetooth 接続を同時に利用した場合、合わせて最大 8 台まで接続できます。

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。

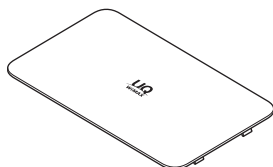
Speed Wi-Fi NEXT WX01（本体）



電池パック (NAD31UAA)



背面カバー



ACアダプタ (NAD11PQA)

本製品を充電する場合に使用します。
microUSB ケーブルはパソコンと接続する
場合にも使用できます。

ACアダプタ



microUSB ケーブル



つなぎかたガイド

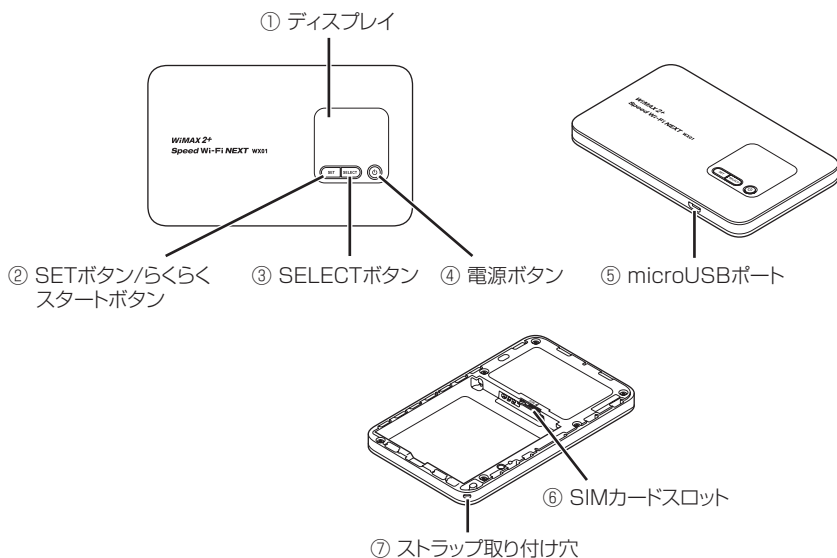
ご利用にあたっての注意事項




無線 LAN 設定用 QR コード（シール）

本シールは、『つなぎかたガイド』STEP2
にある<無線 LAN 設定用 QR コード>欄
に貼り付けて大切に保管してください。

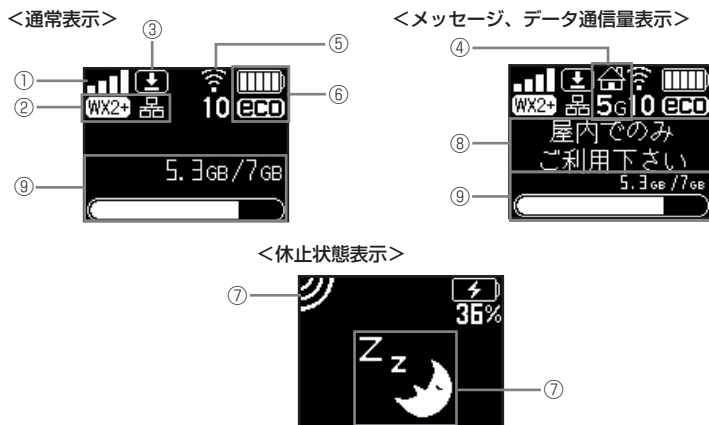
保証書

本体



名称	はたらき
① ディスプレイ	本製品の主要な設定ができます。 本製品の状態や通知情報などが表示されます。
② SETボタン/らくらくスタートボタン 	ディスプレイのメニューや項目を確定するときに使用します。 「らくらく無線スタート」で設定するときに使用します。 WPSに対応した無線LAN (Wi-Fi®) 端末と無線LAN (Wi-Fi®) の設定をするときに使用します。 自動消灯状態からディスプレイを点灯表示させるときに使用します。
③ SELECTボタン 	ディスプレイのメニューや項目を選択するときに使用します。
④ 電源ボタン 	電源のON/OFFを行います。 自動消灯状態からディスプレイを点灯表示させるときに使用します。 休止状態やウェイトングから復帰するときに使用します。
⑤ microUSBポート	指定のmicroUSBケーブルを接続するとき、またはクレードル(別売)に接続するときに使用します。
⑥ SIMカードスロット	au Micro IC Card (LTE) を挿入します。
⑦ ストラップ取り付け穴	ストラップを取り付けるときに使用します。

ディスプレイ表示について



名称	表示	状態	説明
① 電波受信レベル		点灯	WiMAX 2+ の信号の強度を 5 段階で表示
		点灯	WiMAX / Wi-Fi スポットの信号の強度を 6 段階で表示
		点灯	無線 LAN アクセスポイントモードでクレードル (別売) に接続されているとき
② 接続状態		点灯	WiMAX 2+ でインターネットに接続しているとき
		点灯	WiMAX でインターネットに接続しているとき
		点灯	Wi-Fi スポットでインターネットに接続しているとき
		点滅	Wi-Fi スポットでインターネットに接続処理中
		点灯	WiMAX 2+/WiMAX / Wi-Fi スポットが圏外のとき
		点灯	無線 LAN アクセスポイントモードでクレードル (別売) に接続されているとき
		点灯	LAN 側を USB で接続しているとき
③ ファームウェア更新通知		点灯	新ファームウェア公開中で、ファームウェアの更新が必要なとき
		点灯	5GHz 帯 (屋外) で接続しているとき
④ 無線 LAN (Wi-Fi®) 帯域		点灯	5GHz 帯 (屋内) で接続しているとき
		消灯	2.4GHz 帯に接続しているとき

名称	表示	状態	説明
⑤ LAN 側無線状態		点灯	LAN 側無線 LAN (Wi-Fi®) がオンのとき (下の数字は接続台数)
		点滅	無線 LAN (Wi-Fi®) 帯域をサーチ中
		消灯	LAN 側無線 LAN (Wi-Fi®) がオフのとき
		点灯	Bluetooth がオンのとき (下の数字は接続台数)
消灯		Bluetooth がオフのとき	
⑥ 電池状態		点灯	電池残量を 6 段階で表示
		点灯	省電力モードのとき、電池アイコンの下に表示
		点灯	充電中
		点灯	充電中に電池残量の目安を表示
⑦ 休止状態		点灯	休止状態中 (充電中に、電源ボタンを押すと表示)
		アニメーション	リモート起動が設定されているとき (充電中に、電源ボタンを押すと表示)
⑧ メッセージ			メッセージを表示 (●P11-12)
⑨ データ通信量			データ通信量の表示を設定している場合に表示




本製品の操作が一定時間※なかったときは、本製品のディスプレイ表示が自動的に消えます。再度ディスプレイを表示させるには、いずれかのボタンを押してください。

※ 「自動消灯時間」(●P9-24)と連動しています。「自動消灯時間」で設定した時間が経過すると消灯します。(初期値: 30 秒)

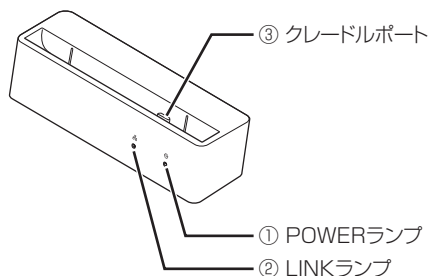


お知らせ



- 本製品は工場出荷時の状態で自動消灯時間 (30 秒)、省電力状態切り替え機能 (ウェイティング) が設定されており、起動後 30 秒でディスプレイは消灯し、10 分後にウェイティング状態になります。SET ボタン  を押して一時的に解除した場合、一定時間 (初期値: 30 秒) はディスプレイが表示されます。ただし、下記の条件では自動消灯は無効となります。
 - ・ WPS で無線 LAN 設定を実行中
 - ・ らくらく無線スタートを実行中
 - ・ 「新ファームウェア公開中です 更新しますか?」と表示中
 - ・ ファームウェアのバージョンアップ中
- 下記のような使用状況により、本体が高温になった場合は、自動的に電源を OFF にします。
 - ・ 直射日光に当たるところで使用した場合
 - ・ 高温下で充電しながら使用した場合
 - ・ かばんなどに入れて密封して使用した場合
 その場合、本体温度が下がってから電源を入れてください。
- 無線 LAN アクセスポイントモードについてはクレードル (別売) の『WX01クレードル (NAD31PUA) 取扱説明書』を参照してください。

クレードル（別売）

クレードル（別売）は、本製品を接続し、据え置きで充電をしたり、有線 LAN 接続やブロードバンドルータを接続して無線 LAN アクセスポイントとしてご利用いただけます。クレードル（別売）の使いかたについては、別売の WX01 クレードルに同梱の『WX01 クレードル（NAD31PUA）取扱説明書』を参照してください。



【ランプ表示】

ランプの種類	色	状態	クレードル（別売）の状態
① POWER ランプ (電源) 	緑	点灯	AC アダプタが接続され、給電しているとき
	—	消灯	AC アダプタが接続されていないとき
② LINK ランプ (有線 LAN 通信状態表示) 	緑	点灯	ETHERNET ポートのリンクが確立しているとき
	緑	点滅	ETHERNET ポートがデータ送受信しているとき
	—	消灯	ETHERNET ポートのリンクが確立していないとき

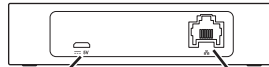
【クレードルポート】

名称	説明
③ クレードルポート	本製品を接続します。

● 背面図



- 本製品が無線 LAN アクセスポイントモードに設定されているときに着脱を行うと再起動します。



① ACアダプタ接続ポート ② ETHERNETポート

名称	説明
① AC アダプタ接続ポート	指定の充電用機器と接続します。 ※クレードル（別売）を使用する際は AC アダプタを必ず接続してください。
② ETHERNET ポート	ETHERNET ケーブル（市販品）で、パソコンなどと接続します。



お知らせ

- 充電用機器は、必ず指定のものをお使いください。
- クレードル（別売）の AC アダプタ接続ポートでは、USB 通信はできません。電源供給用の接続ポートです。
- ETHERNET ケーブルをクレードル（別売）に接続する際は、ポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。
- 本製品をクレードルにセットした後、または取り外した後は、切り替え確認のため、一定時間ボタン操作ができません。本製品のボタン操作をするときは、約 10 秒待ってから操作してください。

WiMAX 2+/WiMAX 通信サービスをご利用になるには、ご契約された WiMAX 事業者から提供される IC カードが必要です。au Micro IC Card (LTE) にはお客様の電話番号などの情報が記録されています。本製品を使用するには au Micro IC Card (LTE) を本体に取り付ける必要があります。au Micro IC Card (LTE) を取り付けないと、WiMAX 2+/WiMAX でのデータ通信などをご利用できません。

※ 本製品は au Micro IC Card (LTE) にのみ対応しております。au Micro IC Card (LTE) 以外の IC カードはご利用できません。

※ 変換アダプタを取り付けた IC カードを挿入しないでください。故障の原因になります。



- au Micro IC Card (LTE) の取り付け／取り外しは本製品の電源を切ってから行ってください。無理に取り付けや取り外しはしないでください。
- PIN コードの設定をしている au Micro IC Card (LTE) をお使いの場合は、PIN コードの入力が必要です。
- au Micro IC Card (LTE) には、お客様の電話番号が記録されていますが、本製品で音声電話の発着信はできません。

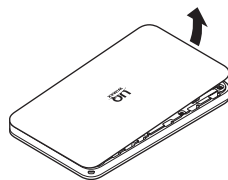
au Micro IC Card (LTE) を取り付ける

1 本製品の電源が ON になっているときは、「Power OFF」と表示されるまで電源ボタン[Ⓞ]を長押しする

2 本製品と AC アダプタ／microUSB ケーブル／クレードル（別売）が接続されているときは取り外す

3 背面カバーを取り外す

側面の凹部に指をかけ、矢印の方向に持ち上げて外します。



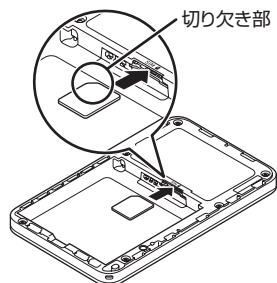
4 電池パックを取り出す

電池パックの取り外しかたは、「電池パックを取り付ける／取り外す」(P1-12)を参照してください。

5 au Micro IC Card (LTE) の IC (金属) 部分を下にして、カチッと音がするまで挿入する

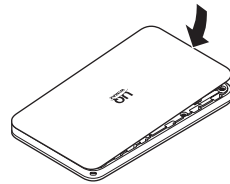
切り欠き部の位置にご注意ください。

au Micro IC Card (LTE) の取り付け／取り外しのときは、IC (金属) 部分に触れたり、傷つけたりしないようにご注意ください。



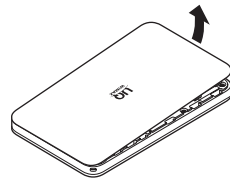
(次ページに続く)

- 6 au Micro IC Card (LTE) が奥まで挿入されていることを確認する
- 7 電池パックを取り付ける (●P1-12)
- 8 背面カバーを取り付ける
UQロゴのQ側のツメをあわせてからカチッと音がするまで押し込んでください。

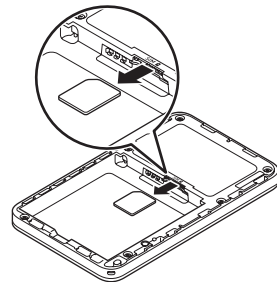


au Micro IC Card (LTE) を取り外す

- 1 本製品の電源が ON になっているときは、「Power OFF」と表示されるまで電源ボタン[Ⓞ]を長押しする
- 2 本製品と AC アダプタ / microUSB ケーブル / クレードル (別売) が接続されているときは取り外す
- 3 背面カバーを取り外す
側面の凹部に指をかけ、矢印の方向に持ち上げて外します。



- 4 電池パックを取り外す (●P1-12)
- 5 au Micro IC Card (LTE) をカチッと音がするまで押し込み、ゆっくり戻す
au Micro IC Card (LTE) が少し出てきます。



- 6 少し出てきた au Micro IC Card (LTE) を矢印の方向へ取り外す
背面カバーと電池パックを取り付ける場合は、「電池パックを取り付ける / 取り外す」(●P1-12) を参照してください。

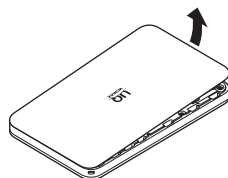


取り外した au Micro IC Card (LTE) は紛失しないようご注意ください。

電池パックの取り付け／取り外しは、ACアダプタ・microUSBケーブルをデータ通信端末から外し、電源を切ってから行ってください

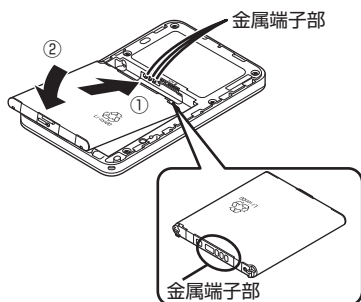
電池パックを取り付ける

- 1** 背面カバーを取り外す
側面の凹部に指をかけ、矢印の方向に持ち上げて外します。

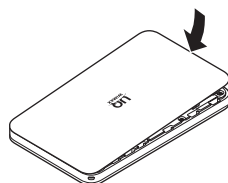


- 2** リサイクルマークなどの表示面を上にして電池パックを奥までスライドさせて押し込む

電池パックの金属端子部を本製品の金属端子部に突き当ててから押し込んでください。



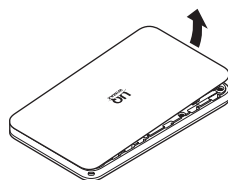
- 3** 背面カバーを取り付ける
UQロゴのQ側のツメを合わせてからカチッと音がするまで押し込んでください。



電池パックを取り外す

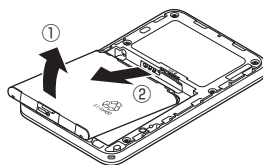
- 1** 本製品の電源がONになっているときは、「Power OFF」と表示されるまで電源ボタン[Ⓞ]を長押しする

- 2** 背面カバーを取り外す
側面の凹部に指をかけ、矢印の方向に持ち上げて外します。

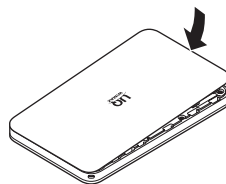


(次ページに続く)

- 3 電池パックの手前部分を持ち上げて、矢印の方向に引き出して取り外す



- 4 背面カバーを取り付ける
UQロゴのQ側のツメをあわせてからカチッと音がするまで押し込んでください。



⚠ 注意

- 電池パックを取り付けていない状態で AC アダプタを接続しないでください。
- 工場出荷時の状態では、電池パックは十分に充電されておりません。本製品をご使用になる前に、「1-6 充電のしかた」(➡P1-14)を参照して電池パックを充電してください。

!

- 本製品専用以外の電池パックを使用しないでください。本製品専用以外の電池パックを使用すると本製品が故障する場合があります。
- 電池パックを取り外す場合は、本製品の電源を OFF にしてから取り外してください。本製品を電源 ON にしたまま、電池パックを取り外すと故障の原因となります。
- 電池パックを取り外した後、再度取り付ける場合は、5 秒以上経過してから取り付けてください。すぐに取り付けると電池残量が正しく表示されない場合があります。

工場出荷時は、電池パックは十分に充電されていません。

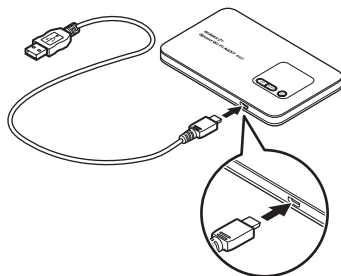
- ※ 充電は、USB ケーブル経由でパソコンの USB ポートからの充電も可能です。なお、USB ポートからの充電は、AC アダプタを使用した場合よりも充電時間が長くなります。
 - ※ 本製品の充電は、電源 OFF および休止状態時に行ってください。動作させながらの充電や、本体や電池の温度が高い場合、電池寿命を長持ちさせるために満充電になっていなくても充電を停止することがあります。
 - ※ 本製品のディスプレイに「電池残量不足」と表示したときは、充電をしてください。
 - ※ 電池の温度が、低温や高温時は電池保護のため、充電が停止したり充電時間が長くなる場合があります（*）。
 - 高温時は電池の温度が下がってから充電してください。
 - ※ 充電は、電池残量が約 90% 以上の状態では充電を開始しない場合があります。
 - ※ 本製品は USB ハブ（市販品）を使用して接続しないでください。
- （*）電池残量は、本製品の使用環境・状態により異なります。

充電のしかた

ここでは本製品に同梱の AC アダプタを使って充電する方法を説明します。

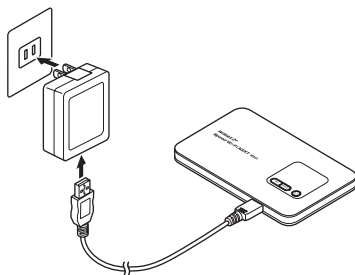
1 本製品の microUSB ポートに、microUSB ケーブルの microUSB コネクタを接続する

- ※ microUSB コネクタは USB マークのついている面が下になるように本製品に接続してください。
- ※ microUSB コネクタの表と裏を逆にすると接続できません。逆に挿した状態で無理に接続すると microUSB コネクタを破損させる場合がありますのでご注意ください。



2 もう一方の USB コネクタを AC アダプタに接続して、AC アダプタの電源プラグを電源コンセントに接続する

- ※ USB コネクタは USB マークのついている面が下になるように、AC アダプタに接続してください。
- ※ USB コネクタの表と裏を逆にすると接続できません。逆に挿した状態で無理に接続すると USB コネクタを破損させる場合がありますのでご注意ください。



AC アダプタは、必ず本製品指定の周辺機器をお使いください。

3

充電を開始する

※充電の状態（電池残量）を確認する場合は、電源ボタンを押してください。充電中アイコンの下に％で表示されます。（電池残量の表示は目安です。本製品の使用環境・状態により異なります。）

充電時間

電源 OFF 時、本製品に同梱の AC アダプタでの充電時間（電池残量がない状態から満充電となるまで）は、約 180 分です。

電池残量

以下の方法で確認することができます。

- ・本製品のディスプレイが通常表示のとき
- ・クイック設定 Web 画面
- ・スマートフォンアプリ（●P5-6）

**お知らせ**

- 本製品は、工場出荷時の状態で自動消灯時間（30 秒）、省電力状態切り替え機能（ウェイティング）が設定されており、起動後 30 秒でディスプレイは消灯し、10 分後にウェイティング状態になります。
ウェイティングから復帰する際、しばらくの間、電池残量が正しく表示されない場合があります。
- 電池パックの寿命は、お客様のご利用環境により変わります。
充電のしかたによっては、劣化しやすくなりますので、寿命が短くなりにくい利用方法をお勧めします。
・電池残量が十分に残っている状態で充電を繰り返すと劣化が早くなりますので、電池残量が、約 30% になってからの充電をお勧めします。
- 充電が完了してから長時間 AC アダプタを接続したままにしていると、電池パックは充電と放電をくりかえし劣化を早めてしまいます。電池パックの充電が完了したら、AC アダプタを外してください。
- AC アダプタやクレードル（別売）に接続したにもかかわらず充電できない場合は、接続し直してください。

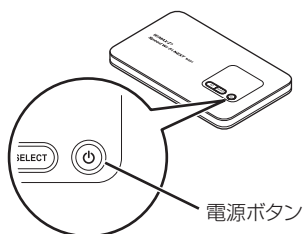
電源の ON/OFF は、本製品の電源ボタン[Ⓞ]で行います。

本製品のディスプレイに「NEC」と表示されるまで電源ボタン[Ⓞ]を押して、電源を入れてください。

起動するまでにしばらくかかります。

本製品の電源を切る場合はディスプレイに「Power OFF」と表示されるまで電源ボタン[Ⓞ]を長押しします。

ディスプレイに「休止状態に移行します」と表示された時点で電源ボタン[Ⓞ]をはなすと休止状態になります。休止状態から電源を切る場合は、休止状態から復帰(●P5-5)させディスプレイが通常表示になってから電源ボタン[Ⓞ]を長押しして電源を OFF にしてください。



お知らせ

- 電源を入れたとき、ディスプレイに「新ファームウェア公開中です 更新しますか」と表示された場合は、ファームウェアの更新をしてください。(●P7-2)
また、最新のファームウェアであることを、ホームページでご確認ください。本製品のバージョンは、ディスプレイの「端末情報」で確認します。(●P11-4)
- 電源を ON にしたとき「電池残量不足」と表示された場合は、AC アダプタを接続して 30 分以上充電してから電源を入れ直してください。
- 本製品は、工場出荷時の状態で自動消灯時間 (30 秒)、省電力状態切り替え機能 (ウェイティング) が設定されており、起動後 30 秒でディスプレイは消灯し、10 分後にウェイティング状態になります。それぞれクイック設定 Web から設定を変更することができます。
- 本製品には、電源 OFF ロック機能があります。クイック設定 Web の「詳細設定」- 「その他の設定」- 「電源ボタン設定」で設定します。使用する場合はチェックします。通常は、電源ボタン[Ⓞ]を 5 秒長押しで OFF になりますが、「使用する」にチェックすると 15 秒の長押しで、電源 OFF になります。

本製品を接続する前に次のことを確認しておきましょう。

接続端末の準備

お使いの接続端末が本製品をご利用になれる環境になっている順番に確認してください。

- ・ WWW ブラウザの設定が「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」になっていること (●P1-22)
- ・ ファイアウォールなど、すべてのソフトの停止
本製品設定の前に、ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。停止しない(起動したままている)と本製品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。(パソコンによっては、ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトがあらかじめインストールされている場合があります。)
- ・ クイック設定 Web で設定を行う場合は、JavaScript を有効にする設定にしておくこと (●P1-24)

〈USB で接続する場合〉

- ・ USB ポート (USB2.0 推奨) が装備されていること
※ USB1.1 の環境では十分なデータ転送速度が得られないため、USB2.0 以上でのご使用をお勧めします。

〈無線 LAN (Wi-Fi®) で接続する場合〉

- ・ 無線 LAN (Wi-Fi®) が装備されていること

〈クレードル (別売) を使用して ETHERNET ポートに有線で接続する場合〉

- ・ LAN ポートが装備されていること
- ・ TCP/IP プロトコルスタックに対応していること
必要なネットワークコンポーネントがインストールされていない場合は、パソコンの取扱説明書を参照してインストールしてください。
※以下に記載している OS を動作確認しています。(各日本語版)
 - ・ Windows 8.1/8
 - ・ Windows 7 (32/64 ビット版)
 - ・ Windows Vista (SP2 以降・32/64 ビット版)
 - ・ Mac OS X v10.6/v10.5
 - ・ OS X v10.10/v10.9/v10.8/v10.7ただし、お客様の環境・機器によってはご使用にできない場合があります。
- ・ パソコンのネットワーク設定を確認すること (●P1-20)

本製品は、Windows®、Macintosh、Linux など TCP/IP プロトコルスタックに対応した OS にて、ご利用いただけます (利用可能 OS は日本語版に限ります)。

ただし、USB 接続時の対応 OS は、以下の通りです。

Windows® 8.1、Windows® 8、Windows® 7 日本語版かつ 32bit (x86) 版、または、64bit (x64) 版、Windows Vista® (SP2 以降) の日本語版かつ 32bit (x86) 版、Mac OS X v10.6 (Intel)、v10.5 (Intel)、OS X v10.10 (Intel)、v10.9 (Intel)、v10.8 (Intel)、v10.7 (Intel) の日本語版

クイック設定 Web で設定を行う場合にご利用いただける WWW ブラウザは以下の通りです。
(2015年6月現在)

Windows® 8.1 の場合

- ・ Internet Explorer 11.0 に対応
- ・ Firefox 34 に対応
- ・ Google Chrome 39 に対応
- ・ Opera 26 に対応

Windows® 8 の場合

- ・ Internet Explorer 10.0 に対応
- ・ Firefox 34 に対応
- ・ Google Chrome 39 に対応
- ・ Opera 26 に対応

Windows® 7 の場合

- ・ Internet Explorer 8.0/9.0/10.0/11.0 に対応
- ・ Firefox 34 に対応
- ・ Google Chrome 39 に対応
- ・ Opera 26 に対応

Windows Vista® (SP2 以降) の場合

- ・ Internet Explorer 7.0/8.0/9.0 に対応
- ・ Firefox 34 に対応
- ・ Google Chrome 39 に対応
- ・ Opera 26 に対応

OS X v10.10

- ・ Safari 8.0 に対応
- ・ Firefox 34 に対応
- ・ Google Chrome 39 に対応
- ・ Opera 26 に対応

OS X v10.9 の場合

- ・ Safari 7.0 に対応
- ・ Firefox 34 に対応
- ・ Google Chrome 39 に対応
- ・ Opera 26 に対応

OS X v10.7/v10.8 の場合

- ・ Safari 6.1 に対応
- ・ Firefox 34 に対応
- ・ Google Chrome 39 に対応
- ・ Opera 26 に対応

Mac OS X v10.6 の場合

- ・ Safari 5.1 に対応
- ・ Firefox 34 に対応
- ・ Google Chrome 39 に対応
- ・ Opera 26 に対応

Mac OS X v10.5 の場合

- ・ Safari 5.0 に対応

Android (5.0/4.4/4.3/4.2/4.1/4.0/3.2/3.1/3.0/2.3) の場合
Android 標準ブラウザに対応

iOS (8.1/8.0/7.1/7.0/6.1/6.0/5.1/5.0) の場合
iOS 標準ブラウザに対応

お願い

- OS のアップグレードなどパソコンの動作環境を変更される場合は、あらかじめ WiMAX Support Information ホームページから本製品の最新のファームウェア、ユーティリティ、『取扱説明書』などをダウンロードしてください。
- 対応しているすべてのパソコンについて動作保証するものではありません。

パソコンのネットワークの確認(USB接続/有線LAN接続の場合)

パソコンのネットワークの設定が、Windowsの場合は「IPアドレスを自動的に取得する」、Mac OSの場合は「DHCPサーバを参照」になっていることを確認してください。

Windows 8.1/8/7/Windows Vista の場合

以下は Windows 8.1 を例に説明しています。

1 [スタート]画面の左下のをクリックし、[アプリ]画面で[コントロールパネル]をクリックする

※Windows 7/Windows Vistaの場合は、[スタート] (Windowsのロゴボタン) - [コントロールパネル] をクリックします。

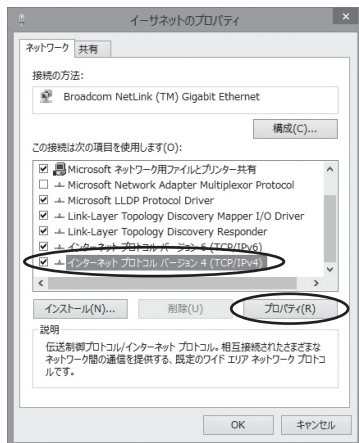
2 [ネットワークとインターネット] - [ネットワークと共有センター] をクリックし、[アダプターの設定の変更] をクリックする

※Windows Vistaの場合は、[ネットワークとインターネット] - [ネットワークと共有センター] をクリックし、[タスク]欄の[ネットワーク接続の管理] をクリックします。

3 [イーサネット接続] (または [ローカルエリア接続]) を右クリックし、[プロパティ] をクリックする

4 [ユーザーアカウント制御]画面が表示された場合は、[はい] または [続行] をクリックする

5 [インターネット プロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



6 [IPアドレスを自動的に取得する] と [DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択する

7 [OK] をクリックする

8 [閉じる] をクリックする



お知らせ

- 有線 LAN 接続については、別売の WX01 クレードルに同梱の『WX01 クレードル (NAD31PUA) 取扱説明書』を参照してください。
- Windows 8.1/8/7/Windows Vista の設定により表示内容が異なる場合があります。
- ここでは、Windows 8.1/8/7 の通常表示モード (カテゴリ表示)、Windows Vista の通常表示モード (コントロールパネルホーム) を前提に記述しています。

WWW ブラウザの設定確認

WWW ブラウザ（Internet Explorer など）の接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に変更します。

以下は Windows 8.1 で Internet Explorer 11.0 をご利用の場合の設定方法の一例です。お客様の使用環境（プロバイダやソフトウェアなど）によっても変わりますので詳細はプロバイダやソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

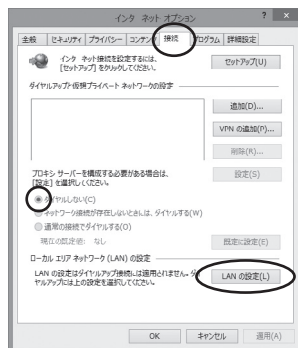
1 Internet Explorer を起動する

2 [ツール] の [インターネットオプション] を選択する

3 [接続] タブをクリックする

4 ダイヤルアップの設定の欄で、[ダイヤルしない] を選択する

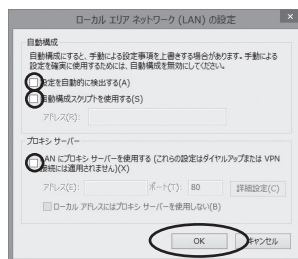
※ グレーアウトしている場合は、5 にお進みください。



5 [LAN の設定] をクリックする

6 [設定を自動的に検出する]、[自動構成スクリプトを使用する]、[LAN にプロキシサーバーを使用する] の を外して [OK] をクリックする

プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、したがってください。



7 [OK] をクリックする



お知らせ

- プロバイダ専用の CD-ROM やパソコンにプリインストールされているサインアッププログラム（プロバイダへの申し込みソフト）は、ダイヤルアップ接続（アナログモデムやターミナルアダプタの接続）専用のものがあります。その場合、本製品に LAN 接続されたパソコンからは実行できません。また、専用の接続ソフトが必要なプロバイダにはルータ接続できない場合があります。プログラムの使用方法など、詳細につきましてはプロバイダやパソコンメーカーにご確認ください。

JavaScript の設定を確認する

WWW ブラウザからクイック設定 Web を利用して設定を行うには JavaScript の設定を有効にする必要があります。

※ WWW ブラウザの設定でセキュリティを高く設定した場合、本製品の管理者パスワードの設定ができないことがあります。設定ができない場合は、以下の手順で JavaScript を「有効にする」に設定してください。

Internet Explorer をご利用の場合 (Windows 版)

以下は、Windows 8 で Internet Explorer 10.0 を使用している場合の例です。

1 [スタート] 画面上で右クリックして [すべてのアプリ] をクリックし、
[アプリ] 画面にある [コントロールパネル] をクリックする

※Windows Vista および Windows 7 の場合は、[スタート] (Windows のロゴボタン) - [コントロールパネル] をクリックします。

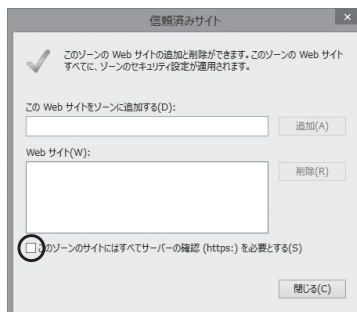
2 [ネットワークとインターネット] - [インターネットオプション] を
クリックする

※Windows Vista および Windows 7 の場合は、[クラシック表示] (または [クラシック表示に切り替える]) - [インターネットオプション] をクリックします。

3 [セキュリティ] タブをクリックし、[信頼済みサイト] をクリックする

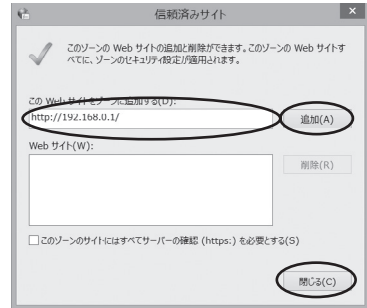
4 [サイト] をクリックする

5 [このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする]
のチェックを外す



(次ページに続く)

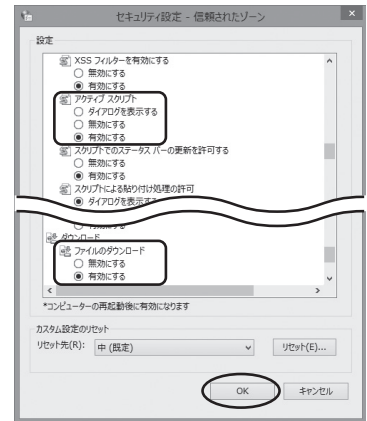
- 6 [この Web サイトをゾーンに追加する] に「http://192.168.179.1/」を入力し [追加] をクリックし、[閉じる] をクリックする



※IP アドレスを変更した場合は、設定した IP アドレスを入力してください。

- 7 [レベルのカスタマイズ] をクリックする

- 8 画面をスクロールし、[アクティブスクリプト] と [ファイルのダウンロード] を [有効にする] に変更し、[OK] をクリックする



- 9 [はい] をクリックする

- 10 [適用] をクリックする


- 11 [OK] をクリックする

Firefox をご利用の場合 (Windows 版)

Firefox 34 では、初期状態で JavaScript は有効に設定されています。変更する場合は、Firefox のサポートページなどで対処方法をご確認ください。

Google Chrome をご利用の場合

以下は、Windows 8.1 で Google Chrome 39 を使用している場合の例です。

- 1 Google Chrome を起動する
- 2  (Google Chrome の設定) をクリックする
- 3 [設定] をクリックする
- 4 「プライバシー」にある [コンテンツの設定…] をクリックする
※「プライバシー」が表示されない場合は、下方の「詳細設定を表示…」をクリックしてください。
- 5 「Javascript」で「すべてのサイトで Javascript の実行を許可する (推奨)」を選択して [完了] をクリックする



Safari をご利用の場合（Mac 版）

以下は、OS X v10.10 で Safari8.0 を使用している場合の例です。

1 Safari を起動する

2 メニューバーの [Safari] - [環境設定] をクリックする

3 [セキュリティ] をクリックする

4 [JavaScript を有効にする] にチェックを入れる



5 メニューバーの [Safari] から [Safari 終了] をクリックし、Safari を終了させる

iOS で Safari をご利用の場合 (iPhone/iPod touch/iPad/iPad mini 版)

以下は iOS 8.0/8.1 で Safari を使用している場合の例です。

- 1 「ホーム」画面の「設定」アイコンをタップする
- 2 設定メニューの「Safari」をタップする
- 3 「詳細」をタップする
- 4 [JavaScript] が「オフ」になっている場合は、ボタンをタップして「オン」にする

MEMO



2



基本操作

- 2-1 基本的な操作を覚える2-2
- 2-2 クイック設定 Web について2-4

ディスプレイメニューについて

本製品の電源ボタン[Ⓞ]でディスプレイを通常表示にしてから SELECT ボタン^{SELECT}を押すとメニューが表示されます。(ディスプレイメニューと呼びます)
 本体のボタン操作でディスプレイメニューから各種設定ができます。

メニュー画面を切り替える

ディスプレイメニューで設定する場合は、SELECT ボタン^{SELECT}と SET ボタン^{SET}で操作します。電源ボタン[Ⓞ]は操作の途中で通常表示に戻す場合、または PIN コードなど入力時の 1 文字消去に使用します。

<メニューの選択>

※次の画面は表示例です。

電源ボタン[Ⓞ]で通常表示にしてから、SELECT ボタン^{SELECT}を押すとメニューが表示されます。

通常表示



SELECT
ボタン
SELECT
→

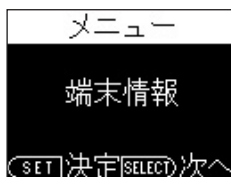
メニュー表示



SELECT ボタン^{SELECT}を繰り返し押すと、メニューが切り替わります。



SELECT
ボタン
SELECT
→





SELECT
ボタン
SELECT
→

.....

次の階層のメニューに切り替える場合は、SET ボタン^{SET}を押します。
 設定するメニューが表示されたら SET ボタン^{SET}を押します。

設定メニューの項目を切り替える

ON/OFF や YES/NO の切り替えをするときは SELECT ボタン  を押します。

選択されている側に  が付いています。

選択後、決定するときは、SET ボタン  を押します。キャンセルを選択した場合は、SET ボタン  を長押しします。




<数字の入力と削除>

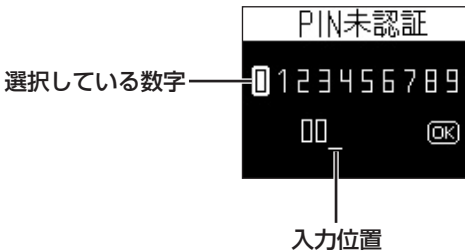
PIN コード入力で数字を入力するときは、下段の入力位置にカーソルが表示されます。

上段の「0」から「9」の数字を SELECT ボタン  を押して選択します。

選択中の数字は反転表示されます。数字を決定するときは SET ボタン  を押します。

数字が入力されるとカーソルの位置が次に移動します。

数字を削除する場合は、電源ボタン  を押すと、1 つ前の数字が削除されます。



すべての入力が完了したら、[OK] にカーソルを合わせて SET ボタン  を押します。

「ロック解除」と表示されたら電源ボタン  を押して通常表示に戻します。



ディスプレイメニューについての詳細は、「11-1 ディスプレイメニューの使いかた」(P11-2) を参照してください。

本製品に接続したパソコンなどの WWW ブラウザから、Speed Wi-Fi NEXT WX01 の設定ツールを使用して本製品に設定することができます。手順は無線 LAN (Wi-Fi[®]) で接続した場合を例にしています。

本製品では、Speed Wi-Fi NEXT WX01 の設定ツールを「クイック設定 Web」と呼びます。



お知らせ

- クイック設定 Web が利用できる WWW ブラウザについては、「接続端末の準備」(P1-17) を参照してください。
- 説明に使用している画面表示は、お使いの WWW ブラウザや OS によって異なります。
- クイック設定 Web の画面デザインは変更になることがあります。

お願い

- クイック設定 Web の設定は設定内容の変更を行った後、[保存] をクリックしてからでないと保存されません。
- 無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続でクイック設定 Web を表示させる場合は、プライマリ SSID に接続してください。
- 本製品をクレードル (別売) に接続し、無線 LAN アクセスポイントモードで使用する場合は、クイック設定 Web を開くことができません。
本製品をクレードル (別売) から外してから行ってください。

クイック設定 Web を起動する

1

パソコンを起動する

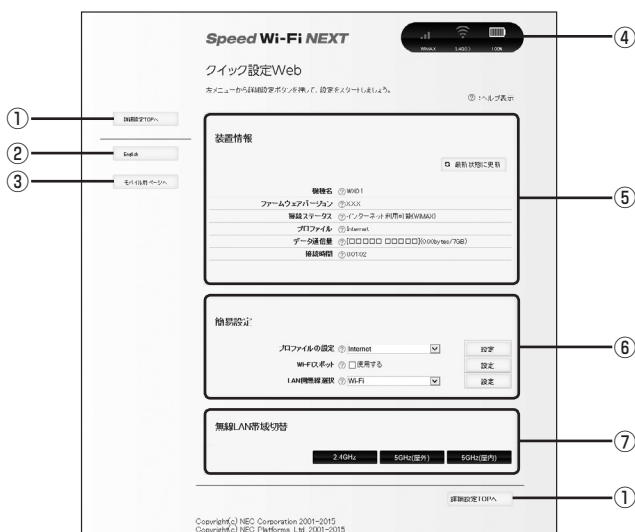
※本製品とパソコンがネットワーク接続されていることを確認します。

2

WWW ブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://192.168.179.1/」を入力する

クイック設定 Web が表示されます。

クイック設定 Web のトップページ



① 詳細設定 TOP へ

詳細設定をする場合は、ここからログインをし、各種機能の詳細設定をします。

② 言語

日本語と英語の切り替えができます。

トップページで変更する場合は、ログインが必要です。

③ モバイル用ページへ

スマートフォンから操作するための画面を表示します。

④ ピクト情報

電波状態、WiMAX (WiMAX 2+、WiMAX)、Wi-Fi スポット (Wi-Fi)、Bluetooth (接続台数)、Wi-Fi (接続台数)、電池残量を表示します。

⑤ 装置情報

以下の情報が表示されます。

- ・機種名
- ・ファームウェアバージョン
- ・接続ステータス
- ・プロファイル
- ・データ通信量
- ・接続時間

⑥ 簡易設定

簡単な設定ができます。

- ・プロファイルの設定
使用するプロファイルを選択します。
- ・Wi-Fi スポット
Wi-Fi スポットを使用する場合はチェックします。
- ・LAN 側無線選択
Wi-Fi/Bluetooth を選択します。

⑦ 無線 LAN 帯域切替

無線 LAN (Wi-Fi[®]) 帯域の切り替えができます。2.4GHz、5GHz (屋外)、5GHz (屋内) から選択します。

詳細設定にログインする

1 クイック設定 Web のトップ画面の [詳細設定 TOP へ] ボタンをクリックする

2 管理者パスワードの初期設定画面が表示されたら、[パスワード] (パスワード再入力) 欄にパスワード (任意の文字列) を入力し、[設定] をクリックする

設定後、クイック設定 Web のトップ画面に戻りますので、再度「詳細設定 TOP へ」をクリックしてください。

※パスワードに使用できる文字は、0～9、a～z、A～Z、- (ハイフン)、_ (アンダースコア) で、最大半角 64 文字まで有効です。このパスワードは、本製品「クイック設定 Web」の「詳細設定」を開くたびに必要となります。忘れないように控えておいてください。

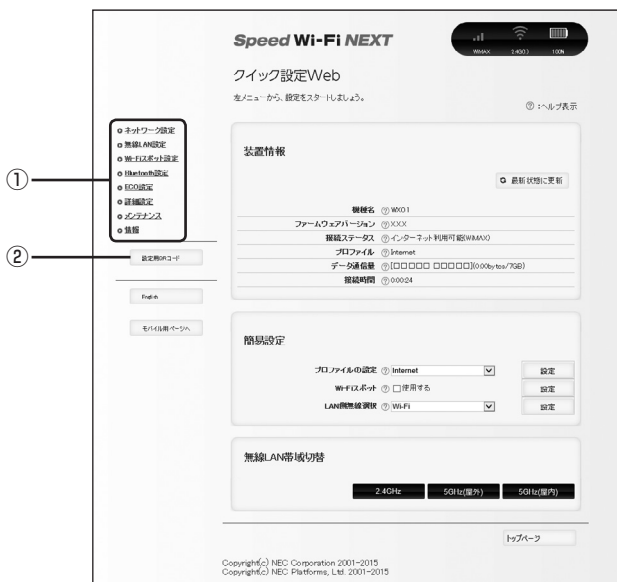
※この画面は管理者パスワードが未設定の場合に表示されます。

3 ユーザー名とパスワードを入力する

※「ユーザー名」(上段) には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」(下段) には、手順 2 で控えた管理者パスワードを入力してください。

4 [OK] をクリックする

詳細設定のトップページ設定画面



① 設定メニュー

- ・ ネットワーク設定
- ・ 無線 LAN 設定
- ・ Wi-Fi スポット設定
- ・ Bluetooth 設定
- ・ ECO 設定
- ・ 詳細設定
- ・ メンテナンス
- ・ 情報

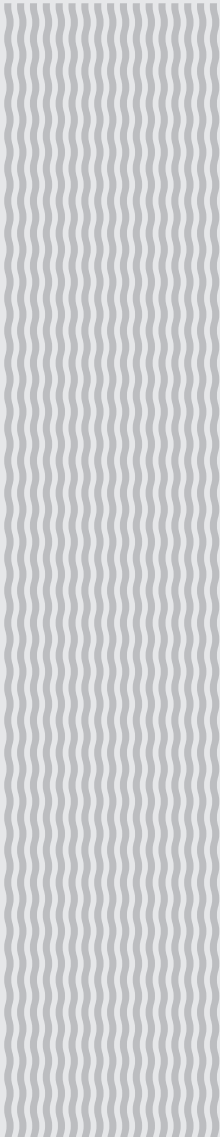
② 設定用 QR コード

MEMO





3

無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続 / USB 接続 /Bluetooth 接続

- 
- 3-1 無線 LAN (Wi-Fi[®]) で接続する……………3-2
 - 3-2 USB で接続する……………3-30
 - 3-3 Bluetooth で接続する……………3-32

本製品は IEEE802.11ac/n/a/g/b の無線 LAN (Wi-Fi[®]) 規格に準拠しています。本製品と無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末 (パソコンやスマートフォン、ゲーム機など) を無線 LAN (Wi-Fi[®]) で接続して、データ通信ができます。


また、本製品の SET ボタン  および SELECT ボタン  を操作することで WPS (Wi-Fi Protected Setup) 機能やらくらく無線スタートに対応している無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末に簡単に接続することができます。

WPS 機能やらくらく無線スタートに対応していない無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末でも、本製品に設定された SSID と暗号化キーを入力するだけで接続できます。



本製品のネットワーク名 (SSID) や暗号化キーは、同梱の無線 LAN 設定用 QR コード (シール)、または本製品のディスプレイメニューから確認できます。

本製品のネットワーク名 (SSID) は、2.4GHz 帯と 5GHz 帯で同じネットワーク名 (SSID) を使用しています。

ディスプレイメニューで無線 LAN 情報を確認する

- 1 本製品のディスプレイが通常表示のとき、SELECT ボタン  を数回押し、[無線 LAN 情報] を表示する



- 2 [無線 LAN 情報] が表示されたら、SET ボタン  を押し、無線 LAN 設定を確認する (プライマリ SSID が表示されます) (SELECT ボタン  を繰り返し押すことでプライマリキー (暗号化キー) →セカンダリ SSID →セカンダリキー (暗号化キー) が表示されます。)



【無線設定内容 (初期値)】

下記の「xxx…」 「yyy…」 は端末ごとに違う値です。

ネットワーク名	暗号化キー	暗号化
プライマリ SSID	wx01-xxxxxxx	xxxxxxxxxxxxx
セカンダリ SSID	wx01-xxxxxx-w	yyyyyyyyyyyyy
		AES
		WEP (128bit)

● セカンダリ SSID (WEP) について

本製品には 2 つのネットワーク「プライマリ SSID」「セカンダリ SSID」があります。AES に対応していない無線 LAN (Wi-Fi®) 端末 (ニンテンドー DS など) は、「セカンダリ SSID (WEP)」に接続する必要があります。

本製品では、工場出荷時の状態で、「セカンダリ SSID (WEP)」はご利用できません。クイック設定 Web にて、セカンダリ SSID を有効にしてください。(●P9-16)

● 暗号化キー

暗号化キーは、セキュリティキー、パスフレーズ、ネットワークキー、パスワードとも呼ばれています。

初期値は、半角英数 13 桁 (0 ~ 9、a ~ f を使用) に設定されています。

※ アルファベットの大文字 (ABCDEF) と小文字 (abcdef) は区別されます。

※ 「b」(ビー) と 「6」(ロク) を間違えないようご注意ください。なお 「o」(オー) は使用していません。

※ 暗号化方式が WEP の場合は、下記を参考に設定してください。

- ・ キーは自動的に提供されません。また、キーインデックスは「1」となります。
- ・ IEEE802.1X は使用していません。
- ・ 英数字を 16 進数で入力する場合は読み替えてください。

読み替え方法：

英数字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
16 進数	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	61	62	63	64	65	66

読み替え例：

0123456789abc → 30313233343536373839616263

※ 暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

【8 ~ 63 桁の場合】英数記号 (0 ~ 9、a ~ z、A ~ Z、下記の記号)

!	%)	-	;	@	^	
"	&	*	.	<	[_	}
#	'	+	/	=	\	`	~
\$	(.	:	>]	{	

※ 「\」(バックスラッシュ) はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

【64 桁の場合】16 進数 (0 ~ 9、a ~ f、A ~ F)

Windows パソコンを接続する

Windows 8.1 で WPS による接続方法と手動で接続する方法を説明します。

< WPS で接続する >

1 [スタート] 画面で [デスクトップ] を選択する

2 パソコンの無線（ワイヤレス）機能を有効にする

※設定方法は、パソコンの取扱説明書などを参照してください。

3 デスクトップ画面で通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンをクリックする








4 ネットワークの一覧の中から、本製品のネットワーク名（SSID）を選択する

※本製品のネットワーク名（SSID）は、ディスプレイメニューの [無線 LAN 情報] から確認してください。（➡P3-2）

5 [接続] をクリックする



(次ページに続く)

- 6 本製品のディスプレイが通常表示のとき、SELECT ボタン  を数回押し、メニューの「無線 LAN 設定 らくらく / WPS」を選択して SET ボタン  を押す
※本製品のディスプレイが消灯している場合、電源ボタン  を押して通常表示にしてください。
- 7 SELECT ボタン  で「WPS」を選択し、SET ボタン  を押す
- 8 「待受けを開始します。SET ボタンを長押ししてください」と表示されるので SET ボタン  を長押しする
- 9 「設定完了」と表示される
- 10 本製品のディスプレイで、 の下の数字が「1」以上になっていることを確認する
※接続台数が数字で表示されます。未接続の場合は「0」と表示されます。

<手動で接続する>

- 1 パソコンの無線（ワイヤレス）機能を有効にする
※設定方法は、パソコンの取扱説明書などを参照してください。
- 2 デスクトップ画面を表示する
- 3 通知領域（タスクトレイ）に表示されているネットワークアイコンをクリックする



4

ネットワークの一覧の中から本製品のネットワーク名 (SSID) を選択する

※本製品のネットワーク名 (SSID) は、ディスプレイメニューの【無線 LAN 情報】から確認してください。(➡P3-2)



5

【接続】 をクリックする

※「自動的に接続する」にチェックを入れておくと、次の接続からは自動的に接続されず。



(次ページに続く)

6

本製品の暗号化キーを入力し、[次へ]をクリックする

※本製品の暗号化キーは、ディスプレイメニューの [無線 LAN 情報] から確認してください。(●P3-2)



7

本製品のディスプレイで、 の下の数字が「1」以上になっていることを確認する

※接続台数が数字で表示されます。未接続の場合は「0」と表示されます。

Mac を接続する

OS X v 10.10 を手で接続する方法を説明します。

<手動で接続する>

1 アップルメニューの [システム環境設定] - [ネットワーク] アイコンをクリックする

2 サービスリストから [Wi-Fi] を選択する

3 [ネットワーク名] のプルダウンメニューで本製品のネットワーク名 (SSID) を選択する

※本製品のネットワーク名 (SSID) は、ディスプレイメニューの [無線 LAN 情報] から確認してください。(●P3-2)



4 [パスワード] に本製品の暗号化キーを入力して、[接続] をクリックする

※本製品の暗号化キーは、ディスプレイメニューの [無線 LAN 情報] から確認してください。(●P3-2)



5 「状況」に「接続済み」と表示される



6 画面を閉じる

7 本製品のディスプレイで、 の下の数字が「1」以上になっていることを確認する

※接続台数が数字で表示されます。未接続の場合は「0」と表示されます。

スマートフォン／タブレット (Android) を接続する

Android 端末でらくらく QR スタートで設定する方法と手動で接続する方法を説明しています。

＜らくらく QR スタートで設定する＞

- 1 Play ストアなどで「Aterm らくらく QR スタート for Android」のアプリを検索して、ダウンロードおよびインストールする

※下記の「Aterm らくらく QR スタート」の Web サイトにアクセスしてもダウンロードできます。(2015 年 6 月現在)

<http://qr.aterm.jp>

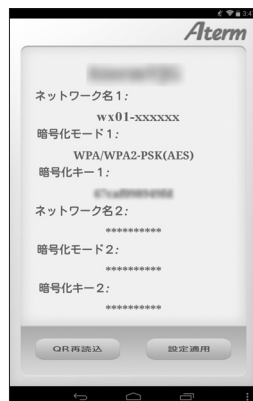
- 2 ホーム画面から、「Aterm らくらく QR スタート」のアイコンをタップしてアプリを起動する



- 3 カメラビュー画面で、同梱のらくらく QR スタート用 QR コードを読み取る


- 4 「設定適用」をタップする

※本製品の電源が入っていることを確認してください。



- 5 接続が完了する


- 6 [OK] をタップする

- 7 本製品のディスプレイで、 の下の数字が「1」以上になっていることを確認する

※接続台数が数字で表示されます。未接続の場合は「0」と表示されます。

<手動で接続する>

※ 以下は、接続例です。Android 端末の取扱説明書などを参照してください。

- 1 Android 端末を起動し、**【設定】** をタップする
- 2 **【Wi-Fi】** を「ON」にしてから **【Wi-Fi】** をタップする
- 3 ネットワーク一覧画面より、本製品のネットワーク名 (SSID) をタップする
※本製品のネットワーク名 (SSID) は、ディスプレイメニューの **【無線 LAN 情報】** から確認してください。(●P3-2)
- 4 本製品の暗号化キー (半角小文字) を入力する
※本製品の暗号化キーは、ディスプレイメニューの **【無線 LAN 情報】** から確認してください。(●P3-2)
- 5 **【接続】** をタップする
- 6 Android 端末のステータスバーに Wi-Fi のアイコンが表示されたら、**接続完了**
- 7 本製品のディスプレイで、 の下の数字が「1」以上になっていることを確認する

※ 接続台数が数字で表示されます。未接続の場合は「0」と表示されます。

iPhone/iPod touch/iPad/iPad mini を接続する

iOS 端末でらくらく QR スタートで設定する方法と手動で接続する方法を説明しています。

<らくらく QR スタートで設定する>

- 1 App Storeなどで「Aterm らくらく QR スタート for iOS」のアプリを検索して、ダウンロードおよびインストールする

※下記の「Aterm らくらく QR スタート」の Web サイトにアクセスしてもダウンロードできます。(2015年6月現在)

<http://qr.aterm.jp>

- 2 ホーム画面から「設定」をタップし、「機内モード」をオフに、「Wi-Fi」をオンにする

- 3 ホーム画面から「Aterm らくらく QR スタート」のアイコンをタップして、「OK」をタップする

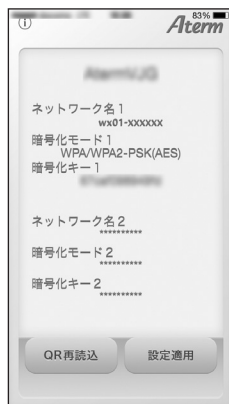
※起動後、しばらくするとカメラビューが表示されます。



- 4 カメラビュー画面で、同梱のらくらく QR スタート用 QR コードを読み取る

- 5 「設定適用」をタップする

※本製品の電源が入っていることを確認してください。



(次ページに続く)

6

[OK] をタップする



7

[インストール] をタップする



8

[インストール] をタップする

9

[インストール] をタップする

10


[完了] - [OK] をタップする

11

本製品のディスプレイで、 の下の数字が「1」以上になっていることを確認する

※接続台数が数字で表示されます。未接続の場合は「0」と表示されます。

<手動で接続する>

- 1 ホーム画面から [設定] をタップし、[機内モード] をオフに、[Wi-Fi] をオンにする
- 2 ネットワーク一覧画面より、本製品のネットワーク名 (SSID) をタップする
※本製品のネットワーク名 (SSID) は、ディスプレイメニューの [無線 LAN 情報] から確認してください。(●P3-2)
- 3 [パスワード] に本製品の暗号化キー (半角英数) を入力し、[Join] をタップする
※本製品の暗号化キーは、ディスプレイメニューの [無線 LAN 情報] から確認してください。(●P3-2)
- 4 ステータスバーに Wi-Fi のアイコンが表示されたら、接続完了
- 5 本製品のディスプレイで、 の下の数字が「1」以上になっていることを確認する
※ 接続台数が数字で表示されます。未接続の場合は「0」と表示されます。

ニンテンドー3DS LL/3DS/DSi LL/DSi/DS Lite/DS を接続する

ニンテンドー 3DS をらくらく無線スタートで接続する方法を説明します。

- 1 ニンテンドー3DSのHOMEメニューから【本体設定】を選択し、【はじめる】を選択する



- 2 【インターネット設定】を選択する



- 3 【インターネット接続設定】を選択する

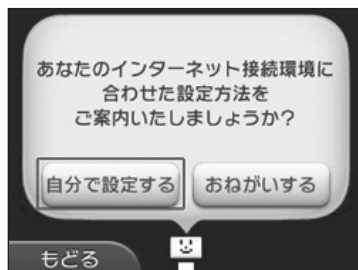


- 4 【接続先の登録】を選択する



(次ページに続く)

5 【自分で設定する】を選択する

6 本製品のディスプレイが通常表示のとき、SELECT ボタン **SELECT** を数回押し、メニューの「無線 LAN 設定 らくらく/WPS」を選択して SET ボタン **SET** を押す

※本製品のディスプレイが消灯している場合、電源ボタン **Ⓞ** を押して通常表示にしてください。




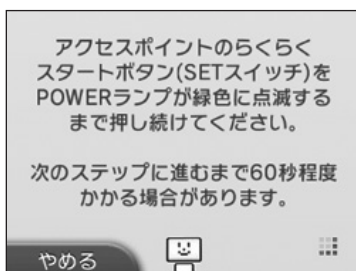
7 ニンテンドー 3DS の【らくらく無線スタート】を選択する

8 SELECT ボタン **SELECT** で「らくらく無線」を選択し、SET ボタン **SET** を押す

(次ページに続く)


9

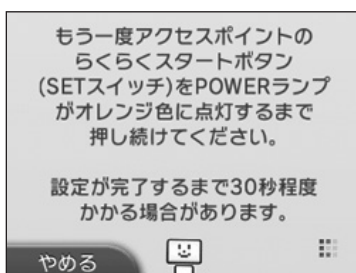
ニンテンドー 3DS に次の画面が表示され、本製品のディスプレイに「待受けを開始します。SET ボタンを長押ししてください」と表示されたら、SET ボタン  を長押しする



らくらく無線
待受けを開始します。
SET ボタンを
長押しして下さい

10

ニンテンドー 3DS に次の画面が表示され、本製品のディスプレイに「設定を開始します SET ボタンを長押ししてください」と表示されたら、SET ボタン  を長押しする

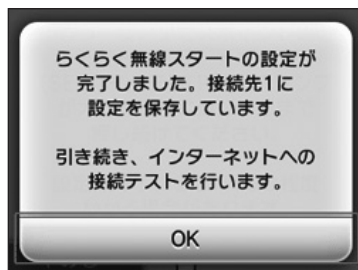


らくらく無線
設定を開始します
SET ボタンを
長押しして下さい

(次ページに続く)

11

本製品のディスプレイに「設定完了」と表示され、設定が完了したら接続テストを行うので、ニンテンドー3DSの画面で [OK] を選択する



Wii U を接続する

Wii U をらくらく無線スタートで接続する方法を説明します。

1 Wii U メニューの [本体設定] を選択する

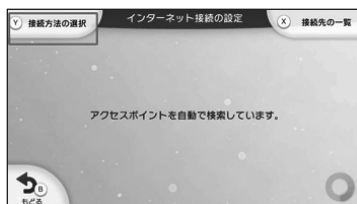
2 Wii U の [インターネット] を選択する



3 [インターネットに接続する] を選択する



4 [接続方法の選択] を選択する



5 本製品のディスプレイが通常表示のとき、SELECT ボタン **SELECT** を数回押し、メニューの「無線 LAN 設定らくらく/WPS」を選択して SET ボタン **SET** を押す

※本製品のディスプレイが消灯している場合、電源ボタン **Ⓞ** を押して通常表示にしてください。


6 SELECT ボタン **SELECT** で「らくらく無線」を選択し、SET ボタン **SET** を押す

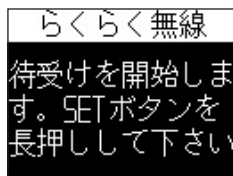
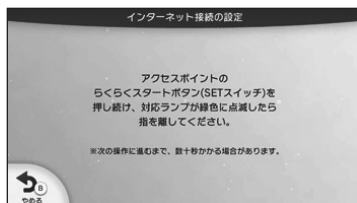



(次ページに続く)

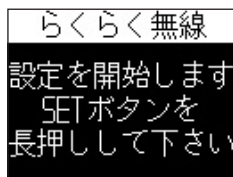
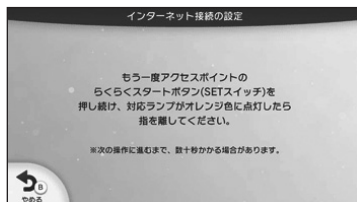
7 Wii U の [らくらく無線スタート] を選択する



8 Wii U に次の画面が表示され、本製品のディスプレイに「待受けを開始します。SET ボタンを長押ししてください」と表示されたら、SET ボタン  を長押しする



9 Wii U に次の画面が表示され、本製品のディスプレイに「設定を開始します SET ボタンを長押ししてください」と表示されたら、SET ボタン  を長押しする



(次ページに続く)

10








本製品のディスプレイに「設定完了」と表示され、設定が完了する

本製品から Wi-Fi 設定情報が転送され、無線 LAN (Wi-Fi®) 接続が完了します。



Wii を接続する

Wii をらくらく無線スタートで接続する方法を説明します。

- 1 Wii オプションを選択し、[Wii 本体設定] を選択する
- 2 Wii 本体設定 1 で [画面] を選択し、Wii 本体設定 2 で [インターネット] を選択する
- 3 インターネットで [接続設定] を選択する
- 4 [未設定] の接続先を選択する
- 5 [Wi-Fi 接続] を選択する
- 6 本製品のディスプレイが通常表示のとき、SELECT ボタン  を数回押し、メニューの「無線 LAN 設定 らくらく / WPS」を選択して SET ボタン  を押す
※本製品のディスプレイが消灯している場合、電源ボタン  を押して通常表示にしてください。
- 7 SELECT ボタン  で「らくらく無線」を選択し、SET ボタン  を押す
- 8 Wii の [らくらく無線スタート] を選択する
- 9 Wii に「アクセスポイントのらくらくスタートボタン (SET スイッチ) を…」と表示され、本製品のディスプレイに「待受けを開始します。SET ボタンを長押ししてください」と表示されたら、SET ボタン  を長押しする
- 10 Wii に「もう一度アクセスポイントのらくらくスタートボタン (SET スイッチ) を…」と表示され、本製品のディスプレイに「設定を開始します SET ボタンを長押ししてください」と表示されたら、SET ボタン  を長押しする
- 11 本製品のディスプレイに「設定完了」と表示され、設定が完了する

PlayStation®Vita を接続する

PlayStation®Vita をらくらく無線スタートで接続する方法を説明します。

1 PlayStation®Vita のホーム画面より「設定」を選択し、[はじめる]を選択する

2 [ネットワーク] を選択する



3 [Wi-Fi 設定] を選択する



4 本製品のディスプレイが通常表示のとき、SELECT ボタン **SELECT** を数回押し、メニューの「無線 LAN 設定らくらく/WPS」を選択して SET ボタン **SET** を押す

※本製品のディスプレイが消灯している場合、電源ボタン **PS** を押して通常表示にしてください。




5 PlayStation®Vita の [らくらく無線スタート] を選択する

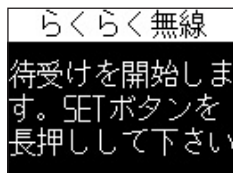
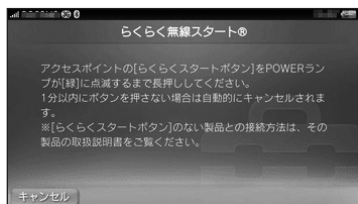



6 SELECT ボタン **SELECT** で「らくらく無線」を選択し、SET ボタン **SET** を押す

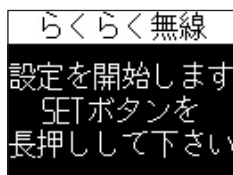
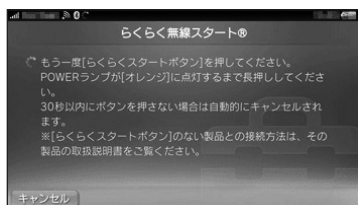


(次ページに続く)

- 7 PlayStation®Vita に次の画面が表示され、本製品のディスプレイに「待受けを開始します。SET ボタンを長押ししてください」と表示されたら、SET ボタン  を長押しする



- 8 PlayStation®Vita に次の画面が表示され、本製品のディスプレイに「設定を開始します SET ボタンを長押ししてください」と表示されたら、SET ボタン  を長押しする










- 8 本製品のディスプレイに「設定完了」と表示され、設定が完了する

本製品から Wi-Fi 設定情報が転送され、無線 LAN (Wi-Fi®) 接続が完了します。










PSP®「プレイステーション・ポータブル」を接続する

PSP®「プレイステーション・ポータブル」をらくらく無線スタートで接続する方法を説明します。

- 1 PSP®「プレイステーション・ポータブル」のホームメニュー画面から「設定」を選択し、「ネットワーク設定」を選択する
- 2 リストから「インフラストラクチャーモード」を選択する
- 3 「新しい接続の作成」を選択する
- 4 「ワイヤレス LAN 設定」で、リストから「アクセスポイント別自動設定」を選択する
- 5 本製品のディスプレイが通常表示のとき、SELECT ボタン  を数回押し、メニューの「無線 LAN 設定 らくらく / WPS」を選択して SET ボタン  を押す
※本製品のディスプレイが消灯している場合、電源ボタン  を押して通常表示にしてください。
- 6 SELECT ボタン  で「らくらく無線」を選択し、SET ボタン  を押す
- 7 PSP®「プレイステーション・ポータブル」の「らくらく無線スタート®」を選択する
- 8 PSP®「プレイステーション・ポータブル」に「アクセスポイントの「らくらくスタートボタン」を…」と表示され、本製品のディスプレイに「待受けを開始します。SET ボタンを長押ししてください」と表示されたら、SET ボタン  を長押しする
- 9 PSP®「プレイステーション・ポータブル」に「もう一度「らくらくスタートボタン」を…」と表示され、本製品のディスプレイに「設定を開始します SET ボタンを長押ししてください」と表示されたら、SET ボタン  を長押しする
- 10 PSP®「プレイステーション・ポータブル」に「接続名」を入力する
- 11 本製品のディスプレイに「設定完了」と表示され、設定が完了する
本製品から無線 LAN 設定情報が転送され、設定一覧が表示されます。
- 12 「○」ボタンを押し、設定内容を保存する








「プレイステーション 3」を接続する

「プレイステーション 3」をらくらく無線スタートで接続します。

- 1 メインメニューで [設定] → [ネットワーク設定] を選択する
- 2 [インターネット接続設定] を選択し、[OK] を選択する
- 3 [かんたん] を選択する
- 4 [無線] を選択する
- 5 「ワイヤレス LAN 設定」で [アクセスポイント別自動設定] を選択する
- 6 本製品のディスプレイが通常表示のとき、SELECT ボタン  を数回押し、メニューの「無線 LAN 設定 らくらく / WPS」を選択して SET ボタン  を押す
※本製品のディスプレイが消灯している場合、電源ボタン  を押して通常表示にしてください。
- 7 SELECT ボタン  で「らくらく無線」を選択し、SET ボタン  を押す
- 8 「プレイステーション 3」の [らくらく無線スタート] を選択する
- 9 「プレイステーション 3」に「アクセスポイントの [らくらくスタートボタン] を…」と表示され、本製品のディスプレイに「待受けを開始します。SET ボタンを長押ししてください」と表示されたら、SET ボタン  を長押しする
- 10 「プレイステーション 3」に「もう一度 [らくらくスタートボタン] を…」と表示され、本製品のディスプレイに「設定を開始します SET ボタンを長押ししてください」と表示されたら、SET ボタン  を長押しする
- 11 本製品のディスプレイに「設定完了」と表示され、設定が完了する
本製品から無線 LAN 設定情報が転送され、設定一覧が表示されます。
- 12 「○」ボタンを押し、設定内容を保存する
無線 LAN (Wi-Fi®) の設定内容を保存したら、接続テストを行います。接続テストが成功したら、設定は完了です。

「ブレイステーション 4」を接続する

「ブレイステーション 4」をらくらく無線スタートで接続します。

- 1 メインメニューで「設定」→「ネットワーク」を選択する
- 2 「インターネット接続を設定する」を選択する
- 3 「Wi-Fiを使う」を選択する
- 4 「かんたん」を選択する
- 5 本製品のディスプレイが通常表示のとき、SELECT ボタン  を数回押し、メニューの「無線 LAN 設定 らくらく/WPS」を選択して SET ボタン  を押す
※本製品のディスプレイが消灯している場合、電源ボタン  を押して通常表示にしてください。
- 6 SELECT ボタン  で「らくらく無線」を選択し、SET ボタン  を押す
- 7 「ブレイステーション 4」の「らくらく無線スタートを使って設定する」を選択する
- 8 「ブレイステーション 4」に、「アクセスポイントの"らくらくスタートボタン"を…」と表示され、本製品のディスプレイに「待受けを開始します。SET ボタンを長押ししてください」と表示されたら、SET ボタン  を長押しする
- 9 「ブレイステーション 4」に、「もう一度"らくらくスタートボタン"を…」と次の画面が表示され、本製品のディスプレイに「設定を開始します SET ボタンを長押ししてください」と表示されたら、SET ボタン  を長押しする
- 10 本製品のディスプレイに「設定完了」と表示され、設定が完了する
無線 LAN(Wi-Fi®)の設定が完了したら、インターネット接続を診断します。インターネット接続が成功したら、設定は完了です。

WPS 対応の無線 LAN (Wi-Fi®) 端末を接続する

本製品は、WPS (Wi-Fi Protected Setup) に対応した無線 LAN (Wi-Fi®) の自動設定を行うことができます。

設定するには、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末側も WPS に対応している必要があります。

※ WPS とは、Wi-Fi アライアンスが策定した無線 LAN (Wi-Fi®) の接続設定を簡単に行うための規格です。

設定には、以下の方法があります。

- ディスプレイメニューによる設定 (☛ 下記)
- PIN 方式による設定 (☛ P3-28)



お知らせ

- 本製品の設定で「ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)」(☛ P6-4) にチェックがはいっていると、WPS 機能での設定に失敗します。本製品側の設定を確認してください。(☛ P9-14)
- WPS 機能での設定中は他の無線接続はいったん切断されることがあります。
- 本製品は、工場出荷時の状態で自動消灯時間 (30 秒)、省電力状態切り替え機能 (ウェイティング) が設定されており、起動後 30 秒でディスプレイは消灯し、10 分後にウェイティング状態になります。ディスプレイメニューによる設定を実行する際は、電源ボタン (☉) を押してディスプレイを通常点灯させてから行ってください。

ディスプレイメニューによる設定

本製品のディスプレイメニューで WPS 機能を起動させて無線 LAN (Wi-Fi®) 接続します。設定方法は、「Windows パソコンを接続する」(☛ P3-4) を参照してください。

※ 設定の際は、本製品と無線 LAN (Wi-Fi®) 端末は近くに置いた状態で設定してください。(目安：1m 程度)



お知らせ

- 本製品の設定で「MAC アドレスフィルタリング」が「使用する」になっている場合、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の MAC アドレスが登録されていないと、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末によっては WPS 機能で設定できません。本製品側の設定を確認してください。(☛ P9-18)

PIN 方式による設定

PIN 方式を使って、本製品の無線 LAN (Wi-Fi®) 設定を無線 LAN (Wi-Fi®) 端末に設定します。



お知らせ

- 本製品の設定で「MAC アドレスフィルタリング」が「使用する」になっている場合、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の MAC アドレスが登録されていないと、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末によっては WPS 機能で設定できません。本製品側の設定を確認してください。(P9-18)

1 無線 LAN(Wi-Fi®)端末を接続したパソコンと本製品を microUSB ケーブルで接続します。

※他のパソコンでクイック設定 Web を起動する場合は、手順 2 に進みます。

2 WWW ブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://192.168.179.1」を入力して本製品のクイック設定 Web を開く

3 [詳細設定 TOP へ] ボタンをクリックする

4 ユーザ名と、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

5 「無線 LAN 設定」 - 「WPS 設定」をクリックする

6 【無線 LAN 端末の PIN コード】に無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の PIN コードを入力する

※無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の PIN コードは、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の取扱説明書などを参照してください。

7 【WPS (PIN 方式)】をクリックする



<画面は参考例です>

(次ページに続く)

8 [OK] をクリックする


9 パソコンから microUSB ケーブルを取り外して、10 秒待つ
※他のパソコンで設定した場合は、手順 10 に進みます。

10 無線 LAN (Wi-Fi®) 端末側で WPS 機能を起動する
※起動方法については、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の取扱説明書などを参照してください。

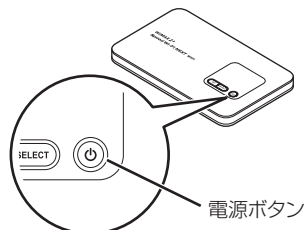
11 本製品のディスプレイに「設定完了」と表示され、設定が完了する

本製品とパソコンを指定の microUSB ケーブルで接続して、データ通信ができます。

USB で接続する

- 1 本製品のディスプレイに「NEC」
と表示されるまで電源ボタン  を
押して本製品の電源を入れる

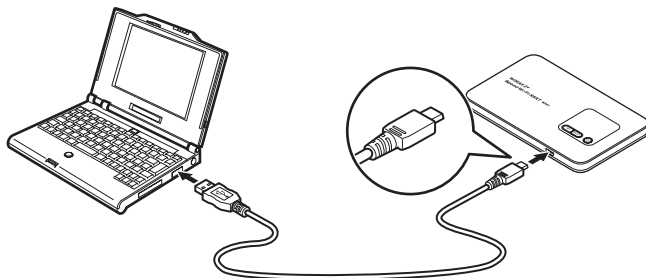
本製品が起動するまでにしばらくかかります。



- 2 本製品の microUSB ポートとパソコンの USB ポートを microUSB
ケーブルで接続する

※microUSB コネクタは USB マークのついている面が下になるように本製品に接続してください。

※microUSB コネクタ /USB コネクタの表と裏を逆にすると接続できません。逆にした状態で無理に挿すと USB コネクタを破損させる場合がありますのでご注意ください。



Mac パソコンで USB 接続を利用してネットワークに接続する場合

本製品を USB 接続ではじめてネットワーク接続するとき、以下の設定が必要な場合があります。

- ① 本製品と Mac パソコンを指定の USB ケーブルで接続すると「新しいネットワークインターフェイスが検出されました」と画面表示される
- ② [“ネットワーク” 環境設定] をクリックする
- ③ 「ネットワーク」の画面が表示されたら、IPv4 の構成で「DHCP サーバを使用」が表示されているのを確認し、[適用] をクリックする

お願い

- USB コネクタの表と裏を逆にすると接続できません。無理に接続すると USB コネクタを破損させる場合がありますのでご注意ください。
- USB 1.1 の環境では十分なデータ転送速度が得られないため、USB2.0 以上でのご使用をお勧めします。
なお、対応しているすべてのパソコンについて動作保証するものではありません。
本製品は USB ハブ（市販品）を使用して接続しないでください。
- 本製品を microUSB ケーブル経由でパソコンに取り付けた状態でスタンバイ（サスペンド／レジューム）または休止（ハイパネーション）を行うと、正常に動作しない場合があります。必ず microUSB ケーブルを取り外してから、スタンバイ（サスペンド／レジューム）または休止（ハイパネーション）を行ってください。
また、本製品を microUSB ケーブル経由でパソコンに取り付けた状態で再起動や電源を入れると、正常に動作しない場合があります。この場合、パソコンを起動する前に microUSB ケーブルを取り外してください。
- 本製品を microUSB ケーブル経由でパソコンに取り付けても動作しない場合は、いったん microUSB ケーブルを取り外したうえで約 5 秒以上待ってから再度取り付けてください。（お使いのパソコンや環境によっては、約 5 秒待ってから取り付けても正しく認識できない場合があります。その場合は、さらに時間をおいて、いったん本製品の電源を OFF/ON してから取り付けてください。）
- 必ず同梱の microUSB ケーブルをご使用ください。他の microUSB ケーブルを使用されますと、正常に動作しない場合があります。

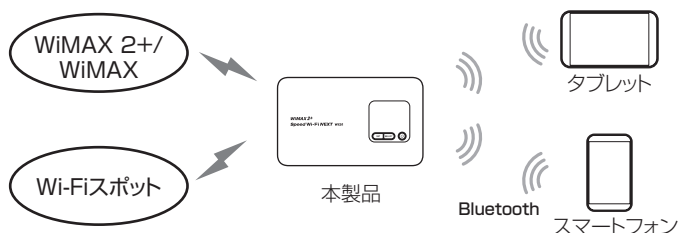
本製品をアクセスポイントとして、スマートフォンやタブレットなどの Bluetooth 搭載端末をインターネットにつないで利用することができます。電池の持ちが気になる外出先での節電に効果があります。

Bluetooth 接続できる上限台数は 7 台です。(ペアリング登録できる上限台数は 10 台です。)

ただし、Bluetooth 搭載端末側の接続状況によっては上限まで接続できない場合があります。

また、複数台接続した状態からペアリングを行う際、接続台数が 7 台以下でもペアリングできないときがあります。その場合は、他の Bluetooth 搭載端末を切断してからペアリングを行ってください。

なお、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 機能と Bluetooth 機能は同時に利用することはできません。








お願い

- ペアリング処理中に、他のペアリング済みの Bluetooth 搭載端末から、接続または切断をしないでください。
- ペアリング登録台数が上限に達したときは、本製品のディスプレイに「登録上限のため、ペアリング情報を削除してください」と表示されます。その場合は、クイック設定 Web 画面の「Bluetooth 設定」で「Bluetooth ペアリング情報」に表示されているペアリング情報を削除してください。
- ご利用の Bluetooth 搭載端末が Bluetooth 2.1 以上に対応し、かつ、ネットワーク接続ができるプロファイル (PANU) に対応していることを確認してください。
※ PANU に対応している機種については、スマートフォンの各メーカーサイトにてご確認願います。

本製品の Bluetooth デバイス名などをあらかじめ控えておく

- 1 本製品のディスプレイが通常表示のとき、SELECT ボタン を数回押し、メニューの【端末情報】を選択して SET ボタン を押す
- 2 SELECT ボタン で【Bluetooth デバイス名】を表示する
「Bluetooth デバイス名」に本製品の Bluetooth デバイス名が表示されます。
Bluetooth デバイス名 控え欄

本製品のBluetoothを「ON」にする

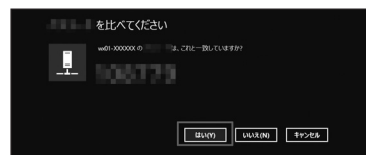
- 1 本製品のディスプレイが通常表示のとき、SELECT ボタン  を数回押し、メニューの「LAN 側無線選択 Wi-Fi/Bluetooth」を選択してSET ボタン  を押す
- 2 SELECT ボタン  で [Bluetooth] を選択し、SET ボタン  を押す
- 3 通常表示画面に  が表示されることを確認する



設定する

Windows パソコン (Windows8.1) の場合

- 1 ご利用のパソコンの Bluetooth を起動する
※パソコンの取扱説明書などを参照してください。
- 2 本製品のディスプレイが通常表示のとき、SELECT ボタン を数回押し、メニューの [Bluetooth ペアリング設定] を選択して SET ボタン を押す
- 3 SELECT ボタン で [YES] を選択し、SET ボタン を押す
ディスプレイに「ペアリング待受中」と表示されます。
- 4 パソコン側に、あらかじめ確認しておいた本製品の Bluetooth デバイス名が表示されるので、クリックする
- 5 パソコン側の [ペアリング] をクリックする
- 6 本製品のディスプレイに「****
**にペアリングします」と表示される
※「****」にパソコンのコンピューター名や、MAC アドレスなど、Bluetooth 機器を示す情報が表示されます。
- 7 パソコン側の [はい] をクリックする
- 8 本製品側の SELECT ボタン で [YES] を選択し、SET ボタン を押す
ディスプレイに「ペアリング設定中」と表示されます。
- 9 本製品のディスプレイに「ペアリング設定に成功しました」と表示される



(次ページに続く)

- 10 パソコン側に本製品の Bluetooth デバイス名が表示されたら、画面を閉じる
- 11 パソコン側の「コントロールパネル」－「デバイスとプリンター」を選択し、「デバイス」にある Bluetooth デバイス名を右クリックする
- 12 「接続方法」で表示されている方法を選択してクリックし、接続する
- 13 本製品のディスプレイで **B** の下の数字が「1」以上になっていることを確認する
※接続台数が数字で表示されます。

Mac パソコン (OS X v10.10) の場合

- 1 ご利用のパソコンの Bluetooth を起動する
※パソコンの取扱説明書などを参照してください。
- 2 ご利用のパソコンの Bluetooth 設定画面より [Bluetooth を入にする] をクリックする
- 3 本製品のディスプレイが通常表示のとき、SELECT ボタン **SELECT** を数回押し、メニューの [Bluetooth ペ어링設定] を選択して SET ボタン **SET** を押す
- 4 SELECT ボタン **SELECT** で [YES] を選択し、SET ボタン **SET** を押す
ディスプレイに「ペ어링待受中」と表示されます。
- 5 パソコン側に、あらかじめ確認しておいた本製品の Bluetooth デバイス名が表示されるので、デバイス名を選択し、[ペ어링] をクリックする
- 6 本製品のディスプレイに「****
にペ어링します」と表示されたら、SELECT ボタン **SELECT で [YES] を選択し、SET ボタン **SET** を押す
※「****」にパソコンのコンピューター名や、MAC アドレスなど、Bluetooth 機器を示す情報が表示されます。
- 7 本製品のディスプレイに「ペ어링設定に成功しました」と表示される
- 8 パソコン側で本製品の Bluetooth デバイス名をダブルクリックし、接続する



9 本製品のディスプレイで **B** の下の数字が「1」以上になっていることを確認する

※接続台数が数字で表示されます。

スマートフォン/タブレット (Android) の場合

1 本製品のディスプレイが通常表示のとき、SELECT ボタン **SELECT** を数回押し、メニューの [Bluetooth ペアリング設定] を選択して SET ボタン **SET** を押す

2 SELECT ボタン **SELECT** で [YES] を選択し、SET ボタン **SET** を押す
ディスプレイに「ペアリング待受中」と表示されます。

3 ご利用の Bluetooth 搭載端末の [設定] - [Bluetooth] をタップし「ON」にする

4 ご利用の Bluetooth 搭載端末に、あらかじめ確認しておいた本製品の Bluetooth デバイス名が表示されるのでタップする



5 本製品のディスプレイに「*****にペアリングします」と表示されていることを確認する

※「*****」はご利用の Bluetooth 搭載端末の機種名など、Bluetooth 機器を示す情報が表示されます。



6 ご利用の Bluetooth 搭載端末の [ペア設定する] をタップする
Bluetooth 搭載端末によっては表示が異なる場合があります。

7 本製品の SELECT ボタン **SELECT** で [YES] を選択し、SET ボタン **SET** を押す

(次ページに続く)

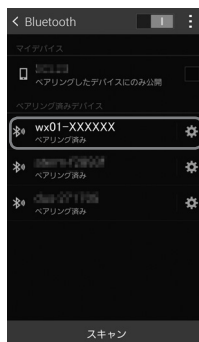
8 本製品のディスプレイに「ペアリング設定に成功しました」と表示される

※「ペアリング設定に失敗しました」と表示された場合、手順 1 からやり直してください。

9 ご利用の Bluetooth 搭載端末に本製品の Bluetooth デバイス名が表示されるのでタップする

インターネットに接続できないときは、デバイス名の右にあるアイコンをタップし、画面を開いてインターネットアクセス(*)にチェックが入っているか確認してください。

(*) Bluetooth 搭載端末によっては表示が異なる場合があります。



10 本製品のディスプレイで **B** の下の数字が「1」以上になっていることを確認する

※ 接続台数が数字で表示されます。

iPad/iPod touch の場合

※ iPhone は PANU に対応していないため、ご利用いただけません。(2015 年 6 月現在)

1 本製品のディスプレイが通常表示のとき、SELECT ボタン **SELECT** を数回押し、メニューの [Bluetooth ペ어링設定] を選択して SET ボタン **SET** を押す

2 SELECT ボタン **SELECT** で [YES] を選択し、SET ボタン **SET** を押す
ディスプレイに「ペアリング待受中」と表示されます。

3 ご利用の Bluetooth 搭載端末の [設定] - [Bluetooth] をタップし「ON」にする

4 ご利用の Bluetooth 搭載端末に、あらかじめ確認しておいた本製品の Bluetooth デバイス名が表示されるのでタップする



5 本製品のディスプレイに「**** * * にペアリングします」と表示されていることを確認する

※「**** * *」はご利用の Bluetooth 搭載端末の機種名など、Bluetooth 機器を示す情報が表示されます。



6 SELECT ボタン **SELECT** で [YES] を選択し、SET ボタン **SET** を押す

7 本製品のディスプレイに「ペアリング設定に成功しました」と表示される

※「ペアリング設定に失敗しました」と表示された場合、手順 1 からやり直してください。

8 ご利用の Bluetooth 搭載端末に、「**** * * 接続済み」と表示されていることを確認する

※「**** * *」はあらかじめ確認しておいた本製品の Bluetooth デバイス名が表示されます



9

本製品のディスプレイで **B** の下の数字が「1」以上になっていることを確認する

※接続台数が数字で表示されます。

MEMO



4

WAN 側回線の接続設定

4-1	WiMAX 2+/WiMAX	4-2
4-2	Wi-Fi スポット	4-4

本製品は、初期値で WiMAX 2+/WiMAX のプロファイル（インターネットサービスプロバイダなどとの接続設定）が設定されていますので、通常はそのままお使いいただけます。プロファイルの新規設定や編集が必要な場合は以下の方法で設定を行ってください。

- ・ご契約の WiMAX 事業者からインターネット接続に必要な接続設定情報（ユーザー名、パスワード等）が指定されている場合は、以下の手順に従いプロファイルの追加を行ってください。
 - ・ご契約の WiMAX 事業者からプリセット済みのプロファイルが指定されている場合は、ディスプレイメニューの「機能設定 メンテナンス」－「APN」でプロファイルを選択してください。特に指定がない場合には、本製品にあらかじめ設定されているプロファイル（プロファイル名「Internet」）でインターネットの接続ができます。
- ※ 本製品にあらかじめ設定されているプロファイルで「Internet」以外のプロファイルをご利用する場合は、プロファイルを選択してください。（▶P9-8、▶P10-9）

接続先設定方法

クイック設定 Web で設定します。

- 1 パソコンを起動する
※本製品とパソコンがネットワーク接続されていることを確認します。
- 2 WWW ブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://192.168.179.1/」を入力してクイック設定 Web を開く
- 3 [詳細設定 TOP へ] ボタンをクリックする
- 4 ログイン画面が表示されたらユーザー名／管理者パスワードを入力し、[OK] を選択する
※管理者パスワード未設定の場合はパスワードの設定画面が表示されます。（▶P9-4）
- 5 管理者パスワードを入力し [設定] をクリックする
※この画面は管理者パスワードが未設定の場合に表示されます。
- 6 [ネットワーク設定] － [プロファイル設定] をクリックする

（次ページに続く）

7 【プロフィールリスト】で【no setup】を選択後、ご契約されているWiMAX事業者のAPNなどの設定情報を入力し、【設定】をクリックする

※表示内容はグレーアウトされている場合があります。

※ご不明な点はお契約されたWiMAX事業者にお問い合わせください。



8 【保存】をクリックする

9 【ネットワーク設定】 - 【接続設定】をクリックする

10 プロファイル選択で、上記で設定したプロファイルを選択し、【設定】をクリックする

11 【保存】をクリックする

本製品は、Wi-Fi スポットサービスに対応しています。Wi-Fi スポットサービスエリアの中にいる場合、WiMAX 2+/WiMAX を経由しないでインターネットに接続することができます。

※ Wi-Fi スポットサービス提供者との契約、認証用 ID ・パスワードが必要な場合があります。

Wi-Fi スポットサービス提供者との契約後にクイック設定 Web トップ画面の「簡易設定」－「Wi-Fi スポット」で設定します。WiMAX 2+/WiMAX と Wi-Fi スポットの接続を電波状態などにより切り替えて使用します。初期値は、Wi-Fi スポットを「使用しない」です。

< au Wi-Fi SPOT をご利用する場合 >

au Wi-Fi SPOT は、お買い上げ時に登録済みですので、以下の手順にて、au Wi-Fi SPOT の提供エリア内で Wi-Fi スポットを「使用する」に設定するだけでご利用いただけます。

- 1 パソコンを起動する
※本製品とパソコンがネットワーク接続されていることを確認します。
- 2 WWW ブラウザを起動し、「http://192.168.179.1」を入力してクイック設定 Web を開く
- 3 クイック設定 Web トップ画面の「簡易設定」－「Wi-Fi スポット」の「使用する」にチェックを入れる
- 4 【設定】 ボタンをクリックする
※ログイン画面が表示された場合は、ユーザー名 / パスワードを入力し、[OK] を選択してください。
- 5 【保存】 ボタンをクリックする

お願い

- お客様が意図しない課金が発生する可能性がありますのでご注意ください。

本製品の電源が入っている場合、Wi-Fi スポットサービスの提供エリアに入るとお客様が設定した Wi-Fi スポットアクセスポイントに自動的に接続（ログイン）することがあります。そのため、Wi-Fi スポットサービスのご契約内容によっては、通信時間、接続回数などに応じた課金（従量課金）がされる場合があります。完全定額制のサービスのご利用をお勧めします。

接続先設定方法

クイック設定 Web 画面で設定します。選択できるアクセスポイントは最大 8 件です。(手動設定含む)

1 パソコンを起動する

※本製品とパソコンがネットワーク接続されていることを確認します。

2 WWW ブラウザを起動し、「http://192.168.179.1」を入力してクイック設定 Web を開く

3 [詳細設定 TOP へ] ボタンをクリックする

4 ログイン画面が表示されたらユーザー名／管理者パスワードを入力し、[OK] を選択する

※管理者パスワード未設定の場合はパスワードの設定画面が表示されます。(▶P9-4)

5 [Wi-Fi スポット設定] - [接続先設定] をクリックする

< Wi-Fi スポットアクセスポイント選択から設定する場合 >

1 [接続先登録] ボタンをクリックし、Wi-Fi スポットアクセスポイントの選択画面を表示する

2 ご契約のプロバイダが対応しているアクセスポイントにチェックを入れる

プロバイダ選択で選択すると、ご契約のプロバイダが対応しているアクセスポイントにチェックされます。

※接続先登録画面にあるアクセスポイントを 8 件まで接続先リストに登録できます。

※[アクセスポイント設定] ボタンがあるアクセスポイントでは、複数の SSID を登録することができます。

<画面は参考例です>

3 ユーザー情報の一括設定で、プロバイダから通知されたログイン ID とパスワードを入力する

※ログイン ID は契約プロバイダから通知されたものを入力してください。

4 [設定] ボタンをクリックする

(次ページに続く)

- 5 メッセージが表示されるので [OK] をクリックする
- 6 接続先リストに選択した Wi-Fi スポットアクセスポイントが表示されます。
- 6 [保存] ボタンをクリックする

<手動でアクセスポイントを設定する場合>

Wi-Fi スポットアクセスポイントの一覧にないアクセスポイントで無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続したいときは「個別設定」で設定します。

- 1 接続先登録画面で「個別設定」にチェックを入れ、[アクセスポイント設定] ボタンをクリックする
- 2 アクセスポイント設定の設定項目が表示される
- 3 必要な情報を入力し、設定ボタンをクリックする
- 4 Wi-Fi スポットアクセスポイント選択画面に表示されます。
- 4 メッセージが表示されるので [OK] をクリックする
- 5 [保存] ボタンをクリックする



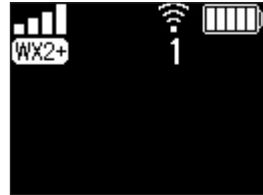
WiMAX 2+/WiMAX と Wi-Fi スポット接続の切り替え方法

あらかじめ Wi-Fi スポットを「使用する」に設定しているときは、接続可能な Wi-Fi スポットエリア内に入ると、設定した接続先に自動的に接続されます。

Wi-Fi スポットエリア内でディスプレイメニューにて WiMAX 2+/WiMAX から Wi-Fi スポット接続に切り替える場合は、以下の手順で切り替えてください。

※ Wi-Fi スポットから WiMAX 2+/WiMAX に切り替える場合も同様の手順で行うことができます。

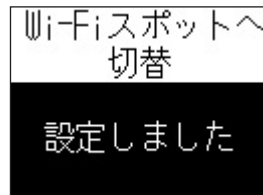
- 1 本製品のディスプレイに **WX2+** または **WX** と表示されていることを確認する



- 2 SELECT ボタン **SELECT** を押して次のメニュー画面を表示する



- 3 SET ボタン **SET** を押す
「設定しました」と表示されます。



- 4 ディスプレイの接続状態に **Wi-Fi** が点灯していることを確認する





お知らせ

- Wi-Fi スポットサービスによっては SSID が複数ある場合や SSID が変更になる場合があります。
そのときは、あらかじめ設定されている SSID と暗号化キーを、接続先リストの詳細設定から手動で変更してください。
- Wi-Fi スポット側の IP アドレス体系と LAN 側の IP アドレスが重複した場合、接続できないことがあります。接続するには、LAN 側の IP アドレス体系を変更する必要があります。IP アドレスの再取得を行ってください。(●P12-5)
- Wi-Fi スポットサービスのご契約内容によっては、同じ SSID でも接続（ログイン）できない場合があります。
ご契約内容と対応エリアをご確認ください。
- 本製品が Wi-Fi スポット接続中に、無通信状態が続くなどして接続が切れてしまう場合があります。
再接続するには、Wi-Fi スポットサービスのログイン画面から手動でログインしてください。ログイン方法は、各 Wi-Fi スポットサービスのログイン手順にしたがってください。
- 「個別設定」で設定したアクセスポイントは、エリア内で Wi-Fi スポットをご利用する場合、ログイン画面が表示されます。各 Wi-Fi スポットサービスのログイン手順にしたがってログインしてください。
- Wi-Fi スポット接続処理中に、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末に Wi-Fi スポットサービスのログイン画面が表示される場合があります。
- 無線 LAN (Wi-Fi®) 端末と Wi-Fi スポットサービスでは同じチャンネルを使用しています。Wi-Fi スポットサービスの通信では、1 ~ 11ch を使用します。



5



便利な機能

- 5-1 らくらく QR スタートを使う……………5-2
- 5-2 ECO 機能を使う……………5-4
- 5-3 スマートフォンアプリで情報を見る……………5-6
- 5-4 休止状態から起動する（リモート起動）…5-11
- 5-5 5GHz 帯で利用する……………5-13
- 5-6 その他の便利な機能……………5-15

スマートフォン / タブレット端末の場合、「Aterm らくらく QR スタート for Android」、「Aterm らくらく QR スタート for iOS」をご利用いただくと、無線 LAN 設定用の QR コードを読み取るだけで、本製品へ簡単に無線 LAN (Wi-Fi®) 接続することができます。

本製品に同梱の無線 LAN 設定用 QR コードをご利用することもできます。(☛ 本製品に同梱の「つなぎかたガイド」)

本製品では、無線 LAN (Wi-Fi®) 接続に必要な設定用の QR コードを、クイック設定 Web から表示することができます。(☛ 下記)

※ クイック設定 Web で無線設定内容を変更した場合も、変更した内容の QR コードを表示できます。

下記の手順で、設定用 QR コードを表示し、スマートフォン / タブレット端末から無線 LAN (Wi-Fi®) 接続してください。

設定用 QR コードを表示する

QR コードはプライマリ SSID 用とセカンダリ SSID 用の 2 種類あります。

1 パソコンを起動する

※ 本製品とパソコンがネットワーク接続されていることを確認します。

2 WWW ブラウザを起動し、「http://192.168.179.1」を入力してクイック設定 Web を開く

3 [詳細設定 TOP へ] ボタンをクリックする

4 ログイン画面が表示されたらユーザー名 / 管理者パスワードを入力し、[OK] を選択する

※ 管理者パスワード未設定の場合はパスワードの設定画面が表示されます。(☛ P9-4)

5 画面左のメニューにある [設定用 QR コード] ボタンをクリックする

[OK] をクリックすると設定用 QR コードを作成する Web サイトにリンクします。



(次ページに続く)

6 画面にしたがって、設定用 QR コードを作成・表示する

スマートフォン/タブレット端末から無線 LAN (Wi-Fi®) 接続する

7 スマートフォン/タブレット端末のホーム画面から [設定] をタップし、
[機内モード] をオフに、[Wi-Fi] をオンにする

8 スマートフォン/タブレット端末で、「Atermらくらく QR スタート」
を起動する

※「Atermらくらく QR スタート」は、下記 URL からダウンロードしてください。

<http://qr.aterm.jp>

※起動後、しばらくすると、カメラビューが表示されます。

9 カメラビュー画面で、手順 6 で表示された設定用 QR コードを読み取る

※カメラビュー内の読み取り範囲内に QR コードを表示させてください。自動的に QR コードを読み取ります。

10 無線 LAN 設定内容が表示されたら、[設定適用] をタップ(またはクリック)する

以上で無線 LAN (Wi-Fi®) 接続の設定は終了です。

(iOS 端末の場合は、以降画面にしたがって設定を進めてください。)

なお、詳細は、「Atermらくらく QR スタート」の Web サイト (● 下記) を参照してください。

<http://qr.aterm.jp>

お知らせ

- 「Atermらくらく QR スタート」は、インターネット接続機能およびカメラ機能に対応しているスマートフォン・タブレット端末でご利用いただけます。利用可能な端末の最新情報は、「Atermらくらく QR スタート」の Web サイト (● 上記) でご確認ください。2015 年 6 月現在では、Android 端末 (対応 OS : Android 5.0/4.4/4.3/4.2/4.1/4.0/3.2/3.1/3.0/2.3) および iOS 端末 (対応 OS : iOS 8.1/8.0/7.1/7.0/6.0/5.1/5.0) でのご利用となります。なお、本アプリは無料です。ただしインターネット接続の packets 通信料はお客様ご負担となります。

無線スリープ

本製品を USB ケーブルで接続して通信する場合、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 機能および Bluetooth 機能をスリープさせて消費電力を抑えます。

クイック設定 Web から詳細設定にログインして設定します。(☛P9-41)
初期値は「使用しない」です。

自動省電力

クイック設定 Web から詳細設定にログインして設定します。「ECO 設定」 - 「ECO 設定」の [自動省電力設定] で設定します。(☛P9-24)

ディスプレイが自動消灯するまでの時間やウェイトング/休止状態に設定できます。無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末または Bluetooth 搭載端末との接続がない場合、一定時間経過した後、指定した状態に移行し、電力の消費を抑えます。指定した状態に移行するまでの時間を設定することができます。

ただし、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末または Bluetooth 搭載端末と通信している場合や AC アダプタ、USB ケーブル、クレードル接続のときは、設定した状態にはなりません。また、ディスプレイ表示が通常表示以外の場合は、自動省電力状態になりません。

ウェイトング

ウェイトングとは、動作中の消費電力を抑え、利用可能時間を長くする機能です。ウェイトングに移行するのは、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 利用時のみです。Bluetooth 接続の場合は、リモート起動可能な休止状態になります。

本製品を起動してから一定時間 (初期値 10 分) が経過すると、ウェイトング状態になります。ただし、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末の検出状況によっては、設定している時間よりも長くなる場合があります。

※ 無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末側の仕様によっては、無通信でも接続が維持されてしまい、一定時間が経過してもウェイトングに入らない場合があります。そのときは、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末側の無線接続を OFF にしてください。

WiMAX 2+/WiMAX 通信は切断されます。

AC アダプタ接続、USB 接続およびクレードル接続している場合は、ウェイトングは無効となります。

ウェイトング中の待機可能時間は、最大約 35 時間です。



<ウェイトングに設定するには>

本製品は、工場出荷時「ウェイトング」に設定されています。

クイック設定 Web 画面で設定できます。

[省電力状態切り替え設定時間] でウェイトングに移行する時間を設定します。初期値は「10分」です。

<ウェイトングからの復帰>



ウェイトングからの復帰は、SET ボタン  / SELECT ボタン  / 電源ボタン  のいずれかを押したときに復帰し、通常表示になります。

無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末との無線接続が開始されると復帰します。

休止状態

休止状態とは、無線の停止状態からでもすばやく利用可能状態にする機能です。休止状態に設定した場合、最大約 500 時間待機できます。


<休止状態に設定するには>

電源ボタン  を押して、休止状態に移行できます。ディスプレイが通常表示のときに、電源ボタン  を「休止状態に移行します」と表示されるまで長押しします。

クイック設定 Web 画面で設定できます。

【省電力状態切り替え設定時間】で休止状態に移行する時間を設定します。初期値は「10分」です。

<休止状態からの復帰>

電源ボタン  を長押しすると「waking up・・・」と表示され、本製品が起動します。スマートフォンアプリを用いて本製品を休止状態から起動させることができます。(P5-12)



お知らせ

- 自動消灯は、下記の条件では無効となります。
 - ・ WPS で無線設定を実行中
 - ・ らくらく無線スタートを実行中
 - ・ 「新ファームウェア公開中です 更新しますか?」と表示中
 - ・ ファームウェアのバージョンアップ中
- 本製品がウェイティングに移行するとき、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末側の仕様によっては、無通信でも接続が維持されてしまい、一定時間が経過してもウェイティングに入らない場合があります。そのときは、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末側の無線接続を OFF にしてください。

本製品の情報を、スマートフォンなどにインストールした「NEC WiMAX 2+ Tool」で確認することができます。

ファームウェアの更新や休止状態への移行、インターネットの接続先切り替えなどを画面操作で行うこともできます。

「NEC WiMAX 2+ Tool」をダウンロード／インストールする

- 1 スマートフォンなどから、Google Play ストアや App Store で「NEC WiMAX 2+ Tool」をキーワードにアプリを検索してダウンロードページを開く
- 2 ダウンロードページから「NEC WiMAX 2+ Tool」をダウンロードおよびインストールする

情報表示

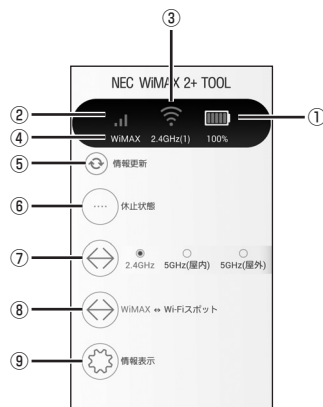
情報は、一定間隔で表示されます。手動で取得する場合は、「NEC WiMAX 2+ Tool」アプリ画面の【情報更新】をタップしてください。

本製品とスマートフォンなどとの接続が切断されている場合は、【情報更新】をタップしても、情報が更新されません。接続し直してください。

※表示内容は参考です。OS やバージョンによって異なります。

メイン画面

- ① 電池残量
1% 単位で表示します。充電中は充電中の表示です。
- ② アンテナレベル (アンテナバーで表示)
WiMAX/Wi-Fi スポットは、0～5本の6段階表示をします。WiMAX 2+は、0～4本の5段階表示をします。
- ③ LAN 側情報
無線 LAN (Wi-Fi[®]) の状態 (電波状態および接続している無線 LAN (Wi-Fi[®]) 帯域) と接続している無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末の台数を表示します。Bluetooth 機能使用時は、[Bluetooth(1)] (数字は接続している Bluetooth 搭載端末の台数) と表示します。
- ④ WAN 側情報
WAN 側の接続先、WiMAX (WiMAX 2+、WiMAX) と Wi-Fi スポット (Wi-Fi) を表示します。
- ⑤ 情報更新
手動で情報を取得できます。
- ⑥ 休止状態
休止状態にするときはタップします。
- ⑦ 無線 LAN 帯域切り替え
2.4GHz 帯 /5GHz 帯 (屋内) /5GHz 帯 (屋外) から選択します。接続している無線 LAN 帯域が青文字で表示されます。接続したい帯域をタップして選択し、⊕をタップして切り替えができます。
※ 5GHz 帯が無効の場合、⊕がグレー表示となり、切り替えできません。5GHz 帯を有効にするには、「情報表示」-「各種設定」の「5GHz 帯」で設定してください
※ WAN 側の接続先が Wi-Fi スポットの場合、無線 LAN 帯域は自動的に切り替わります。⊕はグレー表示となります。



Android 端末の画面例です

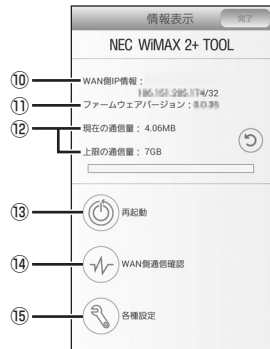
- ⑧ **WiMAX 2+/WiMAX と Wi-Fi スポットの接続切り替え**
WiMAX 2+/WiMAX と Wi-Fi スポットから選択します。接続している WAN 側の接続先が青文字で表示されます。
⇒ をタップして接続の切り替えができます。
※ WiMAX 2+/WiMAX を選択したときは、接続した回線 (WiMAX 2+ または WiMAX) を青文字で表示します (Wi-Fi スポットを選択したときは WiMAX 2+/WiMAX とグレー文字で表示します)。
- ⑨ **情報表示**
情報表示画面を表示します。

お知らせ

- アプリを起動したとき「管理者パスワードが設定されていません。管理者パスワードを設定してください。」と表示された場合は、画面の案内にしたがって設定を行ってください。
※ 管理者パスワードは、本製品を設定するときに必要となりますので控えておいてください。忘れた場合は、クイック設定 Web 画面を開くことができず、本製品を初期化してすべての設定がやり直しになります。

以下は情報表示をタップすると表示され、[完了] をタップして戻ります。

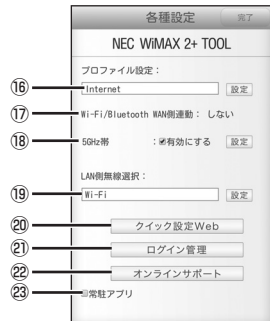
- ⑩ **WAN 側 IP 情報**
WAN 側 IP アドレスおよびネットマスクを表示します。
- ⑪ **ファームウェアバージョン**
ファームウェアのバージョンを表示します。
- ⑫ **データ通信量**
現在の通信量と上限の通信量を表示します。🔄で通信量のリセットができます。
- ⑬ **再起動**
再起動するときはタップします。
- ⑭ **WAN 側通信確認**
インターネットに接続しているか確認する場合にタップします。
- ⑮ **各種設定**
プロファイルや通信モードなどの設定ができます。



Android 端末の画面例です

以下は、⑮各種設定で実行できるメニューが表示されます。

- ⑯ **プロファイル設定**
プロファイルを設定します。
- ⑰ **Wi-Fi/Bluetooth WAN 側連動**
Wi-Fi/Bluetooth WAN 側連動の有効 (する) / 無効 (しない) を表示します。
クイック設定Webの「無線LAN設定」(P.9-12)で設定できます。
- ⑱ **5GHz 帯**
5GHz 帯の有効 / 無効の設定ができます。有効にする場合はチェックをします。
- ⑲ **LAN 側無線選択**
Wi-Fi/Bluetooth の設定ができます。
「Bluetooth」を選択する場合は、あらかじめ本製品とスマートフォンをペアリングしておく必要があります。
- ⑳ **クイック設定 Web**
モバイル用クイック設定 Web にアクセスします。
- ㉑ **ログイン管理**
ユーザー名と管理者パスワードの入力欄と IP アドレスが表示されます。
- ㉒ **オンラインサポート**
オンラインサポートページを表示します。
- ㉓ **常駐アプリ (Android 端末のみ)**
チェックを入れるとスマートフォンのステータスバーにアイコンが表示されます。



Android 端末の画面例です

以下は、メイン画面を表示しているときスマートフォンのメニューボタン (iOS の場合は「i」ボタン) でメニューが表示されます。

- ㉔ **バージョン情報**
NEC WiMAX 2+ Tool のバージョンや Bluetooth デバイス名、リモート起動用デバイス名が表示されます。



Android 端末の画面例です

<ファームウェアの更新>

新しいファームウェアが存在している場合、アプリを起動すると、「新しいファームウェアがあります。クイック設定 Web を表示しますか?」と表示されるので、メッセージを確認し、[はい] をタップします。

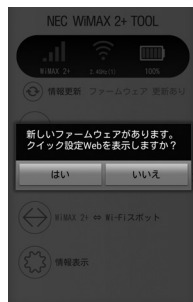
クイック設定 Web が起動するのでログインします。(●P10-2)

ファームウェア更新画面が表示されたら、[確認 / 更新] ボタンをタップし、ファームウェアの更新を完了してください。



「管理者パスワードが設定されていません。管理者パスワードを設定しますか?」と表示されたときは、画面の案内にしたがって設定を行ってください。

※ 管理者パスワードは、本製品を設定するときに必要となりますので控えておいてください。忘れた場合は、クイック設定 Web 画面を開くことができず、本製品を初期化してすべての設定がやり直しになります。



<画面例>

<WiMAX 2+/WiMAX と Wi-Fi スポットの接続状態の切り替え>

WiMAX 2+/WiMAX と Wi-Fi スポットの接続を切り替える場合、一度切断してから切り替えます。

⊖ をタップすることで切断できます。(WiMAX 2+/WiMAX または Wi-Fi スポットで切断した側がグレーアウトします。)

WAN 側が未接続になり、接続可能な接続先をサーチし、接続します。

※ WiMAX 2+/WiMAX と Wi-Fi スポットの接続を切り替える場合、Wi-Fi スポットのサービス事業者との契約が必要になることがあります。

<リモート起動>

スマートフォンアプリを用いて本製品を休止状態から起動させることができます。

リモート起動を使用するときは、あらかじめクイック設定 Web 画面にて次の設定が必要です。

- ・「ECO 設定」 - 「自動省電力設定」の「省電力状態切り替え機能」を「休止状態」に設定
- ・「ECO 設定」 - 「休止状態設定」の「リモート起動」を「使用する」に設定

リモート起動はスマートフォンの Bluetooth 機能を用いて手動でも行うことができます。設定方法の詳細については、「5-4 休止状態から起動する(リモート起動)」(●P5-11)を参照してください。



お知らせ

- 本製品との通信に失敗、もしくは、本製品側が処理中で情報の取得ができなかった場合は、エラーが表示されるので、[情報更新] をタップして情報を取得してください。
- スマートフォンアプリのメニューや機能は、バージョンアップによって変更される場合があります。
- 「NEC WiMAX 2+ Tool」から休止状態にするとき、リモート起動が設定されていない場合でもリモート起動可能な休止状態となります。
- LAN 側無線選択が「Bluetooth」の場合、自動省電力機能で移行するのはリモート起動可能な休止状態となります。

休止状態から起動する (リモート起動)

本製品が休止状態のときにスマートフォンなどにインストールした「NEC WiMAX 2+ Tool」や Bluetooth 搭載端末からの操作で、すぐに起動することができます。



- リモート起動は、本製品が休止状態のときにご利用いただけます。
- スマートフォンの機種によっては、他の Bluetooth 機器を使用しているとリモート起動の動作が正常に動作しない場合があります。その場合は、他の Bluetooth 機器をいったん停止してから使用してください。
- リモート起動をご利用する際は、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末と本製品の距離を 10m 以上離さないでください。

< 休止状態にする >

■ アプリで休止状態にする

- 1 本製品とスマートフォンが無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続されていることを確認する
- 2 「NEC WiMAX 2+ Tool」を起動する
- 3 「休止状態」をタップする
メッセージが表示されるのでメッセージの内容を確認後、「はい」をタップします。画面がグレースアウトし、休止状態となります。


■ クイック設定 Web で休止状態に設定する

クイック設定 Web の「ECO 設定」－「ECO 設定」で設定します。

「自動省電力設定」の「省電力状態切り替え機能」で「休止状態」に設定し、【休止状態設定】の「リモート起動」の「使用する」にチェックします。

■ 本製品の電源ボタン[Ⓞ]を長押しして、休止状態に設定する

あらかじめリモート起動に設定されているか確認してください。(☛ 上記)

※ 本製品のディスプレイでリモート起動に設定していることを確認するには、充電中に電源ボタンを押してください。リモート起動に設定されている場合は、が表示されます。

- 1 ディスプレイが通常表示されていることを確認し、電源ボタン[Ⓞ]を長押しする
- 2 「休止状態に移行します」とメッセージが表示された時点で電源ボタン[Ⓞ]をはなす

<起動方法>

■アプリでリモート起動する

- 1 「NEC WiMAX 2+ Tool」を起動する
- 2 グレーアウトしている画面に【リモート起動】のボタンが表示されたらタップする
メッセージが表示されるので「はい」をタップします。
- 3 本製品がリモート起動する
本製品のディスプレイに「waking up・・・」と表示され、起動します。



本製品の電源ボタン長押し、またはクイック設定 Web にて休止状態にしていた場合、「NEC WiMAX 2+ Tool (iOS 版)」でリモート起動ボタンが表示されないことがあります。その場合は、「NEC WiMAX 2+ Tool (iOS 版)」を終了し、再起動させてください。

■スマートフォンから Bluetooth 機能でリモート起動する

- 1 スマートフォン側の Bluetooth 機能を有効にする
スマートフォン側の Bluetooth 機能についてはスマートフォンのマニュアルを確認してください。
- 2 Bluetooth 検索をする
- 3 検索結果から本製品のデバイス名を選択してタップする
デバイス名は本製品のディスプレイメニューの「端末情報」で確認できます。
※デバイス名は、「NEC WiMAX 2+ Tool」でも確認できます。(●P5-6)
※デバイス名は、本製品が休止状態のときにスマートフォン側の Bluetooth 検索結果に表示されます。
- 4 本製品がリモート起動する
本製品のディスプレイに「waking up・・・」と表示され、起動します。



Bluetooth 機能を使ってリモート起動する際、無線 LAN (Wi-Fi®) 端末側で「ペアリング失敗 *****-bt と通信できません」と表示されてもリモート起動が正常に行われている場合もあります。

本製品では、無線 LAN (Wi-Fi[®]) に 5GHz 帯を利用することができます。



- 本機能は、工場出荷時の状態では無効となっています。
- 5GHz 帯域を使用する場合、5.2GHz、5.3GHz 帯域の屋外での使用は電波法により禁じられています。
- 5GHz 帯（屋内）で使用しているとき、ウェイティングに移行しても、5GHz 帯（屋内）を使用しています。屋外に移動しないでください。屋外に移動する場合は、「無線 LAN 帯域切替」にて設定を変更してください。
- 屋外を選択したときは、気象レーダーなどの干渉を避けるために DFS 機能によるチャンネルのサーチが 1 分程度かかります。（ディスプレイ上は「利用チャンネル確認中」が表示されます。）
- 設定後、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続が切断される場合があります。再度、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続してください。
- 屋内とは四方が壁に囲われた建造物の内部の空間をいい、駅のホームや自動車や電車など乗り物の中は屋外の扱いとなりますので注意してください。
- 本製品の Wi-Fi スポットへの接続機能を有効にしている場合は、接続する Wi-Fi スポットアクセスポイントに合わせて 2.4GHz 帯あるいは 5GHz 帯 (W52/W53/W56) の各無線チャンネルを自動的に選択し接続しますので、Wi-Fi スポットのアクセスポイントが屋外利用可能な W56 の場合は、本製品も屋外で利用することが可能です。

クイック設定 Web で設定します。本製品のディスプレイメニューから設定する場合でも、あらかじめクイック設定 Web で 5GHz 帯の「使用する」にチェックする必要があります。





<クイック設定 Web で設定する場合>

- 1 クイック設定 Web の「詳細設定 TOP ページへ」をクリックし、ログインする (●P9-2)
- 2 ユーザー名とパスワードを入力し [OK] をクリックする
- 3 「無線 LAN 設定」 - 「無線 LAN 設定」をクリックする
- 4 「無線 LAN アクセスポイント (親機) 設定」の「5GHz 帯」を「有効にする」にチェックする
※「5GHz 帯無線 LAN 利用にあたっての同意書」が表示されます。
同意書の内容を確認し、同意する場合は [OK] を選択してください。
- 5 「設定」をクリックする

-
- 6 メッセージが表示されるので、内容を確認して [OK] をクリックする
 - 7 [保存] をクリックする
 - 8 [詳細設定 TOP へ] をクリックする
 - 9 [無線 LAN 帯域切替] で「5GHz (屋外)」または「5GHz (屋内)」をクリックする
 - 10 [OK] をクリックする

<ディスプレイメニューで設定する場合>

あらかじめクイック設定 Web で 5GHz 帯の「使用する」にチェックする必要があります。

- 1 本製品のディスプレイを通常表示にしてから SELECT ボタン  を押し、メニューの「無線 LAN 帯域切替」を表示させ、SET ボタン  を押す
- 2 SELECT ボタン  を押し、「5GHz (屋外)」または「5GHz (屋内)」のどちらかを選択し、SET ボタン  を押す
- 3 ディスプレイに次のメッセージが表示されることを確認する
屋内の場合：「5GHz 帯を使用します。屋内でのみご利用ください。屋外移動時は帯域を変更してください」
屋外の場合：「5GHz 帯を使用します」(表示後、無線チャネル確認を行います)

VPN パススルー

仮想プライベートネットワーク (VPN : Virtual Private Network) 機能とは、ネットワーク上に VPN を構築することによって、リモート側にある機器とプライベート側にある機器との間で、セキュリティで保護されたデータ通信を可能とするものです。

本製品は、L2TP (Layer2 Tunneling Protocol)、IPsec (IP Security) または PPTP (Point to Point Tunneling Protocol) による VPN 通信に対して、パススルー機能を搭載することにより、これらの VPN 通信を通過させることができます。

L2TP、IPsec または PPTP による VPN 接続を使用することにより、インターネットを経由して LAN 側の IPsec 機器 / PPTP クライアントから WAN 側の IPsec 機器 / PPTP サーバにアクセスすることができます。

また、WAN 側の IPsec 機器 / PPTP クライアントから LAN 側の IPsec 機器 / PPTP サーバにアクセスするように設定することも可能です。

例えば、「利用例 1」では自宅の IPsec 機器からインターネット経由で会社のネットワークにアクセスすることができます。

また、「利用例 3」のように、自宅の PPTP サーバに外部のパソコンからアクセスさせることもできます。



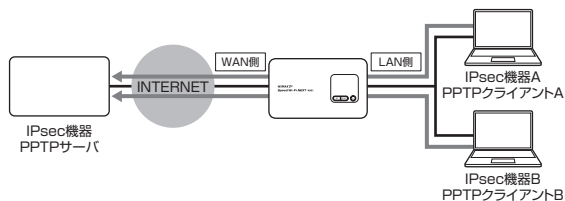
- IPsec パススルー機能を「使用しない」に設定した場合
1 台の IPsec 機器に対して、複数台の IPsec 機器との通信はできません。
(IPsec 機器間で 1 セッションの通信のみ可能です)
- IPsec パススルー機能を「使用する」に設定した場合
1 台の IPsec 機器に対して、複数台の IPsec 機器との通信が可能です。
(1 台の IPsec 機器に対して、複数台の IPsec 機器からの通信が可能になります)
- 本製品内のローカルネットワークに IPsec 機器 / PPTP サーバを構築する場合は、ポートマッピング設定を併用する必要があります。
- IKE(Internet Key Exchange)を使った IPsec パススルー通信を行う場合には、ポートマッピング設定を併用する必要があります。
- ポートマッピング設定を必要とする通信では、同時に複数台の端末を指定することはできません。

<利用例>

ここでは、ネットワーク上での IPsec/PPTP パススルーの利用例を紹介します。

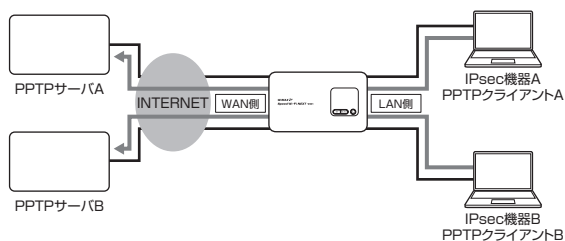
利用例 1

本製品に接続した複数台の IPsec 機器 / PPTP クライアントから 1 台の IPsec 機器 / PPTP サーバに接続する



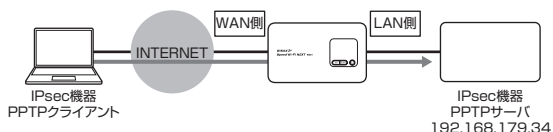
利用例 2

本製品に接続した IPsec 機器 / PPTP クライアントからそれぞれ別の IPsec 機器 / PPTP サーバに接続する



利用例 3

本製品に接続した IPsec 機器 / PPTP サーバに接続する
本製品に接続できる IPsec 機器 / PPTP サーバは 1 台のみです。



お使いの OS が PPTP サーバとして利用できるかどうか、および PPTP サーバの設定方法の詳細は、OS のサポート窓口でご確認ください。

なお、ご契約のサービス事業者から WAN 側にグローバル IP アドレスを割り当てられた場合に限りです。

詳細は、ご契約のサービス事業者へお問い合わせください。

■WAN 側の PPTP サーバへアクセスする場合の LAN 側の PPTP クライアントの設定 (利用例 1、2)

[利用例 1] の場合でパソコンへの設定の一例です。(パソコンに関することは、それぞれのメーカーへお問い合わせください。)

< Windows 8.1 が PPTP クライアントの場合 >

- 1 「コントロールパネル」の「ネットワークとインターネット」－「ネットワークと共有センター」をクリックする
- 2 「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリックする
- 3 接続オプションとして、「職場に接続します」を選択し、[次へ] をクリックする
「既存の接続先を使用しますか？」が表示された場合は、「いいえ、新しい接続先を作成します」を選択します。
- 4 「インターネット接続 (VPN) を使用します」を選択する
- 5 接続に使用するインターネットアドレスを入力する
必要に応じて、接続先の名前の入力と各項目をチェックし、[作成] をクリックします。



お知らせ

- PPTP 接続では、[利用例 1]、[利用例 2] とともに、本製品に設定する必要はありません。
- [利用例 1] で IPsec 接続の場合は、「詳細設定」－「その他の設定」で「IPsec パススルー機能」の「使用する」にチェックします。(●P9-40)
(ただし、NAT-Traversal のバージョンが draft-00,01 の IPsec 対応機器を利用する場合は、チェックを外してください)

■WAN 側の PPTP クライアントからのアクセスを LAN 側の PPTP サーバで受ける場合の設定（利用例 3）

LAN 側の PPTP サーバへ WAN 側の PPTP クライアントからアクセスする場合は、本製品へポートマッピングの設定が必要です。（☛P9-35）

1 クイック設定 Web の「詳細設定」－「ポートマッピング設定」をクリックし、[追加] をクリックする

2 [利用例 3] のように PPTP サーバの IP アドレスが [192.168.179.34] の場合は、次のように入力し [設定] をクリックする

- LAN 側ホスト：192.168.179.34
- プロトコル：TCP
- ポート番号：1723
- 優先度：1～50 までの空いている数字を入力します。

3 [前のページへ戻る] をクリックして「NAT エントリ」画面に追加されたことを確認し、[追加] をクリックする

4 「LAN 側ホスト」に PPTP サーバの IP アドレスを入力する

[利用例 3] のように PPTP サーバの IP アドレスが [192.168.179.34] の場合は、次のように入力し、[設定] をクリックします。

- LAN 側ホスト：192.168.179.34
- プロトコル：47
 - ※プロトコル番号を入力する場合は、プロトコルで [その他] を選択してください。
- 優先度：1～50 までの空いている数字を入力します。

5 [設定] をクリックする

6 [前のページへ戻る] をクリックして「NAT エントリ」画面に追加されたことを確認する

（プロトコル 47 は gre プロトコルと表示されます。）

7 [保存] をクリックする

本製品に設定が書き込まれます。



お知らせ

- Mac OS の場合は、PPTP 通信ソフトウェアがサードパーティより提供されています。
- PPTP 機能または IPsec 機能のサポート状況および設定方法の詳細は、それぞれのメーカーにお問い合わせください。

IP パケットフィルタリング

あらかじめ設定した条件にしたがって、インターネットへ通過するパケットを制限する機能です。

不必要なパケットの送受信を制限することができるので、セキュリティの高いネットワークが構築できます。

本製品では、「パケットフィルタエントリ」のパターンを最大 50 個設定できます。

クイック設定 Web で設定します。(☛P9-30、☛P9-33)

ポートマッピング

ポートマッピング機能とは、あらかじめ固定的に使用するポート番号とパソコンを結びつける機能です。

本機能によりグローバルネットワーク側からの特定ポートの通信を指定したパソコンに送信できます。

必要に応じて NAT エントリ設定をすることで、外部のサイトから特定のパソコンへ直接アクセスすることが可能です。

ルータ機能ではアドバンスド NAT 機能 (IP マスカレード /NAPT) が働いてネットワークゲームができなくなる場合があります。

これは、外部のサイトから特定のポートへのアクセスができなかったり、ネットワークゲームで使用するポートが動的に変換されてしまったりするために起こります。本機能を使用することで、この問題を回避できることがあります。

そのほか、本製品のルータ機能を使っている環境に Web カメラなどを設置して、外部からアクセスすることが可能です。

クイック設定 Web で設定します。(☛P9-35)

UPnP 機能


UPnP (ユニバーサル・プラグアンドプレイ) 機能を利用すると、NAT による IP アドレスやポート番号の変換を気にすることなく、UPnP 機能対応アプリケーションを複数のパソコンから同時にご利用いただけます。

本製品とパソコン側の設定が必要です。本製品の設定は初期値で「使用する」になっていますので、パソコンで、UPnP の設定をすることで、利用できます。

クイック設定 Web で設定します。(☛P9-40)

Windows パソコンで UPnP 設定をする

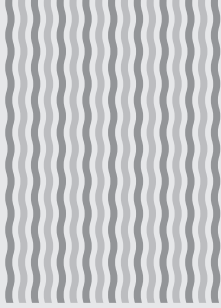
Windows 8.1 の場合の例です。

- 1 [スタート] 画面の左下のをクリックし、[アプリ] 画面で [コントロールパネル] をクリックする
※Windows 7/Windows Vista の場合は、[スタート] (Windows のロゴボタン) - [コントロールパネル] をクリックします。
- 2 「ネットワークとインターネット」をクリックする
- 3 「ネットワークと共有センター」をクリックする
- 4 「共有の詳細設定の変更」をクリックする
※Windows Vista の場合は、「共有と探索」の「ネットワーク探索」が「無効」の場合は、矢印をクリックします。
- 5 「ネットワーク探索を有効にする」にチェックして [変更の保存] または [適用] をクリックする
- 6 本製品の UPnP が正常に動作すると、「ネットワーク」に「Speed Wi-Fi NEXT router」アイコンが表示される



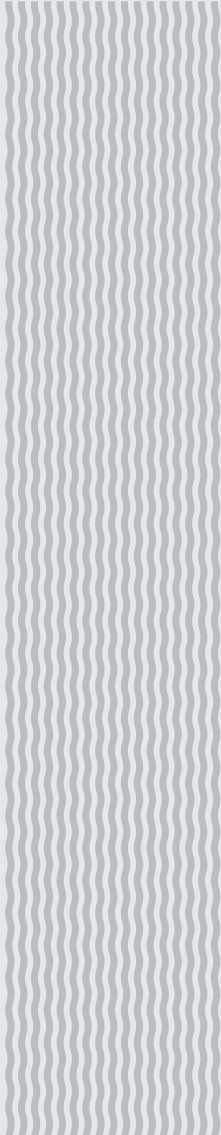
お知らせ

●UPnP 機能は、Windows Vista、Windows 8.1/8/7 のパソコンでのみご利用になれます。



6

セキュリティ対策をする



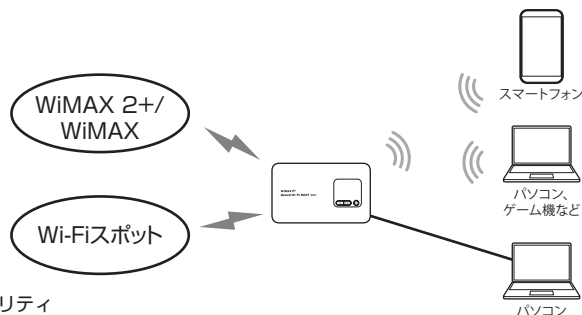
6-1 セキュリティ機能について 6-2

セキュリティ機能について

本製品には、WAN 側（WiMAX 2+/WiMAX / Wi-Fi スポットサービス）からの不正なアクセスを防ぐセキュリティ機能と、無線 LAN（Wi-Fi®）ネットワーク内のデータのやりとりを他人に見られたり、不正に利用されないためのセキュリティ機能があります。

必要に応じてセキュリティの対策を行うことができます。

セキュリティ対策の詳細については各ページを参照してください。



WAN 側セキュリティ
(WiMAX 2+/WiMAX / Wi-Fi スポットサービス)

- IP パケットフィルタリング (●P5-19)
- アドバンスド NAT (IP マスカレード / NAPT) (●P6-5)
- 不正アクセス検出機能 (●P6-6)
- ダイナミックポートコントロール機能 (●P6-6)

無線 LAN (Wi-Fi®) 内ネットワークセキュリティ

- 暗号化※ (●P6-3)
- MAC アドレスフィルタリング機能 (●P6-4)
- ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) (●P6-4)
- ネットワーク分離機能 (●P6-5)

※ 本製品は、工場出荷時の状態で「プライマリ SSID」に AES、「セカンダリ SSID」に WEP (128bit) の暗号化が設定されています。

？ セキュリティ対策を行うことの重要性について

- インターネットに接続すると、ホームページを閲覧したり、電子メールで情報をやりとりすることができ、とても便利です。しかし、同時に、お使いのパソコンはインターネットからの不正なアクセスの危険にさらされることとなります。悪意のある第三者から、パソコンやルータに不正にアクセスされることによって、大事なデータを盗まれたり、ブロードバンド回線を無断利用されたりすることも考えられます。特にインターネットに常時接続したり、サーバなどを公開したりする場合にはその危険性を考慮して、必要なセキュリティ対策を行う必要があります。本製品の機能を利用してセキュリティ対策を行ってください。また、ウイルス対策ソフトウェアの導入など、パソコン側のセキュリティ対策も合わせて行うことをお勧めします。
- 無線 LAN (Wi-Fi®) 端末による無線通信を行う場合は、無線 LAN (Wi-Fi®) 内のセキュリティを行うことをお勧めします。無線 LAN (Wi-Fi®) 内のセキュリティがない状態では、離れた場所から、お使いの無線ネットワークに入り込まれる危険性があります。無線ネットワーク内に入り込まれると、パソコンのデータに不正にアクセスされたり、あなたになりすましてブロードバンド回線を使用し、インターネット上で違法行為などを行われることがあります。

暗号化

本製品で使用している暗号化キー（任意の文字列）と同じキーを登録した無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末のみ無線 LAN (Wi-Fi[®]) 通信できるようになる機能です。これにより、送受信される無線データを暗号化して保護しますので、第三者からの傍受や盗聴から守ります。

1 つのネットワークでご利用になれる暗号化方式は 1 つです。

<暗号化方式について>

● WEP

WEP (Wired Equivalent Privacy) とは、ユーザーが指定した任意の文字列（暗号化キー）を本製品と無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末（パソコン、スマートフォンなど）に登録することによって、暗号化キーが一致した場合のみ通信ができるようになる機能です。

● TKIP/AES

TKIP (Temporal Key Integrity Protocol) は、Wi-Fi Alliance のセキュリティプロトコル (WPA/WPA2) に採用された暗号化方式です。

一定パケット量や一定時間ごとにキーを自動的に変更して暗号化を行うため、WEP よりさらに強固なガードを実現します。

AES (Advanced Encryption Standard) は、米国商務省標準技術局 (NIST) が選定した次世代の暗号化方式です。TKIP よりさらに強固な暗号化を行うことができます。

お願い

- 暗号化の設定は必ず本製品と無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末で同じ設定にしてください。
- 複数の無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末を使用する場合、すべての無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末に本製品と同じ暗号化キーを設定してください。
- TKIP、AES の暗号化方式をご利用になるには、対応した無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末が必要です。



お知らせ

- 本製品を初期化した場合は、無線 LAN 設定内容が工場出荷時の状態に戻ります。

ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)

無線 LAN (Wi-Fi[®]) 機器が、通信するお互いを識別する ID としてネットワーク名 (SSID と呼びます) があります。

このネットワーク名 (SSID) が一致しないと無線 LAN (Wi-Fi[®]) 通信ができません。一般に、ネットワーク名 (SSID) は無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末から検索することができるため、本製品に接続していない無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末からも本製品のネットワーク名 (SSID) が見えてしまいます。

この機能を利用し、外部からネットワーク名 (SSID) を検索されたときに知らせないことでセキュリティを強化することができます。
クイック設定 Web で設定します。(▶P9-14)



お知らせ

- ESS-ID ステルス機能を有効にすると、ネットワーク名 (SSID) が表示されないため、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末の増設時の設定が難しくなる場合があります。
無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末の増設時は、いったん設定を解除すると増設しやすくなります。

お願い

- 設定を有効にすると WPS 機能での無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末の増設に失敗します。WPS 機能を使って無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末を増設する場合は、いったん設定を無効にしてください。
- 設定を有効にすると iPhone、iPad、iPod touch が接続できなくなります。ネットワーク名 (SSID) を検索する手順ではなく、ネットワーク名 (SSID)、暗号化モード、暗号化キーを直接入力してください。

MAC アドレスフィルタリング機能

本製品は、工場出荷時で無線 LAN (Wi-Fi[®]) のセキュリティ設定 (暗号化) されていますが、MAC アドレスフィルタリング機能を設定することでさらに無線 LAN (Wi-Fi[®]) のセキュリティを強化することができます。

通常、無線 LAN (Wi-Fi[®]) のネットワークは電波の届く範囲からならどこからでも接続できるため、正規の利用者以外は利用できないようにする必要があります。

本機能は、特定の MAC アドレスからしか接続できないようにする機能です。登録した無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末以外は接続できなくなります。

クイック設定 Web で設定します。(▶P9-14、▶P9-18)

お願い

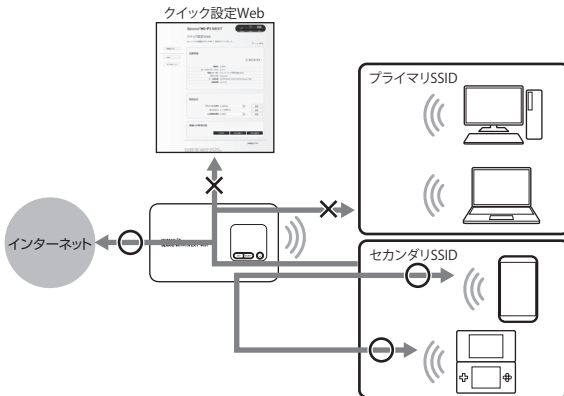
- MAC アドレスフィルタリング設定後に無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末を増設する場合は、「らくらく無線スタート」をご利用ください。それ以外の方法で無線 LAN (Wi-Fi[®]) 設定する場合は、すでに利用している端末などから増設する無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末の MAC アドレスをあらかじめ登録するか、いったん MAC アドレスフィルタリングの設定を解除する必要があります。

ネットワーク分離機能

本製品には2つのネットワーク「プライマリ SSID」「セカンダリ SSID」がありますが、「ネットワーク分離機能」を使用することで、異なる SSID（接続先）のネットワークを分離してアクセスを制限することができます。

セカンダリ SSID は、工場出荷時で無効となっていますが、「無線機能」を「使用する」に設定し、セカンダリ SSID を有効にした場合、セカンダリ SSID に接続した無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末からは、プライマリ SSID 内の無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末や本製品に有線で接続した端末へのアクセスが制限され、インターネットへの接続のみが可能になります。

セカンダリ SSID を「使用する」に設定した場合の例



「使用する」に設定した SSID 側の無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末からは、次へのアクセスができませんようになります。

- ・ クイック設定 Web
- ・ もう一方のネットワークに接続された無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末
- ・ 本商品に有線で接続された端末

※ インターネットや同一のネットワークに無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続された端末との通信は可能です。

アドバンスド NAT (IP マスカレード /NAPT)

アドバンスド NAT (IP マスカレード /NAPT) とは、WAN 側の 1 つの IP アドレスを LAN 側の複数のプライベートアドレスに変換する機能です。

これにより、1 つの IP アドレスで、プライベート IP アドレスを持つ複数のパソコンなどが同時にインターネット接続することができます。

通信事業者によっては WAN 側にプライベート IP アドレスを割り当てる場合があります。

クイック設定 Web で設定します。(☛P9-39)

※通常はチェックしたままでご利用ください。

不正アクセス検出機能

外部からの不正と思われるアクセスを監視し、通信情報ログに残すとともに不正パケットを廃棄します。

検出できる不正アクセスの種類は、下記の通りです。

- ・ LAND 攻撃
- ・ Smurf 攻撃
- ・ IP Spoofing 攻撃

※「LAND 攻撃」を防ぐフィルタは、「セキュリティ保護機能」で「使用する」を選択していても有効になります。

クイック設定 Web の【セキュリティ設定】で設定します。(☛P9-39)

ダイナミックポートコントロール機能

LAN 側の無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末 (パソコンなど) がアクセスすると、それに応じて WAN 側のポートが開き、通信を開始します。

データの受け取りが終わるか、または内部のタイマ (TCP タイマ / UDP タイマ) で設定してある一定の時間を超えると、自動的に WAN 側のポートが閉じます。

このような動的開閉制御をダイナミックポートコントロールと呼びます。

本機能により外部へのアクセスが行われていないときは、ポートがすべてフィルタリングされていますので、外部からの不正なアクセスを防ぐことができます。

クイック設定 Web の【NAPT 設定】の「TCP タイマ」「UDP タイマ」で設定します。(☛P9-39)



お知らせ

- TCP タイマ / UDP タイマは、NAPT 機能 (IP マスカレード) を使用する際の IP アドレス / ポート番号の動的変換テーブルの有効保持時間 (秒) です。
- NAPT テーブルが枯渇して通信ができなくなるアプリケーションを利用する場合は、本タイマを短めに設定すると解決できることがあります。



7



バージョンアップをする

- 7-1 ファームウェアをバージョンアップする…7-2
- 7-2 クイック設定 Web 画面での
バージョンアップ ……………7-4

ファームウェアをバージョンアップする

ファームウェアを最新のものにバージョンアップすることによって、本製品に新しい機能を追加したり、場合によっては操作を改善します。

※ ファームウェアとは、本製品を動かすために組み込まれているソフトウェアのことです。





ファームウェアのバージョンアップの際は、本製品の電池残量が十分あることを確認してから行ってください。電池残量が約 30%未満のときは、バージョンアップをすることはできません。電池残量が少ない場合には、十分に充電してから行ってください。

お願い

- ファームウェアのバージョンアップ中は絶対に本製品の電源を切らないでください。
- 本製品用以外のファームウェアを使ってバージョンアップを行うことはできません。無理にバージョンアップを行うと、本製品が動作しなくなります。
- パソコンからクイック設定 Web 画面でバージョンアップを開始するときは、先に、パソコンのすべてのアプリケーションと、通知領域（タスクトレイ）などに常駐しているアプリケーションを終了させてください。

ファームウェアをバージョンアップする

ディスプレイメニューからのバージョンアップ

本製品のディスプレイに「新ファームウェア公開中です 更新しますか?」と表示された場合は、新しいファームウェアが存在しています。その場合、本製品の SET ボタン  と SELECT ボタン  を使用してファームウェアの更新を行うことができます。ただし、本製品をクレードル（別売）に接続し、無線 LAN アクセスポイントモードで使用している場合は、ファームウェアの更新ができません。本製品をクレードル（別売）から外してから行ってください。

※ 本製品からインターネットに接続できている必要があります。

※ 本機能は、「ファームウェア更新通知機能」の設定が「使用する」に設定されている必要があります。工場出荷時は「使用する」に設定されています。

「ファームウェア更新通知機能」の設定は、クイック設定 Web の [詳細設定] - [その他の設定] - [補助設定] で行います。（☛P9-40）




ファームウェアのバージョンアップの際は、本製品の電池残量が十分あることを確認してから行ってください。電池残量が約 30%未満のときは、バージョンアップをすることはできません。電池残量が少ない場合には、十分に充電してから行ってください。


1

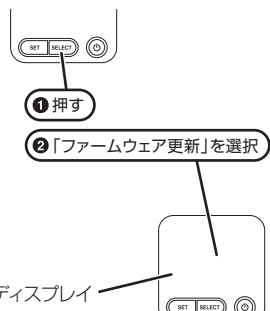
ディスプレイが通常表示されていることを確認する



ディスプレイに基本画面が表示されていることを確認してください。



消灯している場合は SET ボタン  を押して表示させてください。


（次ページに続く）


- 2 SELECT ボタン  を押し、メニュー選択で「ファームウェア更新」を選択する



- 3 SET ボタン  を押し、ディスプレイに「ファームウェアの最新バージョンを確認します」と表示されたら、SELECT ボタン  で「YES」を選択する

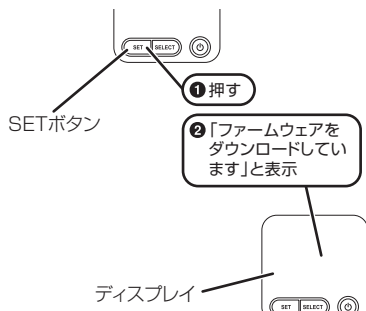
- 4 SET ボタン  を押し、ディスプレイに「新ファームウェア公開中です 更新しますか?」と表示されたら、SELECT ボタン  で「YES」を選択する


- 5 SET ボタン  を押し、ディスプレイに「ファームウェアをダウンロードしています」と表示される

※更新をキャンセルしたいときは、「キャンセル」を選択し、SET ボタン  を長押しします。

処理中は「ファームウェアを更新しています 電源を切らないでください」と表示されます。

バージョンアップ中はWiMAX 2+/WiMAX 接続はいったん切断されます。



ファームウェアの更新中は絶対に本製品の電源を切らないでください。ディスプレイに「更新失敗」と表示されたら、SET ボタン  を短押しし、手順 1 からやり直してください。

- 6 自動で再起動し、ディスプレイが通常表示されたらファームウェアの更新は完了です

オンラインバージョンアップ

クイック設定 Web からファームウェアのバージョンアップを行うことができます。本製品からインターネットに接続できている必要があります。



ファームウェアのバージョンアップの際は、本製品の電池残量が十分あることを確認してから行ってください。電池残量が約 30%未満のときは、バージョンアップをすることができません。電池残量が少ない場合には、十分に充電してから行ってください。

パソコンの場合

- 1 パソコンを起動する
※本製品とパソコンがネットワーク接続されていることを確認します。
- 2 WWW ブラウザを起動し、「http://192.168.179.1」を入力してクイック設定 Web を開く
- 3 [詳細設定 TOP へ] ボタンをクリックする
- 4 ログイン画面が表示されたらユーザー名/管理者パスワードを入力し、[OK] を選択する
※管理者パスワード未設定の場合はパスワードの設定画面が表示されます。(P9-4)
- 5 「メンテナンス」の【ファームウェア更新】を選択する
- 6 【オンラインバージョンアップ】を選択する
- 7 【確認 / 更新】 をクリックする



(次ページに続く)

8

次の画面が表示されるので、そのまましばらく待つ



ファームウェアの更新中は絶対に本製品の電源を切らないでください。「ファームウェア更新失敗」と表示されたら、[Top Page] をクリックし、手順 3 からやり直してください。WWW ブラウザが閉じてしまった場合は、手順 2 からやり直してください。

9

次の画面で、最新のファームウェアバージョンの数字が新しい場合は、[最新バージョンへ更新] をクリックする

「現在のバージョン」と「最新のバージョン」が同じ場合はここで終了です。



10

[OK] をクリックする



11

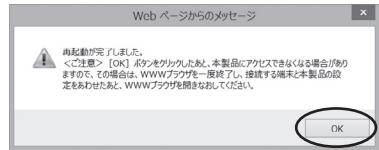
しばらくすると、クイック設定 Web 画面に「ファームウェア更新中です。2分ほどお待ちください」と表示される



ファームウェアの更新中は絶対に本製品の電源を切らないでください。「ファームウェア更新失敗」と表示されたら、[Top Page] をクリックし、手順 3 からやり直してください。WWW ブラウザが閉じてしまった場合は、手順 2 からやり直してください。

(次ページに続く)

12 [OK] をクリックする



スマートフォン / タブレット端末の場合

- 1 スマートフォン / タブレット端末を起動する
※本製品とスマートフォン / タブレット端末がネットワーク接続されていることを確認します。
- 2 WWW ブラウザを起動し、「http://192.168.179.1」を入力してク
リック設定 Web を開く
- 3 [詳細設定 TOP へ] ボタンをタップする
- 4 ログイン画面が表示されたらユーザー名 / 管理者パスワードを入力し、
[OK] を選択する
※管理者パスワード未設定の場合はパスワードの設定画面が表示されます。
(●P10-2)
- 5 「メンテナンス」の [ファームウェア更新] を選択する

(次ページに続く)

6

【確認 / 更新】 をタップする



7

次の画面が表示されるので、そのまましばらく待つ



ファームウェアの更新中は絶対に本製品の電源を切らないでください。「ファームウェア更新失敗」と表示されたら、[Top Page] をタップし、手順 3 からやり直してください。WWW ブラウザが閉じてしまった場合は、手順 2 からやり直してください。



(次ページに続く)

8

次の画面で、最新のファームウェアバージョンの数字が新しい場合は、**「最新バージョンへ更新」** をタップする

「現在のバージョン」と「最新のバージョン」が同じ場合はここで終了です。



9

[OK] をタップする



(次ページに続く)

10

しばらくすると、クイック設定 Web 画面に「ファームウェア更新中です。2分ほどお待ちください」と表示される



ファームウェアの更新中は絶対に本製品の電源を切らないでください。「ファームウェア更新失敗」と表示されたら、[Top Page] をタップし、手順 3 からやり直してください。WWW ブラウザが閉じてしまった場合は、手順 2 からやり直してください。

11

[OK] をタップする



ファームウェアをダウンロードし、バージョンアップする

パソコンと接続してホームページから、ファームウェアをダウンロードしてバージョンアップを行うことができます。



ファームウェアのバージョンアップの際は、本製品の電池残量が十分あることを確認してから行ってください。電池残量が約 30%未満のときは、バージョンアップをすることができません。電池残量が少ない場合には、十分に充電してから行ってください。

- 1 **パソコンを起動する**
※本製品とパソコンがネットワーク接続されていることを確認します。
- 2 **WWW ブラウザを起動し、「http://192.168.179.1」を入力してク
リック設定 Web を開く**
- 3 **【詳細設定 TOP へ】 ボタンをクリックする**
- 4 **ログイン画面が表示されたらユーザー名／管理者パスワードを入力し、
[OK] を選択する**
※管理者パスワード未設定の場合はパスワードの設定画面が表示されます。(P9-4)
- 5 **最新のファームウェアを WiMAX Support Information ホームペ
ージからダウンロードする**
※ファームウェアをダウンロードした後、解凍してご利用ください。
- 6 **【メンテナンス】の【ファームウェア更新】を選択する**
- 7 **【更新方法】で【ローカルファイル指定】を選択する**
- 8 **【ファームウェアファイル】欄にあるボタン（【参照】など）をクリッ
クする**
- 9 **ダウンロードして解凍したファームウェアのファイルを指定する**
- 10 **【確認／更新】をクリックする**
- 11 **【OK】をクリックする**



8



工場出荷時の状態に戻す (初期化)

- 8-1 ディスプレイメニューで初期化する ……8-2
- 8-2 クイック設定 Web で初期化する ……8-3






初期化とは、本製品に設定した内容を消去して工場出荷時の状態に戻すことを言います。本製品がうまく動作しない場合は、本製品を初期化してはじめてから設定し直すことをお勧めします。

※初期化をしても、お客様がバージョンアップしたファームウェアはそのままです。



設定値を初期化すると、今までに設定した内容は消去されます。設定内容を復元したい場合は、クイック設定 Web の「メンテナンス」 - 「設定値の保存&復元」で現在の設定内容を保存し、初期化後に復元してください。

ディスプレイメニューで初期化する

- 1 本製品のディスプレイを通常表示にしてから SELECT ボタン  を押し、メニューの「機能設定 メンテナンス」を表示する
- 2 SET ボタン  を押してから SELECT ボタン  でメニューの「初期化」を選択する
- 3 SET ボタン  を押し、「初期化します」と表示されたら SELECT ボタン  で [YES] を選択する



- 4 SET ボタン  を押し「再起動します」と表示されます。



- 5 再起動し、ディスプレイが通常表示される

MEMO



9



機能設定

9-1	クイック設定 Web について	9-2
9-2	各種機能の詳細設定をする (詳細設定)	9-6
9-3	ネットワーク設定	9-7
9-4	無線 LAN 設定	9-12
9-5	Wi-Fi スポット設定	9-21
9-6	Bluetooth 設定	9-23
9-7	ECO 設定	9-24
9-8	詳細設定	9-25
9-9	メンテナンス	9-42
9-10	情報	9-51

本製品に接続したパソコンなどの WWW ブラウザから、Speed Wi-Fi NEXT WX01 の設定ツールを使用して本製品に設定することができます。手順は無線 LAN (Wi-Fi[®]) で接続した場合を例にしています。

本製品では、Speed Wi-Fi NEXT WX01 の設定ツールを「クイック設定 Web」と呼びます。



お知らせ

- クイック設定 Web が利用できる WWW ブラウザについては、「接続端末の準備」(P1-17) を参照してください。
- 説明に使用している画面表示は、お使いの WWW ブラウザや OS によって異なります。
- クイック設定 Web の画面デザインは変更になることがあります。

お願い

- クイック設定 Web の設定は設定内容の変更を行った後、[保存] をクリックしてからでないと保存されません。
- 無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続でクイック設定 Web を表示させる場合は、プライマリ SSID に接続してください。
- 本製品をクレードル (別売) に接続し、無線 LAN アクセスポイントモードで使用する場合は、クイック設定 Web を開くことができません。
本製品をクレードル (別売) から外してから行ってください。

クイック設定 Web を起動する

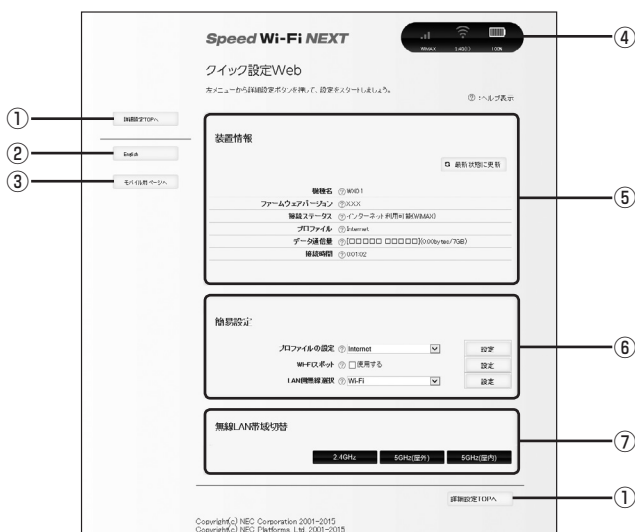
1 パソコンを起動する

※本製品とパソコンがネットワーク接続されていることを確認します。

2 WWW ブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://192.168.179.1/」を入力する

クイック設定 Web が表示されます。

クイック設定 Web のトップページ



① 詳細設定 TOP へ

詳細設定をする場合は、ここからログインをし、各種機能の詳細設定をします。

② 言語

日本語と英語の切り替えができます。

トップページで変更する場合は、ログインが必要です。

③ モバイル用ページへ

スマートフォンから操作するための画面を表示します。

④ ピクト情報

電波状態、WiMAX (WiMAX 2+、WiMAX)、Wi-Fi スポット (Wi-Fi)、Bluetooth (接続台数)、Wi-Fi (接続台数)、電池残量を表示します。

⑤ 装置情報

以下の情報が表示されます。

- ・機種名
- ・ファームウェアバージョン
- ・接続ステータス
- ・プロファイル
- ・データ通信量
- ・接続時間

⑥ 簡易設定

簡単な設定ができます。

- ・プロファイルの設定
使用するプロファイルをプルダウンで選択します。
- ・Wi-Fi スポット
Wi-Fi スポットを使用する場合はチェックします。
- ・LAN 側無線選択
Wi-Fi/Bluetooth を選択します。

⑦ 無線 LAN 帯域切替

無線 LAN (Wi-Fi[®]) 帯域の切り替えができます。2.4GHz、5GHz (屋外)、5GHz (屋内) から選択します。

詳細設定にログインする

1 クイック設定 Web のトップ画面の「詳細設定 TOP へ」をクリックする

2 管理者パスワードの初期設定画面が表示されたら、[パスワード] (パスワード再入力) 欄にパスワード (任意の文字列) を入力し、[設定] をクリックする

設定後、クイック設定 Web のトップ画面に戻りますので、再度「詳細設定 TOP へ」をクリックしてください。

※パスワードに使用できる文字は、0～9、a～z、A～Z、- (ハイフン)、_ (アンダースコア) で、最大半角 64 文字まで有効です。このパスワードは、本製品「クイック設定 Web」の「詳細設定」を開くたびに必要となります。忘れないように控えておいてください。

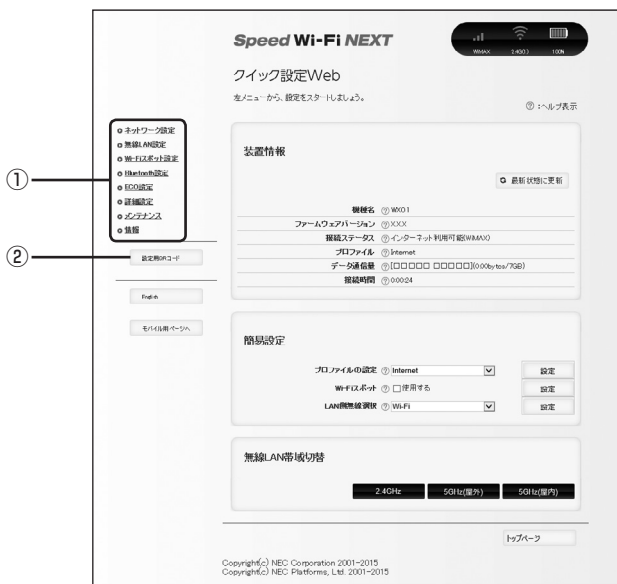
※この画面は管理者パスワードが未設定の場合に表示されます。

3 ユーザー名とパスワードを入力する

※「ユーザー名」(上段) には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」(下段) には、手順 2 で控えた管理者パスワードを入力してください。

4 [OK] をクリックする

詳細設定のトップページ設定画面



① 設定メニュー

- ・ ネットワーク設定
- ・ 無線 LAN 設定
- ・ Wi-Fi スポット設定
- ・ Bluetooth 設定
- ・ ECO 設定
- ・ 詳細設定
- ・ メンテナンス
- ・ 情報

② 設定用 QR コード

各種機能の詳細設定をする (詳細設定)

画面左の設定メニューから設定する機能を選択する

- **ネットワーク設定**
WiMAX 2+/WiMAX の接続に関する詳細機能を設定します。(●P9-7)
- **無線 LAN 設定**
無線 LAN (Wi-Fi[®]) 機能に関する詳細機能を設定します。(●P9-12)
- **Wi-Fi スポット設定**
Wi-Fi スポット機能に関する詳細機能を設定します。(●P9-21)
- **Bluetooth 設定**
Bluetooth テザリング機能に関する情報を表示します。(●P9-23)
- **ECO 設定**
ECO 機能に関する詳細機能を設定します。(●P9-24)
- **詳細設定**
ポートマッピングや IP パケットフィルタリングなどのセキュリティに関する詳細機能を設定します。(●P9-25)
- **メンテナンス**
ファームウェアの更新や初期化などのメンテナンスに関する詳細機能を設定します。(●P9-42)
- **情報**
現在の状態などを表示します。(●P9-51)

WiMAX 2+/WiMAX への接続方法や省電力モード設定などを設定します。

基本設定

省電力モードの設定ができます。



1 項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
省電力モード設定	本製品を省電力モードに選択すると WiMAX 2+ および Wi-Fi の通信を制限して省電力化します。	ハイパフォーマンス、省電力モード	ハイパフォーマンス

2 [設定] をクリックし、[保存] をクリックする

プロフィール設定

プロフィール（インターネットサービスプロバイダなどの接続設定）の登録、編集ができます。



(画面は、お買い上げ時に設定されているプロフィールです)

<プロフィールを新規に設定する場合>

1 「プロフィールリスト」のプルダウンで「no setup」を選択し、「選択」をクリックする

2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
プロフィール名	新規に設定する場合、任意のプロフィール名を入力します。	最大 64 文字（半角）までの文字列。全角の場合は 21 文字まで（?、半角スペースを除く）	Internet（登録されているプロフィール名） ※ 1、※ 2
APN（接続先情報）	APN（接続先情報）は、ご契約のWiMAX事業者より提供される情報を入力します。	最大 63 文字（半角英数記号）(?、(半角スペース)、&、,、:、;、<、>、\を除く)	●●●●●● ※ 1、※ 2
ユーザー名	ユーザー名は、ご契約のWiMAX事業者より提供される情報を入力します。	最大 63 文字（半角英数記号）?、半角スペースを除く)	●●●●●● ※ 1、※ 2
パスワード	パスワードは、ご契約の通信事業者より提供される情報を入力します。	最大 63 文字（半角英数記号）?、半角スペースを除く)	●●●●●● ※ 1、※ 2
認証タイプ	認証タイプは、ご契約のWiMAX事業者より提供される情報で選択します。	CHAP、PAP	CHAP ※ 1、※ 2
IPタイプ	IPタイプは、ご契約のWiMAX事業者より提供される情報で選択します。	IPv4、IPv4&IPv6、IPv6	IPv4 ※ 2

※ 1 お買い上げ時に設定されているプロフィール「Internet」含む 7 件は、変更、削除できません。

※ 2 新規設定では、「プロフィール名」から「パスワード」までは空欄です。「認証タイプ」の「CHAP」、「IPタイプ」の「IPv4」が表示されます。

(次ページに続く)

3 「設定」をクリックし、「保存」をクリックする

<作成したプロフィールを編集する場合>

1 「プロフィールリスト」から編集したいプロフィールを選択し、「選択」をクリックする

2 編集が終了したら「設定」をクリックし、「保存」をクリックする

作成したプロフィールを個別に削除することはできません。

ただし、削除したいプロフィールに新規に登録するプロフィールを上書きすることはできません。



初期化にて工場出荷時の状態に戻した場合、お買い上げ時に設定されているプロフィール以外はすべて削除されますが、その他の設定済みの項目も工場出荷時の状態に戻りません。

通信量カウンター

データ通信量の確認や設定を行います。カウントするデータ通信量は目安であり、通信事業者が測定するデータ通信量とは異なる場合があります。

データ通信量を手動でクリアするときは、[クリア] をクリックしてください。

また、バッテリーが脱着された場合には、その時点で保存されていないデータ通信量はクリアされます。



1

各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
データ通信量表示	カウントされたデータ通信量が表示されます。		
カウントするネットワーク (WiMAX 2+)	WiMAX 2+のデータ通信量をカウントする場合はチェックします。		使用する
カウントするネットワーク (WiMAX)	WiMAXのデータ通信量をカウントする場合はチェックします。		(チェックなし)
最大データ通信量設定	最大データ通信量を設定します。	入力できる範囲は「1-100(GB)」です。	7
カウント開始日※	カウント開始日を入力します。毎月カウント開始日に通信量をクリアします。 ※初期化した場合もクリアされます。	入力できる範囲は「1～31(日)」です。	1
通知設定	通知設定を使用する場合はチェックします。「通知するデータ通信量設定」で設定したデータ通信量を超えると通信量カウンターのパネルにダイアログが表示され、通知します。		使用する
通知するデータ通信量設定	通知するデータ通信量を設定します。	入力できる範囲は「1-100(GB)」です。最大データ通信量よりも高い値は通知できません。	5

※「カウント開始日」を毎月31日に設定したとき、31日までない月の場合は、その月の最終日にカウントが開始されます。

2

[設定] をクリックし、[保存] をクリックする

無線 LAN (Wi-Fi[®]) 機能の各種設定ができます。

無線 LAN 設定

本製品は、無線 LAN (Wi-Fi[®]) アクセスポイント (親機) として複数のネットワーク名 (SSID) を持つことができます。それぞれのネットワーク名 (SSID) に対して異なるセキュリティ設定 (暗号化機能、ESS-ID ステルス機能、MAC アドレスフィルタリング機能) を行うことができます。

本製品の SSID は、2.4GHz 帯と 5GHz 帯で同じ SSID を使用しています。

(画面はプライマリ SSID の設定画面です)

<対象ネットワークを選択>

- 1 設定するネットワーク名 (SSID) を選択する
- 2 [選択] をクリックする

■プライマリ SSID (WPA2/WPA) を設定する場合

1

各項目を設定する

以下の項目は、プライマリ SSID で設定できる項目のみです。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
無線 LAN アクセスポイント (親機) 設定			
無線機能	無線 LAN (Wi-Fi [®]) を使用する場合はチェックします。		使用する
ネットワーク名 (SSID)	ネットワーク名 (SSID) を入力します。	最大 32 文字までの半角英数字、-(ハイフン)、_ (アンダースコア)	wx01-xxxxxx ※ 1
ネットワーク分離機能	ネットワーク分離機能を使用する場合はチェックします。		(チェックなし)
SSID・暗号化キー表示	SSID 表示を使用する場合はチェックします。「使用する」に設定した場合は、ディスプレイメニューにて SSID と暗号化キーを表示できます。		使用する
2.4GHz 設定			
デュアルチャンネル機能	デュアルチャンネル機能を使用する場合は、チェックします。		(チェックなし)
使用チャンネル	使用チャンネルを選択します。オートチャンネルセレクト機能を選択した場合、空いているチャンネルを検出し、電波状態の良いチャンネルを自動選択します。	オートチャンネルセレクト機能、1～13	オートチャンネルセレクト機能 ※ 2
5GHz 設定			
5GHz 帯	有効にする場合は、チェックをします。「有効にする」に設定した場合、ディスプレイメニューにて「5GHz (屋外)」「5GHz (屋内)」を「使用する」に設定することができます。また、5GHz 帯の Wi-Fi スポットをサーチするようになります。		(チェックなし)
11ac	使用する場合はチェックをします。「使用する」に設定した場合は、LAN 側 5GHz 帯で 11ac を使用します。		使用する

(次ページに続く)

設定項目	説明	設定範囲	初期値
暗号化			
暗号化モード	暗号化モードを選択します。	暗号化無効、WPA/WPA2-PSK (AES)、WPA2-PSK (AES)、WPA/WPA2-PSK (TKIP/AES)	WPA/WPA2-PSK (AES)
WPA 暗号化キー (PSK)	暗号化キーを入力します。	8 文字以上 63 文字までの英数記号 (0 ~ 9、a ~ z、A ~ Z) または、64 桁の 16 進数 (0 ~ 9、a ~ f、A ~ F)	xxxxxxxxxx xxx
暗号化キー更新間隔 (分)	暗号化キーの更新間隔 (分) を入力します。WPA では、暗号化キーは一定期間ごとに自動更新され、より安全な状態を保ちます。	0 (更新なし)、 1 ~ 1440 分	30
無線 LAN 端末 (子機) の接続制限			
ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)	ESS-ID ステルス機能を使用する場合はチェックします。あらかじめ本製品のネットワーク名 (SSID) を知っている無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末以外からの本製品への接続を制限できます。		(チェックなし)
MAC アドレスフィルタリング機能	本製品に設定されている MAC アドレスを持つ無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末以外から本製品への接続を制限する場合は、チェックします。		(チェックなし)

(次ページに続く)

設定項目	説明	設定範囲	初期値
拡張設定			
送信出力	無線 LAN (Wi-Fi [®]) の送信出力を選択します。送信出力を抑えると他のネットワークへの電波干渉を回避できます。	12.5%、25%、50%、100%	12.5%
無線優先制御機能	無線 LAN (Wi-Fi [®]) 通信の優先制御機能を有効にします。11n 通信ご利用時は必ず「使用する」にしてください。		使用する
Wi-Fi 暗号化強化	無線 LAN 管理フレームの一部を保護する機能 (PMF) を有効にします。本機能の使用を要求してきた無線 LAN 端末に対してのみ、保護機能が働きます。		使用する
マルチキャスト伝送速度 (Mbps)	マルチキャストを伝送する速度を指定します。ご利用になるストリーミングサービスに合わせて設定を変更してください。	2.4GHz の場合 (1、2、5.5、11) 5GHz の場合 (6、12、24)	2.4GHz : 1 5GHz : 6
DTIM (回)	Beacon に含める DTIM の間隔を入力します。	1 ~ 10 回	1
無線 LAN 端末 (子機) との通信設定	無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末との通信設定を選択します。	スループット優先 / 省電力優先	スループット優先

※ 1 ご利用の端末ごとの SSID が表示されます。

※ 2 無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末の通信で、オートチャンネルセレクトは、1/6/11ch のいずれかを選択します。

オートチャンネルセレクトはチャンネル設定として、1/6/11ch のいずれかにすることを推奨していますが、無線 LAN 以外のシステムとの干渉を避けるために推奨のチャンネル以外を使用しなければならないときは、手動でチャンネル変更してください。

2

【設定】 をクリックし、【保存】 をクリックする

(次ページに続く)

■セカンダリ SSID (WEP) を設定する場合

「対象ネットワークを選択」で「セカンダリ SSID」を選択し、[選択] をクリックしてください。

1 各項目を設定する

セカンダリ SSID を有効にしてから設定内容の変更をしてください。「無線機能」の「使用する」にチェックします。

以下の項目は、セカンダリ SSID で設定できる項目のみです。

設定項目	説明	設定範囲	初期値
無線 LAN アクセスポイント (親機) 設定			
無線機能	無線 LAN (Wi-Fi [®]) を使用する場合はチェックします。		(チェックなし)
ネットワーク名 (SSID)	ネットワーク名 (SSID) を入力します。	最大 32 文字までの半角英数字、-(ハイフン)、_ (アンダースコア)	wx01-xxxxxx-w※
ネットワーク分離機能	ネットワーク分離機能を使用する場合はチェックします。		使用する
暗号化			
暗号化モード	暗号化モードを選択します。	暗号化無効、WEP、WPA/WPA2-PSK (AES)、WPA2-PSK (AES)、WPA/WPA2-PSK (TKIP/AES)	WEP
暗号強度			128bit
指定方法	WEP を利用する場合の暗号化キーの指定方法を表示します。	英数字 (0 ~ 9、a ~ z、A ~ Z)	英数字 (13桁)
暗号化キー (WEP キー)	[指定方法] で選んだ文字列を [暗号強度] で設定した桁数を暗号化キー (WEP キー) として入力します。本製品と通信する無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末も同じ暗号化キーを入力する必要があります。	英数字の場合は、0 ~ 9、a ~ z、A ~ Z、16 進数の場合は、0 ~ 9、a ~ f、A ~ F	xxxxxxxxxxx xxx

(次ページに続く)

設定項目	説明	設定範囲	初期値
無線 LAN 端末（子機）の接続制限			
ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）	ESS-ID ステルス機能を使用する場合はチェックします。あらかじめ本製品のネットワーク名（SSID）を知っている無線 LAN（Wi-Fi [®] ）端末以外からの本製品への接続を制限できます。		（チェックなし）
MAC アドレスフィルタリング機能	本製品に設定されている MAC アドレスを持つ無線 LAN（Wi-Fi [®] ）端末以外から本製品への接続を制限する場合は、チェックします。		（チェックなし）

※ご利用の端末ごとの SSID が表示されます。

2

【設定】 をクリックし、【保存】 をクリックする

MAC アドレスフィルタリング

本機能は、特定の MAC アドレスからしか接続できないようにする機能です。登録した無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末以外は接続できなくなります。



(画面は MAC アドレスエントリ追加画面です)



MAC アドレスフィルタリング設定後に、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末を増設する場合は、「らくらく無線スタート」をご使用ください。

それ以外の方法で無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続する場合は、すでに利用している端末などから増設する無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末の MAC アドレスを登録するか、いったん MAC アドレスフィルタリングの設定を解除する必要があります。

無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末の MAC アドレスを本製品に登録しますので、あらかじめ MAC アドレスを確認 (メモするなど) してください。

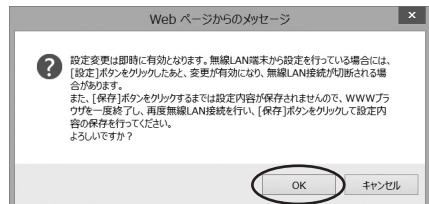
設定変更後、無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続が切断される場合があります。無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続し直してください。

1 **【追加】 をクリック**

MAC アドレスエントリ追加画面が表示されます。

2 **各項目を設定する**

設定項目	説明	設定範囲	初期値
指定方法	追加する無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末の MAC アドレスの指定方法を選択します。	手動設定、自動設定	手動設定
MAC アドレス	本製品に設定する無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末の MAC アドレスを入力します。	「手動設定」の場合、 [XX:XX:XX:XX:XX:XX] 形式で直接入力。 「自動設定」の場合、 「アクセス履歴」から 選択する [00:00:00:00:00:00] のようにすべて「0」 は入力不可	(なし)

3 **【設定】 をクリックし、【保存】 をクリックする**4 **【前のページへ戻る】 をクリックし、エントリ一覧に登録した MAC アドレスが表示されていることを確認する**5 **【無線 LAN 設定】 - 【無線 LAN 端末 (子機) の接続制限】 の【MAC アドレスフィルタリング機能】 にチェックする**6 **メッセージが表示されるので【OK】 をクリックする**7 **【設定】 をクリックする**8 **メッセージが表示されるので【OK】 をクリックする**9 **【保存】 をクリックする**

WPS 設定

本製品に WPS 設定の PIN 方式で無線 LAN 設定をします。詳細は、「WPS 対応の無線 LAN (Wi-Fi®) 端末を接続する」(P3-27) を参照してください。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
WPS (PIN 方式)	PIN 方式で WPS を設定する場合はチェックします。		使用する
無線 LAN 端末の PIN コード	無線 LAN (Wi-Fi®) 端末の PIN コードを入力します。		(なし)

2 「無線 LAN 端末の PIN コード」入力欄に PIN コードを入力し、WPS (PIN 方式)] をクリックする

3 [設定] をクリックし、[保存] をクリックする

接続先設定

接続先の登録を行います。アクセスポイントを最大 8 件まで接続先リストに登録できます。

(画面は接続先登録画面です)

1 [接続先登録] をクリック

接続先登録画面が表示されます。

2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
Wi-Fi スポット選択	プロバイダ選択で登録済みのプロバイダを選択すると、使用するアクセスポイントにチェックが入ります。手動で新設アクセスポイントを設定する場合は「個別設定」にチェックし、[アクセスポイント設定]で設定してください。		(チェックなし)
ユーザー情報の一括設定			
ログイン ID	ご契約のプロバイダより提供されるログイン ID を入力します。	最大 128 文字までの、半角英数字、記号	(なし)
パスワード	ご契約のプロバイダより提供されるパスワードを入力します。	1 ~ 64 文字の半角英数字、記号	(なし)

3 [設定] をクリックし、メッセージが表示されるので [OK] をクリックする

4 接続先リストに利用するアクセスポイントが表示されるので、[保存] をクリックする

本製品の Bluetooth デバイスやリモート起動用デバイスを表示します。Bluetooth テザリングで接続したペアリングの一覧が表示されます。また、ペアリング情報を削除することができます。

Bluetooth ペアリング情報

本製品に Bluetooth 接続された無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末の MAC アドレスが表示されます。

ペアリング情報を削除する場合は、削除したいペアリングの [削除] をクリックします。



本製品の電池残量が表示されたり、省電力に関する設定やリモート起動の設定をします。詳細は、「5-2 ECO 機能を使う」(P5-4)を参照してください。

ECO 設定

[電池残量と充電] では、本製品の電池残量を表示します。([■]と%で表示)

[最新の状態で更新] をクリックすると画面が最新の情報に更新されます。



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
自動省電力設定			
自動消灯時間	ディスプレイが自動消灯するまでの時間を選択します。	15 秒、30 秒、60 秒	30 秒
省電力状態切り替え機能	省電力状態切り替え機能のモードを設定します。	ウェイティング、休止状態、電源OFF、使用しない	ウェイティング
省電力状態切り替え設定時間	省電力状態切り替え機能で設定したモードになるまでの時間を入力します。	1 ~ 60 (分)	10
休止状態設定			
リモート起動	リモート起動する場合はチェックします。休止状態の場合、「NEC WiMAX 2+ Tool」から起動の操作ができます。		(チェックなし)

2 [設定] をクリックし、[保存] をクリックする

本製品の LAN 側の設定やセキュリティに関するパケットフィルタやポートマッピングの設定ができます。

LAN 側設定



1

各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
IP アドレス			
IP アドレス／ネットマスク (ビット指定)	本製品の LAN 側の IP アドレスとネットマスクを入力します。通常、変更する必要はありません。変更する場合は、WAN 側の IP アドレスと競合しないネットワークアドレス範囲となるように入力してください。	ネットマスクはビット形式で 1～30 例： 0～255 の4組の数字の形式 [255.255.255.0] の場合は、ビット形式では「24」になります。	192.168.179.1/24
DHCP サーバ			
DHCP サーバ機能	本製品の DHCP サーバを使用する場合は、チェックします。		使用する
リースタイム (時間)	DHCP サーバでクライアントに割り当てる IP アドレスの貸出時間が変更可能です。	0 (無制限)、 1～72 (時間)	24
アドレス割当パターン	割り当てパターンを選択できます。[自動設定] の場合は、本製品 LAN インタフェースの IP アドレスの次の IP アドレスから割当数分のアドレスプールを確保します。[手動設定] の場合、DHCP エントリで設定されたアドレス割当パターンが使用されます。	自動設定、手動設定	自動設定

(次ページに続く)

設定項目	説明	設定範囲	初期値
割当先頭アドレス	アドレス割当パターンで [手動設定] を選択した場合は、DHCP クライアントに割り当てる IP アドレスの先頭アドレスを入力します。		(なし)
割当数	DHCP クライアントの割り当てられる IP アドレス割当数を入力します。	1 ~ 32	32
WINS サーバアドレス	DHCP クライアントに通知する WINS サーバアドレスを設定します。		(なし)

2

[設定] をクリックし、[保存] をクリックする

LAN 側無線設定



1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
LAN 側無線選択	本製品の LAN 側無線を選択します。「Bluetooth」を選択した場合は、Bluetooth テザリングをすることができます。また無線 LAN 設定の無線機能が有効になっていても、ここで「Bluetooth」を選択すると無効になります。	Wi-Fi、Bluetooth	Wi-Fi
Wi-Fi/Bluetooth/WAN 側連動	Wi-Fi/Bluetooth/WAN 側連動を使用する場合は、チェックします。本機能を使用する場合、インターネット切断時に無線を停止します。使用する場合、無線接続では、クイック設定 Web が開けなくなる可能性があります。		(チェックなし)

2 [設定] をクリックし、[保存] をクリックする

DHCP 除外設定

DHCP サーバがクライアントに割り当てる IP アドレスを設定します。LAN 側設定の [DHCP サーバ機能] が使用する、[アドレス割当パターン] が [手動設定] の場合に選択できます。

DHCP 除外設定 エントリ追加で、DHCP クライアントに割り当てを行わない IP アドレスの範囲を設定します。[先頭アドレス] で指定した IP アドレスから、[除外数] で指定した数の分を DHCP サーバの割り当て範囲から除外します。除外エントリは 2 エントリの指定が可能です。



(画面は DHCP 除外設定 エントリ追加画面です)

1

[追加] をクリック

DHCP 除外設定エントリ追加画面が表示されます。

2

DHCP 除外設定 エントリ追加の画面が表示されたら、各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
先頭アドレス	DHCP クライアントに割り当てしない IP アドレス範囲の先頭アドレスを入力します。		(なし)
除外数	DHCP クライアントに割り当てを行わない IP アドレス数を入力します。	1 ~ 255	(なし)

3

[設定] をクリックし、[保存] をクリックする

4

[前のページへ戻る] をクリックし、エントリ一覧に登録内容が表示されていることを確認する

DHCP 固定割当設定

特定の MAC アドレスに固定 IP アドレスを割り当てます。



(画面は DHCP 固定割当エントリ追加画面です)

1 [追加] をクリックする

DHCP 固定割当エントリ追加画面が表示されます。

2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
MAC アドレス	特定端末に固定の IP アドレスを割り当てるときに入力します。	[xx:xx:xx:xx:xx:xx] 形式で入力	(なし)
IP アドレス	特定端末に割り当てを行う固定の IP アドレスを入力します。 [MAC アドレス] で指定した端末に [IP アドレス] で指定した IP アドレスを入力します。		(なし)

3 [設定] をクリックし、[保存] をクリックする

4 [前のページへ戻る] をクリックし、エントリー一覧に登録内容が表示されていることを確認する

IPv4 パケットフィルタ設定

IP パケットフィルタを設定します。インターネットへ通過するパケットを制限します。本製品では「パケットフィルタエントリ」のパターンを最大 50 個設定できます。

ただし、WAN 側の優先度 1 ~ 18 番は基本的にシステム用に予約されています。変更 / 削除は可能ですが、本製品が正しく動作しなくなる可能性がありますので、ご注意ください。

設定するときは、「対象インタフェースを選択」で「WAN」または「LAN」を選択し、「選択」をクリックしてください。



(画面は IPv4 パケットフィルタエントリ追加画面です)

1
2

1 [追加] をクリックする

IPv4 パケットフィルタエントリ追加画面が表示されます。

2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
種別	フィルタ条件に一致したパケットの扱いを選択します。	通過 (accept)、 破棄 (drop)	通過 (accept)
方向	選択したインタフェースでのフィルタ評価方向を選択します。本製品に向かっていくパケットが「in」、本製品から離れていくパケットが「out」です。	In, out	In
プロトコル	フィルタ対象とする IP プロトコルの種別を選択します。「その他」は IP プロトコル番号を入力します。「ICMP」は、ICMP MESSAGE を選択できます。「TCP」は TCP FLAG を選択できます。	IP すべて、ICMP、 TCP、UDP、そ の他	IP すべて

(次ページに続く)

設定項目	説明	設定範囲	初期値
送信元 IP アドレス	フィルタ対象とするパケットの送信元 IP アドレスを入力します。指定した IP アドレスに対して、設定を有効にする場合は、「/」の後ろに「32」を入力します。「any」は全 IP アドレスを対象、「localhost」は本製品からの通信を対象です。	any, localhost	any
送信元ポート番号	パケットの送信元ポート番号を入力します。「プロトコル」が「TCP」、「UDP」以外は「any」のみの選択です。	any	any
宛先 IP アドレス	フィルタ対象とするパケットの宛先 IP アドレスを入力します。指定した IP アドレスに対して設定を有効にする場合は、「/」の後ろに「32」を入力します。「any」は全 IP アドレスを対象、「localhost」は本製品からの通信を対象です。	any, localhost	any
宛先ポート番号	パケットの宛先ポート番号を入力します。「プロトコル」が「TCP」、「UDP」以外は「any」のみの選択です。	any	any
優先度	フィルタエントリの優先度を入力します。複数ある場合は、優先度の数字が小さいエントリから評価します。	1 ~ 50	(なし)

3 [設定] をクリックし、[保存] をクリックする

4 [前のページへ戻る] をクリックし、エントリ一覧に登録内容が表示されていることを確認する

※設定値を間違えた場合は、修正できません。「削除」して設定をやり直してください。

<設定例>

ここでは、LAN 側のパソコンの通信を制限（※ 1）する設定と Web ページの閲覧を制限（※ 2）する方法を例に説明します。

制限対象ではないパソコンで設定を行ってください。それ以外の環境を構築する場合は、設定内容などをご利用の環境に合うように設定してください。

（※ 1）インターネット、メール、FTP、クイック設定 Web などすべて利用不可

（※ 2）インターネット、クイック設定 Web は利用不可、メール、FTP などは利用可能

1 IPv4 パケットフィルタ設定エントリー一覧画面の「対象インタフェースを選択」で「LAN」を選択し、[選択] をクリックする

2 [追加] をクリックする

3 DHCP 固定割当が動作するように設定を行い、[設定] をクリックする
※パソコンに IP アドレスを固定している場合、Web ページの閲覧のみ制限する場合は、この手順は必要ありません。

- 種別：「通過」
- 方向：「in」
- プロトコル：「IP すべて」
- 送信元 IP アドレス：「localhost」指定した IP アドレスに対して、設定を有効にする場合は、「/」の後ろに「32」を入力します。
- 送信先ポート番号：「any」
- 宛先 IP アドレス：「localhost」
- 宛先ポート番号：「any」
- 優先度：「1」

4 [前のページへ戻る] をクリックし、[保存] をクリックする

5 エントリー一覧に設定内容が表示されるので、再度 [追加] をクリックする

6 パソコンの通信を制限する設定を行い、[設定] をクリックする

Web ページの閲覧のみ制限する場合は、「プロトコル」を「TCP」、「宛先ポート番号」を「80」に変更します。

- 種別：「廃棄」
- 送信元 IP アドレス：「localhost」指定した IP アドレスに対して、設定を有効にする場合は、「/」の後ろに「32」を入力します。
- 宛先 IP アドレス：「any」
- 優先度：「2」

7 [前のページへ戻る] をクリックし、[保存] をクリックする

8 「IPv4 パケットフィルタエントリー一覧」に設定内容が表示される

IPv6 パケットフィルタ設定

IP パケットフィルタを設定します。インターネットへ通過するパケットを制限します。本製品では「パケットフィルタエントリ」のパターンを最大 50 個設定できます。

設定するときは、「対象インタフェースを選択」で「WAN」または「LAN」を選択し、「選択」をクリックしてください。



(画面は IPv6 パケットフィルタエントリ追加画面です)

1
2

1 [追加] をクリックする

IPv6 パケットフィルタエントリ追加画面が表示されます。

2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
種別	フィルタ条件に一致したパケットの扱いを選択します。	通過 (accept)、 破棄 (drop)	通過 (accept)
方向	選択したインタフェースでのフィルタ評価方向を選択します。本製品に向かっていくパケットが「in」、本製品から離れていくパケットが「out」です。	In, out	In
プロトコル	フィルタ対象とする IP プロトコルの種別を選択します。「その他」は IP プロトコル番号を入力します。「ICMPv6」は、ICMPv6 MESSAGE を選択できます。「TCP」は TCP FLAG を選択できます。	IPv6 すべて、 ICMPv6、 TCP、UDP、 その他	IPv6 すべて
送信元 IP アドレス	フィルタ対象とするパケットの送信元 IP アドレスを入力します。指定した IP アドレスに対して、設定を有効にする場合は、「/」の後ろに「32」を入力します。「any」は全 IP アドレスを対象、「localhost」は本製品からの通信を対象です。	any、 localhost	any
送信元ポート番号	パケットの送信元ポート番号を入力します。「プロトコル」が「TCP」、「UDP」以外は「any」のみの選択です。	any	any

(次ページに続く)

設定項目	説明	設定範囲	初期値
宛先 IP アドレス	フィルタ対象とするパケットの宛先 IP アドレスを入力します。指定した IP アドレスに対して設定を有効にする場合は、「/」の後ろに「32」を入力します。「any」は全 IP アドレスを対象、「localhost」は本製品からの通信を対象です。	any、localhost	any
宛先 ポート番号	パケットの宛先ポート番号を入力します。「プロトコル」が「TCP」、「UDP」以外は「any」のみの選択です。	any	any
優先度	フィルタエントリの優先度を入力します。複数ある場合は、優先度の数字が小さいエントリから評価します。	1 ~ 50	(なし)

3

【設定】 をクリックし、【保存】 をクリックする

4

【前のページへ戻る】 をクリックし、エントリ一覧に登録内容が表示されていることを確認する

※設定値を間違えた場合は、修正できません。「削除」して設定をやり直してください。

ポートマッピング設定

ポートマッピング機能とは、あらかじめ固定的に使用するポート番号とパソコンを結びつける機能です。グローバルネットワーク側からの特定ポートの通信を指定したパソコンに送信できます。必要に応じて NAT エントリ設定することで、外部のサイトから特定のパソコンへ直接アクセスすることが可能です。

ルータ機能ではアドバンスド NAT 機能 (IP マスカレード /NAPT) が働いてネットワークゲームができなくなる場合があります。これは、外部のサイトから特定のポートへのアクセスができなかったり、ネットワークゲームで使用するポートが動的に変換されてしまったりするために起こります。本機能を使用することで、この問題を回避できることがあります。



お知らせ

- ポートマッピングを設定する無線 LAN (Wi-Fi®) 端末は、DHCP サーバ機能により IP アドレスが自動的に割り当てられないように、IP アドレスを固定しておいてください。固定する場合は、DHCP の割り当て範囲外で IP アドレスを指定することをお勧めします。



(画面は NAT エントリ追加画面です)

1

[追加] ボタンをクリックする

NAT エントリ追加画面が表示されます。

(次ページに続く)

2

各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
LAN 側ホスト	ポートマッピングを適用する LAN 側ホストの IP アドレス (パソコン、ゲーム機など) を入力します。		(なし)
プロトコル	対象とするプロトコルを選択します。「その他」を選択した場合は、「プロトコル番号」を入力してください。	TCP、UDP、ESP、その他	TCP
ポート番号	プロトコルに「TCP」「UDP」を選択した場合のみ設定できません。「any」のチェックを外し、ポートマッピングの対象とするポート番号を入力します。		any
優先度	NAT エントリの優先度を入力します。複数ある場合は、優先度の数字が小さいエントリから評価します。	1 ~ 50	(なし)

3

[設定] をクリックし、**[保存]** をクリックする

4

[前のページへ戻る] をクリックし、**エントリー一覧**に登録内容が表示されていることを確認する

※設定値を間違えた場合は、修正できません。「削除」して設定をやり直してください。

5

ポートを開放する機器に、以下の情報を設定する

- ・ IP アドレス : LAN 側ホストに入力した IP アドレス
- ・ ネットマスク : 255.255.255.0 (本製品の初期値)
- ・ ゲートウェイ : 192.168.179.1 (本製品の IP アドレス初期値)
- ・ プライマリ DNS : 192.168.179.1 (本製品の IP アドレス初期値)

静的ルーティング

静的ルーティングを設定します。



(画面は静的ルーティング設定エントリ追加画面です)

1 [追加] をクリックする

静的ルーティング設定エントリ追加画面が表示されます。

2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
宛先 IP アドレス	宛先ネットワークまたは宛先ホストを入力します。「IP アドレス / ネットマスク」の形式で入力します。ネットマスクはビット数形式で入力します。	ビット数、1～32	(なし)
ゲートウェイ	静的ルーティングによってルーティング先になるネクストホップルータ（ゲートウェイ）の IP アドレスを入力します。		(なし)

3 [設定] をクリックし、[保存] をクリックする

4 [前のページへ戻る] をクリックし、エントリー一覧に登録内容が表示されていることを確認する

その他の設定

その他の設定をします。

Speed Wi-Fi NEXT

クイック設定Web

トップページ | 詳細設定 | その他の設定 ヘルプ表示

- ◎ ネットワーク設定
- ◎ 無線LAN設定
- ◎ 無線LANの拡張設定
- ◎ Bluetooth設定
- ◎ 設定高度
- ◎ 詳細設定
 - ・ LAN設定
 - ・ LANの拡張設定
 - ・ LANの拡張設定
 - ・ LANの拡張設定
 - ・ LANの拡張設定
 - ・ LANの拡張設定
 - ・ LANの拡張設定
 - ・ LANの拡張設定
 - ・ LANの拡張設定
 - ・ LANの拡張設定
- ◎ ネットワーク設定
- ◎ ネットワーク設定
- ◎ ネットワーク設定

◎ 情報

設定高度モード

Wi-Fi

モバイルWi-Fi

セキュリティ設定

セキュリティ保護機能 使用する 使用しない 設定

NAT設定

NAT機能 使用する 使用しない

IPv4サイズ (MB)

IPv6サイズ (MB) 設定

VPN設定

IPsec/SSLVPN機能 使用する 使用しない 設定

UPnP設定

UPnP機能 使用する 使用しない 設定

DMZホスト設定

DMZホスト機能 使用する 使用しない

DMZホストIPアドレス 設定

通信情報ログ設定

ログ機能 使用する 使用しない

ログ保存方法 外部ストレージ 内部ストレージ 設定

補助設定

フレームワーク更新通知機能 使用する 使用しない 設定

USB接続時

無線LAN接続時 使用する 使用しない

USB接続時 使用する 使用しない 設定

電源ボタン設定

電源ON/OFF通知機能 使用する 使用しない 設定

クレードル接続時の動作モード設定

アクセスモード 使用する 使用しない 設定

WAN設定

MTU (Byte)

PPPoE接続機能 使用する 使用しない 設定

詳細設定TOPへ

(次ページに続く)

1

各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
セキュリティ設定			
セキュリティ保護機能	セキュリティ保護機能を使用する場合は、チェックをします。セキュリティ保護機能を使用すると既知の外部からのアタックや不正アクセスを検出し、《通信情報ログ》画面にて表示するとともに、その不正パケットを廃棄します。検出可能な不正アクセスは、「LAND攻撃」「Smurf攻撃」「IP Spoofing攻撃」です。（「LAND攻撃」を防ぐフィルタは、セキュリティ保護機能の「使用する」がチェックされていなくても有効になります。）		使用する
NAPT 設定			
NAPT 機能	NAPT 機能（IP マスカレード）を使用しない場合は、チェックを外します。通常、チェックをしたままご利用ください。		使用する
TCP タイマ（秒）	NAPT 機能を使用する際の IP アドレス / ポート番号の動的変換テーブルの有効保持時間（秒）を入力します。NAPT テーブルが枯渇して通信ができなくなるアプリケーションを利用する場合は、本タイマを短めに設定すると解決できることがあります。入力できる値は、300 ～ 432000（秒）です。	300 ～ 432000（秒）	3600
UDP タイマ（秒）	NAPT 機能を使用する際の IP アドレス / ポート番号の動的変換テーブルの有効保持時間（秒）を入力します。NAPT テーブルが枯渇して通信ができなくなるアプリケーションを利用する場合は、本タイマを短めに設定すると解決できることがあります。入力できる値は、30 ～ 3600（秒）です。	30 ～ 3600（秒）	300

(次ページに続く)

設定項目	説明	設定範囲	初期値
VPN 設定			
IPsec パススルー機能	IPsec パススルー機能を使用する場合は、チェックをします。		(チェックなし)
UPnP 設定			
UPnP 機能	UPnP (ユニバーサル・プラグアンドプレイ) 機能を使用します。最大 10 台までの端末で UPnP 機能が利用可能となります。		使用する
DMZ ホスト設定			
DMZ ホスト機能	DMZ ホスト機能によって外部に公開する端末 (ホスト) の設定ができます。使用する場合はチェックをします。NAPT 機能を使用する場合のみ有効です。		(チェックなし)
DMZ ホストの IP アドレス	DMZ ホストの IP アドレスを入力します。本製品の LAN 側の設定で指定したネットワークアドレス範囲内の IP アドレスを入力してください。		(なし)
通信情報ログ設定			
ロギング機能	通信情報ログを出力します。		使用する
ログ保存方法	ログの保存方法を選択します。「サイクリック」は、ログ保存用メモリの範囲内で常に最新 500 件のログが保存され、古いログは廃棄されます。「ワンタイム」は、ログ保存用メモリから 500 件を超えた新しいログが廃棄されます。	サイクリック、ワンタイム	サイクリック
補助設定			
ファームウェア更新通知機能	ファームウェア更新通知機能を使用する場合は、チェックをします。ファームウェアのバージョンアップが可能な場合に、本製品のディスプレイ上に、新しいファームウェアの提供を通知する機能です。		使用する

(次ページに続く)

設定項目	説明	設定範囲	初期値
USB 接続時			
無線スリープ設定	無線スリープ機能を使用する場合はチェックします。USB 通信をしているときに無線 LAN (Wi-Fi [®]) および Bluetooth 機能を停止します。		(チェックなし)
USB 通信	USB 通信する場合はチェックします。		使用する
電源ボタン設定			
電源 OFF ロック機能	電源 OFF ロック機能を使用する場合は、チェックします。本機能を使用する場合、電源 OFF の長押し時間を 15 秒に変更します。チェックをしない場合 (通常) は、5 秒長押しです。		(チェックなし)
クレードル接続時の動作モード設定			
アクセスポイントモード	無線 LAN アクセスポイントモードを使用する場合はチェックします。		(チェックなし)
WAN 設定			
MTU (Bytes)	データ通信の最大転送値の設定をします。	WiMAX 2+ は、1400 ~ 1500、WiMAX は 1400 固定	1400
PING 応答機能	PING 応答機能を使用する場合は、チェックします。本機能を使用する場合、WAN 側からの PING に応答します。		(チェックなし)

2

【設定】 をクリックし、**【保存】** をクリックする

設定値の保存&復元

本製品の設定内容をパソコンに保存したり、保存した設定内容を読み込むことができます。



- 設定値の保存と復元は同じ動作モードで行ってください。
- 管理者パスワードは保存されません。
- 設定値のファイルは圧縮形式となっており、編集はできません。
- クレドール接続時の動作モードの設定は復元できません。



■保存方法

1 ファイルへ保存をクリックする

2 パソコンのデスクトップなどわかりやすい場所へ保存する

※お使いのパソコンの環境によっては、保存先とファイル名の指定を求められる場合があります。

■復元方法

1 「設定ファイル」欄にあるボタン（[参照] など）をクリックする

表示された画面で復元するファイルを選択します。

2 選択したファイルの保存先が「設定ファイル」欄に入るので、「設定値の復元」をクリックする

3 再起動のメッセージが表示されるので [OK] をクリックする

4 再起動が完了したメッセージが表示されるので [OK] をクリックする
WWW ブラウザを終了し、クイック設定 Web を開き直します。

ファームウェア更新

ファームウェアとは、本製品を動かすソフトウェアのことです。ファームウェアを更新することで不具合が修正されたり、新機能が使えたりします。ファームウェアは最新のバージョンで使用してください。

詳細は、「7-1 ファームウェアをバージョンアップする」(●P7-2)を参照してください。



現在のバージョンで、ファームウェアのバージョンを確認してから、以下の手順で設定してください。

1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
更新方法	ファームウェアの更新方法を選択します。	ローカルファイル指定、オンラインバージョンアップ	ローカルファイル指定
ファームウェアファイル	あらかじめホームページなどから入手したファームウェアファイル (BIN ファイル) を指定します。		(なし)

2 【確認 / 更新】 をクリックする

最新のファームウェアがある場合は、ファームウェア更新が開始されます。

PING テスト

PING テストを行います。対象ホストに IP パケットを送信し、通信確認することができます。



対象プロトコルの選択

1 PING テストの対象となるホストの IP アドレスまたはホスト名を入力する

2 [テスト実行] をクリックする

数秒後に画面が切り替わり、PING テスト結果が表示されます。

テスト結果に「0% packet loss」という表示があれば、通信状態は正常です。

PINコード管理

au Micro IC Card (LTE) にPINコード（暗証番号）を設定すると、本製品を使用するときにPINコードを入力しないと使用できなくなるので、不正使用を防ぐことができます。



< PINコードを有効にする >

- 1 「PINコード操作」から「有効にする」を選択する
- 2 「PINコード」にPINコードを入力する
お買い上げ時のPINコードは「1234」が設定されています。
- 3 [設定] をクリックし、再起動のメッセージが表示されるので [OK] をクリックする
再起動します。

< PINコードを無効にする場合 >

PINコードが有効の場合、PINコードを無効にします。

- 1 「PINコード操作」から「無効にする」を選択する
- 2 「PINコード」にPINコードを入力する
- 3 [設定] をクリックし、再起動のメッセージが表示されるので [OK] をクリックする
再起動します。

< 認証を行う >

PIN 認証を行うまでは、インターネットに接続できません。

■本製品で PIN 認証を行う

「PIN コード操作」を有効に設定してから再起動すると、ディスプレイに「PIN 未認証 →コード入力」と表示されます。

1 SET ボタン  を押して PIN コード入力画面が表示されたら PIN コード入力し、[OK] を選択して SET ボタン  を押す

※数字の入力方法は「基本操作」(●P2-3)を参照してください。

2 PIN コードが正しければ、ディスプレイに「ロック解除」と表示されるので、電源ボタンを押し、通常表示する

PIN コードの入力に失敗すると、「コードが違います」と表示されます。

< PIN コードを変更する >

PIN コード操作が有効のとき、必要に応じて 4～8 桁のお好きな番号に変更することができます。

1 項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
現在の PIN コード	現在設定されている PIN コードを入力します。	4～8 桁の数字	1234 ※
新しい PIN コード	新しい PIN コードを入力します。	4～8 桁の数字	(なし)
確認用 PIN コード	確認のため新しい PIN コードを再入力します	4～8 桁の数字	(なし)

※お買い上げ時の au Micro IC Card (LTE) の PIN コードは、「1234」に設定されています。

※本製品を初期化した場合でも、変更した PIN コードはお買い上げ時の状態には戻りません。

2 [PIN コード変更] をクリックし、[保存] をクリックする

< PIN ロックを解除する >

PIN コード入力に 3 回失敗した場合、ディスプレイに「PIN ロック」と表示され、PIN ロックがかかります。


PIN ロックを解除するためには、PIN ロック解除コード (PUK) が必要です。PIN ロック解除コード (PUK) については「PIN コードについて」(●P19) をご参照ください。

■クイック設定 Web で PIN ロックを解除する

1 「PIN ロック解除コード」に、PIN ロック解除コード (PUK) を入力する

2 [解除] をクリックし、[保存] をクリックする

■本製品で PIN ロックを解除する

- 1 ディスプレイを点灯させると「PIN ロック→コード入力」と表示される
- 2 SET ボタン  を押し、PIN ロック解除コード (PUK) を入力する
PIN ロック解除コード (PUK) については「PIN コードについて」(●P19) をご参照ください。
- 3 「ロック解除」と表示される
PIN ロック解除コード (PUK) の入力に失敗すると「コードが違います」と表示されます。



- 同じ au Micro IC Card (LTE) に対して PIN コードの入力を 3 回失敗すると認証エラーメッセージが表示されます。(PIN コードの入力可能回数は表示されません。) その場合は、PIN ロック状態となり、PIN ロック解除コード (PUK) が必要となります。本製品の PIN ロック解除コード (PUK) 入力画面またはクイック設定 Web の [PIN ロック解除] で PIN ロック状態を解除してください。
- PIN ロック解除コード (PUK) を入力した場合は、新しく PIN コードを設定してください。
- PIN ロック解除コード (PUK) を 10 回連続して間違えると、完全にロックされます。ご契約の WiMAX 事業者までお問い合わせください。

再起動

本製品を再起動することができます。



1 [再起動] をクリックする

2 [OK] をクリックする

3 「再起動中」のメッセージが表示される
再起動するまでに時間がかかる場合があります。

4 「再起動が完了しました」とメッセージが表示されるので、[OK] をクリックする

本製品に設定されている内容などの情報を確認できます。

現在の状態

本製品の装置情報や設定内容を表示します。

Speed Wi-Fi NEXT

ワイプ設定Web

トップページ > 情報 > 現在の状態(ローカルルーテ)

ヘルプ表示

① ネットワーク設定

② 無線LAN設定

③ Wi-Fi Direct設定

④ Bluetooth設定

⑤ LAN設定

⑥ 詳細設定

⑦ ログアクセス

⑧ 診断

⑨ 現在の状態

⑩ 通信ログ

⑪ 設定の履歴

⑫ 工場出荷

設定のロード

English

モバイル専用ページ

装置情報

最新状態に更新

装置名	① W601-XXXXXX
ファームウェアバージョン	② XXX
MACアドレス(WiMAX)	③ XXXXXXXXXXXXX
MACアドレス(ETHERNET)	④ XXXXXXXXXXXXX
MACアドレス(USB)	⑤ XXXXXXXXXXXXX

UIMカード情報

IMEI	① XXXXXXXXXXXXX
ICCID	② XXXXXXXXXXXXXXXXX
電話番号	③ XXXXXXXXXXXXX

Bluetooth情報

Bluetoothデバイス名	① 通信情報停止
MACアドレス(Bluetooth)	② 通信情報停止

無線情報(wa01-xxxxxx)

無線動作モード	① 4/4/4
使用チャネル	② 6
ネットワーク名(SSID)	③ wa01-xxxxxx
MACアドレス(無線)	④ XXXXXXXXXXXXX
ネットワーク分離機能	⑤ 未使用

無線情報(wa01-xxxxxx-w)

無線動作モード	① 通信情報停止
使用チャネル	② 通信情報停止
ネットワーク名(SSID)	③ 通信情報停止
MACアドレス(無線)	④ 通信情報停止
ネットワーク分離機能	⑤ 通信情報停止

接続状態

動作モード	① ローカルルーテ
接続技術	② インターネット利用可能(WiMAX)

LAN側状態

IPアドレス/ネットマスク	① 192.168.179.1/24
---------------	--------------------

WAN側状態

IPアドレス/ネットマスク	① XXX.XXX.XXX.XXX/20
ゲートウェイ	② XXX.XXX.XXX.XXX
プライマリDNS	③ XXX.XXX.XXX.XXX
セカンダリDNS	④ XXX.XXX.XXX.XXX

詳細設定 | UPA

通信情報ログ

通信情報ログ（接続動作履歴）を表示できます。

例えば、外部からの不正と思われるアクセスを表示できます。

ただし、「詳細設定」の「その他の設定」-「通信情報ログ設定」で「ロギング機能」を「使用する」にしていない場合には、「ログデータはありません」と表示されます。

なお、ログ情報表示の内容に関するお問い合わせは、サポートしておりませんのでご了承ください。



1 ログを選択で、表示したいログ（一般ログ、セキュリティログ、WiMAX/WiMAX 2+ ログ）を選択し、[選択] をクリックする

2 ログが表示される

※通信情報ログをテキストファイルで保存したい場合は「ファイルへ保存」をクリックし、保存してください。

UPnP の状態

現在 UPnP 利用中のパソコンの IP アドレスとポート番号を表示します。



マニュアル

[マニュアル] をクリックすると『取扱説明書 詳細版』（本書）を表示します。インターネットに接続しているときは、WiMAX Support Information ホームページにある最新版のファイルが表示されます。ただし、インターネット接続の packets 通信料はお客様ご負担となります。

※ インターネットに接続していないときは、本製品に格納しているファイルを表示します。

MEMO



10



スマートフォン用 クイック設定 Web

10-1 スマートフォン用クイック設定 Web について	10-2
10-2 各種機能の詳細設定をする (詳細設定)	10-6
10-3 ネットワーク設定	10-7
10-4 無線 LAN 設定	10-11
10-5 ECO 設定	10-14
10-6 詳細設定	10-16
10-7 メンテナンス	10-17

本製品に接続したスマートフォンなどの WWW ブラウザから、Speed Wi-Fi NEXT WX01 の設定ツールを使用して本製品に設定することができます。手順は無線 LAN (Wi-Fi[®]) で接続した場合を例にしています。

本製品では、Speed Wi-Fi NEXT WX01 の設定ツールを「クイック設定 Web」と呼びます。



お知らせ

- クイック設定 Web が利用できる WWW ブラウザについては「接続端末の準備」(P1-17)を参照してください。
- 説明に使用している画面表示は、お使いの WWW ブラウザや OS によって異なります。
- クイック設定 Web の画面デザインは変更になることがあります。

お願い

- スマートフォン用のクイック設定 Web では設定できない項目があります。その場合は、PC 用のクイック設定 Web で設定を行ってください。
- クイック設定 Web の設定は設定内容の変更を行った後、詳細設定 TOP 画面へ戻り、[保存] をクリックしてからでないと保存されません。
- 無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続でクイック設定 Web を表示させる場合は、プライマリ SSID に接続してください。

クイック設定 Web を起動する

- 1 本製品とスマートフォンなどが無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続されていることを確認する
- 2 WWW ブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://192.168.179.1」を入力する
クイック設定 Web が表示されます。
- 3 管理者パスワードの初期設定画面が表示されたら、[パスワード] (パスワード再入力) 欄にパスワード (任意の文字列) を入力し、[設定] をタップする
※パスワードに使用できる文字は、0～9、a～z、A～Z、- (ハイフン)、_ (アンダースコア) で、最大半角 64 文字まで有効です。このパスワードは、本製品「クイック設定 Web」の「詳細設定」を開くたびに必要となります。忘れないように控えておいてください。
※この画面は管理者パスワードが未設定の場合に表示されます。
- 4 ユーザー名とパスワードを入力する
※「ユーザー名」(上段) には「admin」と半角小文字で入力し、「パスワード」(下段) には、手順 3 で控えた管理者パスワードを入力してください。
- 5 [ログイン] をタップする

クイック設定 Web のトップページ



① **ピクト情報**

電波状態、WiMAX (WiMAX 2+、WiMAX)、Wi-Fi スポット (Wi-Fi)、Bluetooth (接続台数)、Wi-Fi (接続台数)、電池残量を表示します。

② **PC 用ページに戻ります**

パソコンから操作するための画面を表示します。

③ **装置情報**

以下の情報が表示されます。

- ・機種名
- ・ファームウェアバージョン
- ・接続ステータス
- ・プロファイル
- ・データ通信量
- ・接続時間

④ **簡易設定**

簡単な設定ができます。

- ・プロファイルの設定
使用するプロファイルを選択します。
- ・Wi-Fi スポット
Wi-Fi スポットを使用する場合はチェックします。
- ・LAN 側無線選択
Wi-Fi/Bluetooth を選択します。

⑤ **詳細設定 TOP へ**

詳細設定をする場合は、ここをタップし、各種機能の詳細設定をします。

詳細設定のトップページ設定画面



① 設定メニュー

- ・ ネットワーク設定
- ・ 無線 LAN 設定
- ・ ECO 設定
- ・ 詳細設定
- ・ メンテナンス

② 設定用 QR コード

無線 LAN 設定用の QR コードを作成します。

③ 言語

日本語と英語の切り替えができます。

④ トップページ

クイック設定 Web のトップページを表示します。

メニューから設定する機能を選択する

- **ネットワーク設定**
WiMAX 2+/WiMAX の接続に関する詳細機能を設定します。(☛P10-7)
- **無線 LAN 設定**
無線 LAN (Wi-Fi[®]) 機能に関する詳細機能を設定します。(☛P10-11)
- **ECO 設定**
ECO 機能に関する詳細機能を設定します。(☛P10-14)
- **詳細設定**
ファームウェアの更新通知機能の設定をします。(☛P10-16)
- **メンテナンス**
ファームウェアの更新の設定をします。(☛P10-17)

WiMAX 2+/WiMAX への接続方法などを設定します。

基本設定

省電力モードの設定ができます。

1 項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
省電力モード設定	本製品を省電力モードに選択すると WiMAX 2+ および Wi-Fi の通信を制限して省電力化します。	ハイパフォーマンス、省電力モード	ハイパフォーマンス

2 [設定] をタップする

3 [詳細設定 TOP へ] をタップし、[保存] をタップする

接続設定

プロフィールの選択ができます。

接続設定

プロフィール選択 ②

Internet ▼

設定

詳細設定TOPへ

1

項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
接続設定	使用するプロフィールを選択します。	お買い上げ時に登録されているプロフィールを含む最大12件※	Internet (登録されているプロフィール名) ※

※お買い上げ時に設定されているプロフィール「Internet」含む7件は、変更、削除できません。

2

【設定】をタップする

3

【詳細設定 TOP へ】をタップし、【保存】をタップする

プロファイル設定

プロファイル（インターネットサービスプロバイダなどの接続設定）の登録、編集ができます。

プロファイル設定

プロファイルリスト ⓘ

Internet ▼ 選択

プロファイル名 ⓘ

Internet

APN(接続先情報) ⓘ

.....

ユーザー名 ⓘ

.....

パスワード ⓘ

..

認証タイプ ⓘ

CHAP ▼

IPタイプ ⓘ

IPv4 ▼

設定

詳細設定TOPへ

(画面は、登録されているプロファイルです)

< プロファイルを新規に設定する場合 >

1 「プロフィールリスト」から「no setup」を選択し、[選択] をタップする

2 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
プロフィール名	新規に設定する場合、任意のプロファイル名を入力します。	最大 64 文字 (半角) までの文字列。全角の場合は 21 文字まで (?、半角スペースを除く)	Internet (登録されているプロフィール名) ※ 1、※ 2
APN (接続先情報)	アクセスポイント名 (APN) を設定します。	最大 63 文字 (半角英数記号)(?、(半角スペース)、"、&、.、:、;、<、>、\ を除く)	●●●●●●●● ※ 1、※ 2
ユーザー名	ユーザー名を設定します。	最大 63 文字 (半角英数記号)?、半角スペースを除く)	●●●●●●●● ※ 1、※ 2
パスワード	パスワードを設定します。	最大 63 文字 (半角英数記号)?、半角スペースを除く)	●●●●●●●● ※ 1、※ 2
認証タイプ	認証方式を設定します。	CHAP、PAP	CHAP ※ 1、※ 2
IP タイプ	IP タイプを選択します。	IPv4、IPv4&IPv6、IPv6	IPv4 ※ 2

※ 1 お買い上げ時に設定されているプロフィール「Internet」含む 7 件は、変更、削除できません。

※ 2 新規設定では、「プロフィール名」から「パスワード」までは空欄です。「認証タイプ」の「CHAP」、「IP タイプ」の「IPv4」が表示されます。

3 [設定] をタップし、[詳細設定 TOP へ] をタップする

4 [保存] をタップする

< 作成したプロフィールを編集する場合 >

1 「プロフィールリスト」から編集したいプロフィールを選択し、[選択] をタップする

2 編集が終了したら [設定] をタップする

3 [詳細設定 TOP へ] をタップし、[保存] をタップする

無線 LAN (Wi-Fi[®]) 機能の各種設定ができます。

無線 LAN 設定

無線LANアクセスポイント(親機)
設定

対象ネットワークを選択 ⑦

プライマリE ▾ 選択

ネットワーク名(SSID) ⑦

wx01-xxxxxx

SSID・暗号化キー表示 ⑦

使用する

暗号化

WPA暗号化キー(PSK) ⑦

xxxxxxxxxxxxxx

設定

詳細設定TOPへ

1

各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
無線 LAN アクセスポイント（親機）設定			
対象ネットワークを選択	設定したいネットワークを選択します。	プライマリ SSID、セカンダリ SSID	プライマリ SSID
ネットワーク名 (SSID)	ネットワーク名 (SSID) を入力します。	最大 32 文字までの半角英数字、-(ハイフン)、_ (アンダースコア)	wx01-xxxxx ※
SSID・暗号化キー表示	SSID 表示を使用する場合はチェックします。「使用する」に設定した場合は、ディスプレイメニューにて SSID と暗号化キーを表示できます。		使用する
暗号化			
WPA 暗号化キー (PSK)	暗号化キーを入力します。プライマリ SSID の場合のみ設定できます。	8 文字以上 63 文字までの英数記号 (0 ~ 9, a ~ z, A ~ Z) または、64 桁の 16 進数 (0 ~ 9, a ~ f, A ~ F)	

※ご利用の端末ごとの SSID が表示されます。

2

【設定】 をタップする

3

【詳細設定 TOP へ】 をタップし、【保存】 をタップする

WPS 設定

WPS設定

WPS(PIN方式)を使用する場合は、[PIN方式]の「使用する」にチェックをして、[設定]ボタンをクリックしてください。

WPS(PIN方式) ①

使用する

無線LAN端末のPINコード ②

WPS(PIN方式)

設定

詳細設定TOPへ

1 各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
WPS (PIN 方式)	WPS の PIN 方式を使用する場合は、チェックします。		使用する
無線 LAN 端末の PIN コード	無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末の PIN コードを入力します。		(なし)

2 [WPS (PIN 方式)] をタップする

3 [設定] をタップする

本製品の省電力に関する設定やリモート起動の設定をします。
詳細は、「5-2 ECO 機能を使う」(P5-4)を参照してください。

ECO 設定

電池残量と充電
電池残量 ⓘ [■■■■■■■■■■] (100%)
自動省電力設定
自動消灯時間 ⓘ 30秒 ▼
省電力状態切り替え機能 ⓘ ウェイティング ▼
省電力状態切り替え設定時間 ⓘ 10 分
休止状態設定
リモート起動 ⓘ <input type="checkbox"/> 使用する
設定
詳細設定TOPへ
Copyright(c) NEC Corporation 2001-2015 Copyright(c) NEC Platforms, Ltd. 2001-2015

1

各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
自動省電力設定			
自動消灯時間	ディスプレイが自動消灯するまでの時間を選択します。	15 秒、30 秒、60 秒	30 秒
省電力状態切り替え機能	省電力状態切り替え機能のモードを設定します。	電源 OFF、ウェイトティング、休止状態、使用しない	ウェイトティング
省電力状態切り替え設定時間	省電力状態切り替え機能で設定したモードになるまでの時間を入力します。	1 ~ 60 分	10
休止状態設定			
リモート起動	リモート起動する場合はチェックします。休止状態の場合、「NEC WiMAX 2+ Tool」から起動の操作ができます。		(チェックなし)

2

【設定】をタップする

3

【詳細設定 TOP へ】をタップし、【保存】をタップする

その他の設定

補助設定

ファームウェア更新通知機能 ②

使用する

設定

詳細設定TOPへ

1

各項目を設定する

設定項目	説明	設定範囲	初期値
ファームウェア更新通知機能	ファームウェア更新通知機能を使用する場合は、チェックをします。ファームウェアのバージョンアップが可能な場合に、お使いのブラウザ上、または本製品のディスプレイ上に、新しいファームウェアの提供を通知する機能です。		使用する

2

【設定】をタップする

3

【詳細設定 TOP へ】をタップし、【保存】をタップする

本製品の管理者パスワードを変更したり、ファームウェアの更新をしたりするなど、本製品の設定や操作ができます。

管理者パスワードの変更

本製品の設定変更や不正アクセスを防止するためにパスワードを設定します。
クイック設定 Web へログインするときに必要です。

1 各項目を設定する

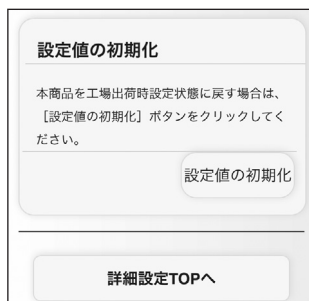
設定項目	説明	設定範囲	初期値
現在のパスワード	現在のパスワードを入力します。		(なし)
新しいパスワード	新しいパスワードを入力します。	最大 64 文字までの半角英数字、-(ハイフン)、_ (アンダースコア)	(なし)
新しいパスワード再入力	確認のため新しいパスワードを再入力します。		(なし)

2 【設定】をタップする

3 【詳細設定 TOP へ】をタップし、【保存】をタップする

設定値の初期化

設定内容を工場出荷時の状態に戻します。詳細は「8章 工場出荷時の状態に戻す（初期化）」（P8-1）を参照してください。



1 【設定値の初期化】をタップする

2 【OK】をタップする
再起動します。

ファームウェア更新

ファームウェアとは、本製品を動かすソフトウェアのことです。ファームウェアを更新することで新機能が使えたりします。ファームウェアは最新のバージョンで使用してください。

詳細は、「7-1 ファームウェアをバージョンアップする」(P7-2)を参照してください。



1
2

【確認 / 更新】 をタップする

バージョン情報を取得します。

新しいファームウェアが存在していたら、【確認 / 更新】 をタップする

MEMO



11









本製品のディスプレイ メニューについて

- 11-1 ディスプレイメニューの使いかた…………… 11-2
- 11-2 ディスプレイの表示説明…………… 11-12

本製品は、ディスプレイの **SET** ボタン  / **SELECT** ボタン  にてメニュー操作することで、各種設定や情報の確認をすることができます。
画面は設定例です。

設定モード

ディスプレイが表示されているときは **SET** ボタン  / **SELECT** ボタン  を操作することで以下のように画面が切り替わります。

- ➡ **SELECT** ボタン  を押して切り替えます。
※メニュー切り替え時に電源ボタン  を押すと通常表示に戻ります。
- ➡ **SET** ボタン  を押して切り替えます。
- ➡ **SET** ボタン  を長押しして切り替えます。
- ➡ **自動で切り替わります。**

<設定メニュー>

【通常表示】

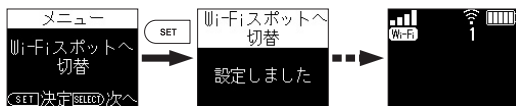
ディスプレイが消灯しているときは、電源ボタン  を押して画面を表示させてください。



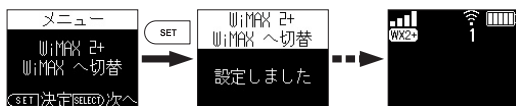
【WiMAX 2+/WiMAX と Wi-Fi スポットへの切り替え】

クイック設定 Web で Wi-Fi スポットが「使用する」に設定されている場合に表示されるメニューです。
Wi-Fi スポットに接続されているときは、「WiFi」と表示されます。

■ Wi-Fi スポットへ切り替える場合



■ WiMAX2+/WiMAX へ切り替える場合



(次ページに続く)

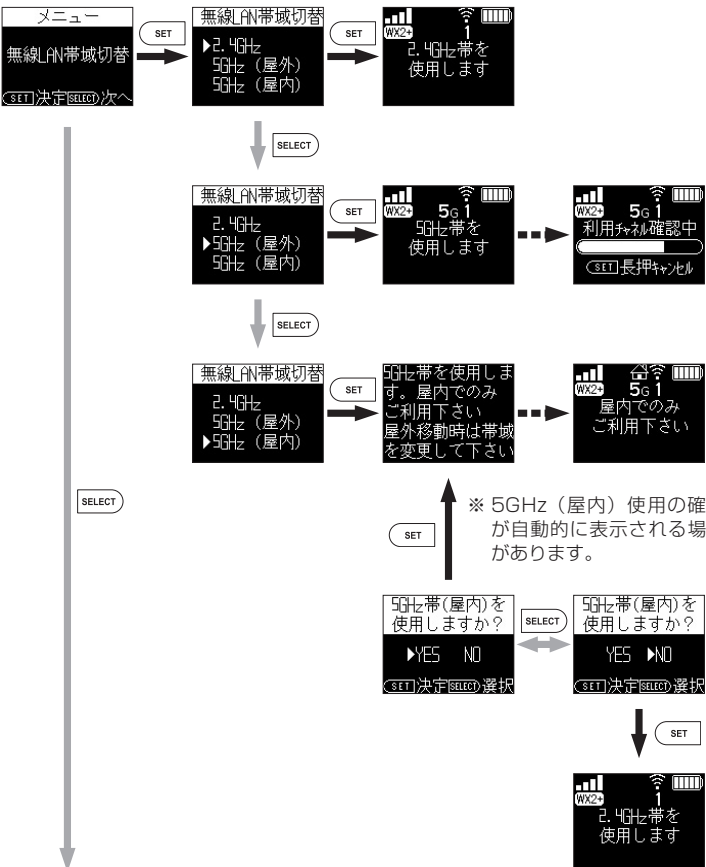
→ SELECT ボタンを押す、→ SET ボタンを押す、
 → SET ボタンを長押しする、→ 自動で切り替わる

【無線 LAN 帯域切替】

クイック設定 Web で 5GHz 帯が「有効にする」に設定されていて、かつ、Wi-Fi スポットに接続していない場合に表示されるメニューです。

5GHz 帯を使用するときは、次のことにご注意ください。

- 工場出荷時は、5GHz 帯に設定されていません。
- 5.2GHz、5.3GHz 帯域は、屋内利用のみです。
- 屋外を選択したときは、気象レーダーなどとの干渉を避けるために DFS 機能によるチャンネルのサーチが 1 分程度かかります。(ディスプレイ上は「利用チャンネル確認中」が表示されます。)



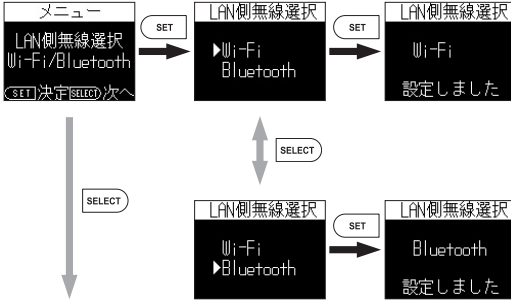
※ 5GHz (屋内) 使用の確認が自動的に表示される場合があります。

(次ページに続く)

→ SELECT ボタンを押す、**→** SET ボタンを押す、
 ⇨⇨⇨ SET ボタンを長押しする、**⇨⇨⇨** 自動で切り替わる

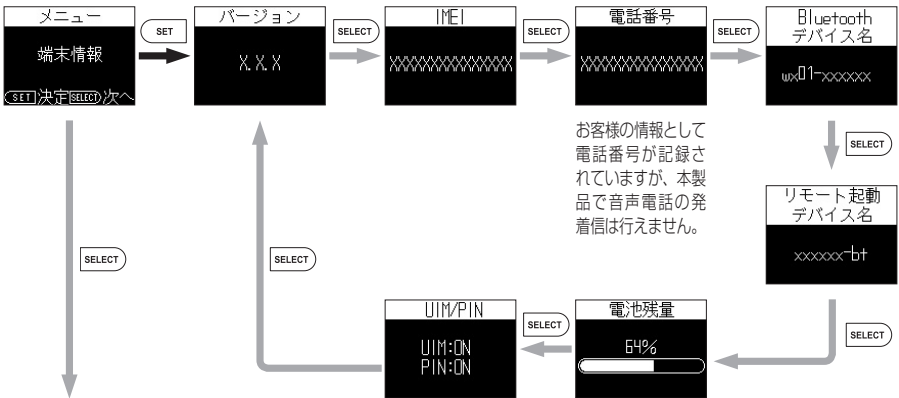
【LAN 側無線選択 Wi-Fi/Bluetooth】

LAN 側の無線機能として Wi-Fi と Bluetooth のいずれかを選択します。



【端末情報】

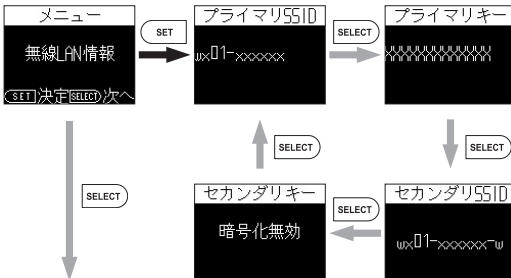
本製品のバージョン情報や Bluetooth デバイス名などの情報を表示します。



【無線 LAN 情報】

ネットワーク名 (SSID) と暗号化キーを表示します。

*プライマリキー/セカンダリキーは、無線 LAN (Wi-Fi®) の設定で暗号化を無効にしている場合、「暗号化無効」と表示されます。



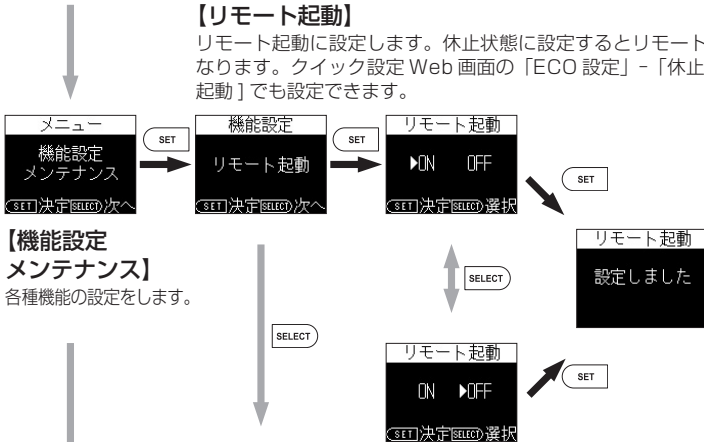
* 暗号化を無効に設定した場合、表示されます。

(次ページに続く)

SELECT ボタンを押す、 SET ボタンを押す、
 SET ボタンを長押しする、 自動で切り替わる

【リモート起動】

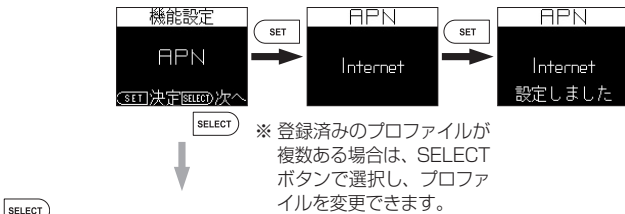
リモート起動に設定します。休止状態に設定するとリモート起動待ちの休止状態になります。クイック設定 Web 画面の「ECO 設定」-「休止状態設定」-[リモート起動]でも設定できます。



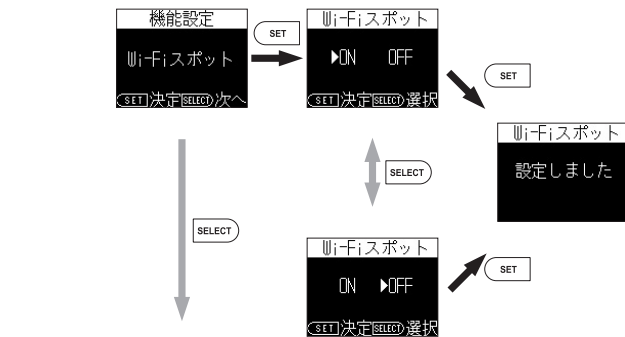
**【機能設定
メンテナンス】**
各種機能の設定をします。

【APN】

登録されているプロフィールを選択します。



【Wi-Fi スポット】

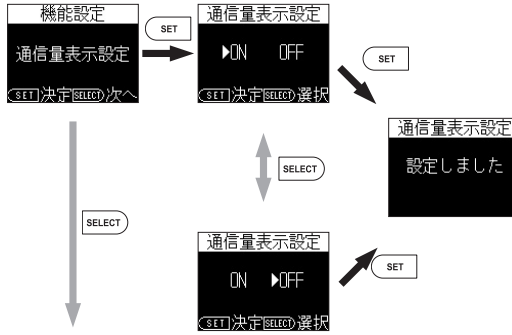


(次ページに続く)

→ SELECT ボタンを押す、→ SET ボタンを押す、
 ⇨ SET ボタンを長押しする、⇨ 自動で切り替わる

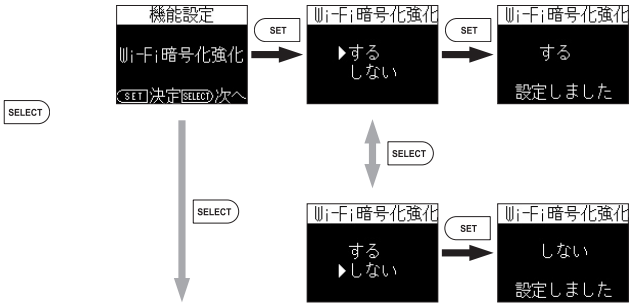
【通信量表示設定】

通信量をディスプレイに通常表示させます。



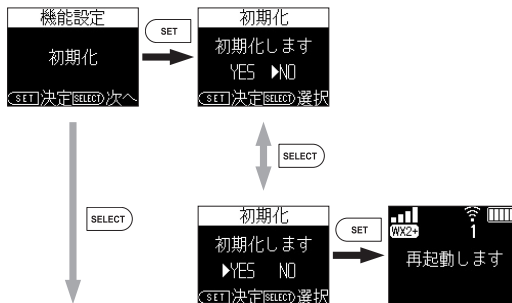
【Wi-Fi 暗号化強化】

無線 LAN (Wi-Fi®) 通信の暗号化を強化する機能です。



【初期化】

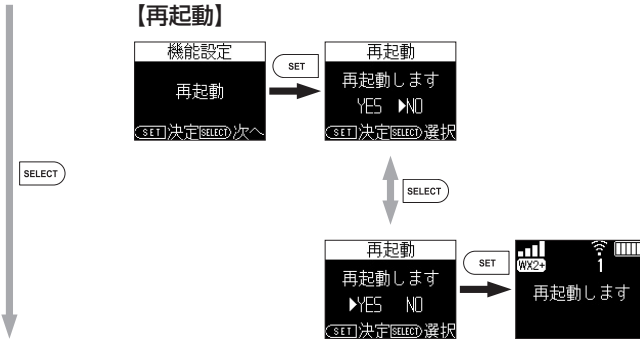
工場出荷時の状態に戻します。



(次ページに続く)

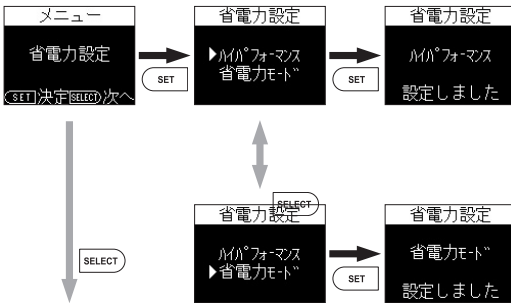
SELECT ボタンを押す、
 SET ボタンを押す、
 SET ボタンを長押しする、
 自動で切り替わる

【再起動】



【省電力設定】

WiMAX 2+ および、無線 LAN (Wi-Fi[®]) の通信速度を制限して省電力化する機能です。



(次ページに続く)

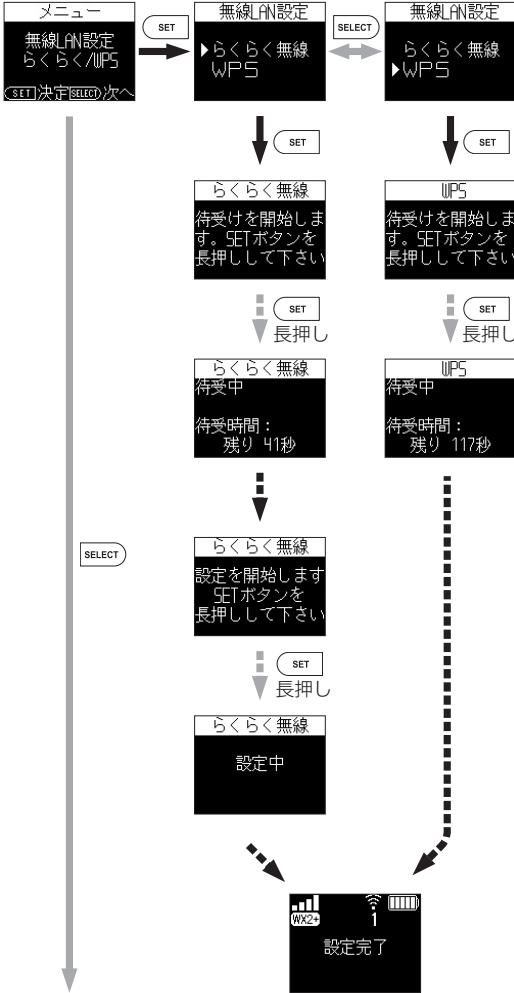
→ SELECT ボタンを押す、→ SET ボタンを押す、
 ⇨ SET ボタンを長押しする、⇨ 自動で切り替わる

【無線 LAN 設定 らくらく /WPS】





LAN 側無線選択 Wi-Fi/Bluetooth で「Wi-Fi」に設定されている場合に表示されます。

らくらく無線と WPS を設定するメニューです。

先に無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末側でらくらく無線スタート、または WPS を起動してから設定を行ってください。

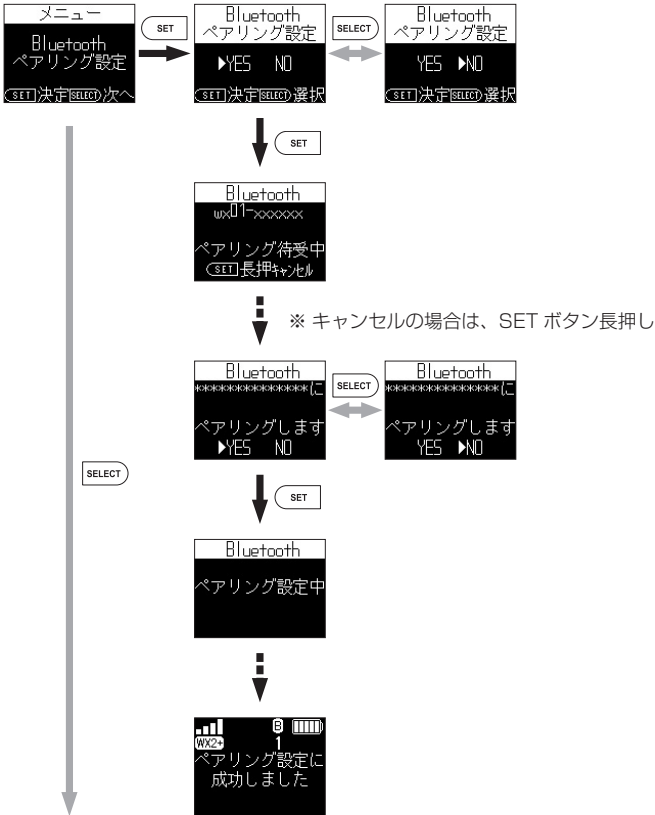


(次ページに続く)

 SELECT ボタンを押す、
 SET ボタンを押す、
 SET ボタンを長押しする、
 自動で切り替わる

【Bluetooth ペアリング設定】

LAN 側無線選択 Wi-Fi/Bluetooth で「Bluetooth」に設定されている場合に表示されます。

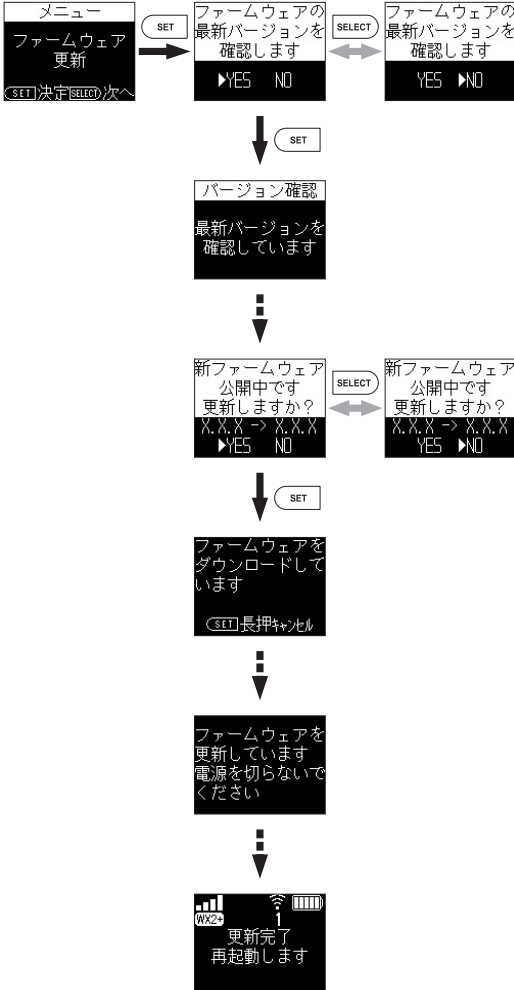


(次ページに続く)

→ SELECT ボタンを押す、 → SET ボタンを押す、
⇄ SET ボタンを長押しする、 ⇄ 自動で切り替わる

【ファームウェア更新】

ファームウェアの更新通知があるときに表示されるメニューです。





お知らせ

本製品のボタンロック機能について

本製品を持ち運ぶときなど、誤操作を防止するためにボタン操作をロックすることができます。ボタン操作をロックした場合、ディスプレイのメニュー操作はできません。

ただし、5GHz（屋外）設定時に利用チャネル確認中でのキャンセルはできません。

また、PIN 未入力や PIN ロック状態では、本機能は設定できません。

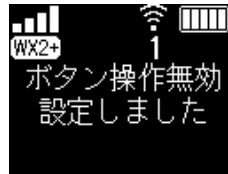
【操作ロック設定】

<通常表示>






SET/SELECT ボタン

SET / SELECT
同時長押し



【操作ロック解除】

ディスプレイが消灯しているときは、SET ボタン  / SELECT ボタン  / 電源ボタン  のいずれかを押ししてください。



SET/SELECT ボタン

SET / SELECT
同時長押し



※ 電源 OFF した場合も解除できます。

項目	メッセージ	内容
WiMAX 2+/WiMAX/Wi-Fi スポット切り替え ※ 1	Wi-Fi スポットへ切替	メニュー操作で WiMAX 2+/WiMAX 接続から Wi-Fi スポット接続に切り替えるときに表示
	WiMAX 2+ WiMAX へ切替	メニュー操作で Wi-Fi スポット接続から WiMAX 2+/WiMAX 接続に切り替えるときに表示
無線 LAN 設定	無線 LAN 帯域切替	メニュー操作で表示
	2.4GHz 帯を使用します	2.4GHz 帯に設定したときに表示
	屋内でのみご利用ください	5GHz 帯 (屋内) に設定したときに表示
	5GHz 帯を使用します	5GHz 帯 (屋外) に設定したときに表示
	レーダー検出により 5GHz 帯 (屋外) を利用できません	5GHz 帯 (屋外) の設定に失敗したときに表示
	利用チャンネル確認中	5GHz 帯 (屋外) で、空いているチャンネルを検出して電波状態の良いチャンネルを自動選択しているときに表示
	無線 LAN 帯域を 2.4GHz に切り替えます	5GHz 帯 (屋外) を検出できないときに表示
	無線 LAN 設定 らくらく /WPS	メニュー操作で表示 LAN 側無線選択で Wi-Fi を選択したときに表示
	らくらく無線	らくらく無線スタートで設定するときに表示
	WPS	WPS で設定するときに表示
	待受けを開始します。 SET ボタンを長押ししてください	無線 LAN (Wi-Fi [®]) 設定するときに表示
	待受中	らくらく無線 /WPS で対象機器がらくらく無線 /WPS の開始を待つときに表示
	設定を開始します SET ボタンを長押ししてください	らくらく無線スタートで無線 LAN (Wi-Fi [®]) 設定中に表示
	設定完了	らくらく無線 /WPS のいずれかで無線 LAN (Wi-Fi [®]) 設定が完了したときに表示
設定失敗	らくらく無線 /WPS のいずれかで無線 LAN (Wi-Fi [®]) 設定が失敗したときに表示	
Bluetooth 設定	Bluetooth ペ어링設定	メニュー操作で表示 LAN 側無線選択で Bluetooth を選択したときに表示
	登録上限のためペ어링情報を削除してください	ペ어링登録数が上限まで登録されて、空きがないときに表示
	ペ어링待受中	本製品の Bluetooth デバイス名が表示され、ペ어링の準備ができたときに表示
	ペ어링設定を中止しました	ペ어링待受中にキャンセルしたときに表示
	xxxxxxxx にペ어링します	無線 LAN (Wi-Fi [®]) 端末とのペ어링を実行するときに表示 ※「xxxxxxxx」はお使いの Bluetooth 搭載端末の機種名やコンピュータ名などが表示されます。
	ペ어링設定中	ペ어링設定中に表示
	ペ어링設定に成功しました	Bluetooth テザリングの設定が完了したときに表示
	ペ어링設定に失敗しました	Bluetooth テザリングの設定が失敗したときに表示

項目	メッセージ	内容
機能設定 ※ 1	機能設定 メンテナンス	メニュー操作で表示
	リモート起動	機能設定 メンテナンスのメニュー操作で表示 リモート起動を使用する / しないを設定する ときに表示
	APN	WiMAX 2+/WiMAX 接続に使用するプロ ファイルを設定するときに表示
	Wi-Fi スポット	Wi-Fi スポットを使用する / しないの設定を するときに表示
	通信量表示設定	通常表示画面にデータ通信量を表示する / し ないを設定するときに表示
	Wi-Fi 暗号化強化	無線 LAN (Wi-Fi®) 通信の暗号化を強化す る / しないを設定するときに表示
	初期化	初期化を実行するときに表示
	初期化します	初期化の選択をするときに表示
	再起動	再起動を実行するときに表示
	再起動します	再起動の選択をするときに表示
省電力設定	省電力設定	メニュー操作で表示
	ハイパフォーマンス	ハイパフォーマンスを設定するときに表示
	省電力モード	省電力モードを設定するときに表示
ファームウェア更 新 ※ 1	新ファームウェア公開中 です 更新しますか？	新しいファームウェアが存在する場合に表示
	ファームウェア更新	メニュー操作でファームウェアの更新がある ときに表示
	ファームウェアの最新 バージョンを確認します	バージョン確認を選択するときに表示
	最新バージョンを確認し ています	ファームウェアのバージョンを確認中に表示
	バージョン確認に失敗し ました	ファームウェアのバージョン確認ができな かったときに表示
	ファームウェアは最新版 です	バージョン確認で、すでに最新のファーム ウェアになっているとき表示
	ファームウェアをダウン ロードしています	ファームウェアの取得中に表示
	ファームウェアのダウン ロードを中止しました	ファームウェアの取得中、キャンセルしたと きに表示
	ファームウェアを更新し ています 電源を切らな いください	ファームウェアの更新中に表示
	更新完了 再起動します	ファームウェアの更新が完了したときに表示
	更新失敗	ファームウェアの更新が失敗したときに表示

項目	メッセージ	内容
情報	端末情報	メニュー操作で表示
	バージョン X.X.X	端末情報のメニュー操作で表示 ファームウェアのバージョンを表示
	IMEI	IMEI を表示
	電話番号	電話番号を表示（本製品で音声電話の発信は行えません。）
	Bluetooth デバイス名	Bluetooth デバイス名を表示
	リモート起動デバイス名	リモート起動デバイス名を表示
	電池残量	電池残量を表示
	UIM/PIN	au Micro IC Card (LTE)、PIN ロックの情報を表示
	無線 LAN 情報	メニュー操作で表示
	プライマリ SSID	プライマリのネットワーク名 (SSID) を表示
	プライマリキー	プライマリの暗号化キーを表示
	セカンダリ SSID	セカンダリのネットワーク名 (SSID) を表示
セカンダリキー	セカンダリの暗号化キーを表示	
起動関連	starting up	起動中に表示
	waking up	休止状態からの復帰中に表示
	休止状態に移行します	休止状態に移行する際に表示
	再起動します	再起動する際に表示
	Power OFF	電源を OFF にする際に表示
	5GHz 帯（屋内）を使用しますか？	休止状態から復帰するときに表示
	PIN 未認証	au Micro IC Card (LTE) が挿入済みで PIN 認証有効な場合に表示
その他	UIM 未挿入	au Micro IC Card (LTE) が挿入されていないとき表示
	利用停止中	ご利用できないカードを挿入したとき、または未契約のとき表示
	コードが違います	PIN コード入力を間違えたとき表示
	PIN ロック	PIN コードを 3 回連続して間違えたとき表示
	ロック解除	PIN コードのロックを解除したとき表示
	PUK ロック	PIN ロック解除コード (PUK) を 10 回連続して間違えたとき表示
	ボタン操作無効	ボタンロック機能を使用中に表示
	電池残量不足	電池残量が 5%以下のときに表示

※ 1 この項目のメッセージは、クレードル（別売）接続時にアクセスポイントモードでご利用の場合は表示されません。



12



付録

12-1 周辺機器のご紹介	12-2
12-2 故障とお考えになる前に	12-3
12-3 アフターサービスについて	12-7
12-4 製品仕様	12-8
12-5 『au Wi-Fi SPOT』利用規約	12-11
12-6 知的財産権について	12-13
12-7 索引	12-14

充電するときやパソコンなどとの接続に使用可能な周辺機器は以下の通りです。

電池パック	NAD31UAA (別売)
WX01クレードル (* 1)	NAD31PUA (別売)
共通 AC アダプタ 03	0301PQA (別売)
共通 AC アダプタ 03 ネイビー	0301PBA (別売)
共通 AC アダプタ 03 グリーン	0301PGA (別売)
共通 AC アダプタ 03 ピンク	0301PPA (別売)
共通 AC アダプタ 03 ブルー	0301PLA (別売)
共通 AC アダプタ 05	0501PWA (別売)
AC Adapter JUPITRIS (ホワイト)	L02P001W (別売)
AC Adapter JUPITRIS (レッド)	L02P001R (別売)
AC Adapter JUPITRIS (ブルー)	L02P001L (別売)
AC Adapter JUPITRIS (ピンク)	L02P001P (別売)
AC Adapter JUPITRIS (シャンパンゴールド)	L02P001N (別売)
microUSB ケーブル 01	0301HVA (別売)
microUSB ケーブル 01 ネイビー	0301HBA (別売)
microUSB ケーブル 01 グリーン	0301HGA (別売)
microUSB ケーブル 01 ピンク	0301HPA (別売)
microUSB ケーブル 01 ブルー	0301HLA (別売)
ポータブル充電器 02 (* 2)	0301PFA (別売)

(* 1) 本製品と WX01クレードル (別売) を接続するときは、クレードル (別売) に同梱されている『WX01 クレードル (NAD31PUA) 取扱説明書』を参照してください。

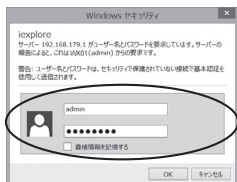
(* 2) ポータブル充電器 02 (別売) では本製品を十分に充電できない可能性があります。

※最新の対応周辺機器については、ご契約された WiMAX 事業者にお問い合わせください。

本書を参照して設定を行っても、インターネット接続ができない場合など、お困りのときは、以下の項目を確認ください。

症 状	原因と対策
充電できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 指定の充電用機器をご使用ください。 ● 以下の状態により、充電できない場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 電池寿命を長持ちさせるために充電を停止することがあります。 ・ 充電は、電池残量が90%以上の状態では充電を開始しません。
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池残量がない場合は、充電してください。
電源が切れてしまった	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池パックの電池残量がありません。充電してください。(▶P1-14) ● 下記のような使用状況により、本体が高温になった場合は、自動的に電源を OFF にします。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 直射日光に当たるところで使用した場合 ・ 高温下で充電しながら使用した場合 ・ かばんなどに入れて密封して使用した場合 その場合、本体温度が下がってから電源を入れてください。
インターネットに接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ● サービスエリア内であることを確認してください。 ● 電波状態が良くない場合があります。電波状態の良い場所でもう一度接続してください。 ● ディスプレイに [WX2+] や [WX] のアイコンが表示されないときは、クイック設定 Web を起動し、インターネット接続が正しく設定されていることを確認してください。 ● WiMAX 事業者から接続先情報が提供されている場合は、正しく設定されているかクイック設定 Web 等で確認してください。 ● Bluetooth 接続していて、いったん接続が切れてしまうと自動で接続できません。手動で再接続してください。
通信がすぐ切れる	<ul style="list-style-type: none"> ● 電波状態が良くない場合があります。電波受信レベルを確認し、電波状態の良いところに移動してください。 ● 電池残量を確認してください。電池残量が少ない場合は、充電してから接続し直してください。 ● 本製品とパソコンなどが無線 LAN (Wi-Fi®) や Bluetooth® および USB ケーブルで正しく接続されているか確認してください。 ● 本製品とパソコンなどが無線 LAN (Wi-Fi®) や Bluetooth® で接続している場合は、本製品を再起動してください。 ● 周辺に複数のアクセスポイントが設置されているなど、他のネットワークからの電波干渉がある場合は、本製品の「使用チャンネル」を変更することで改善される場合があります。
通信速度が遅く感じる	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続先が混雑している場合があります。時間を置いて再度試してください。 ● 近くに隣接する無線チャンネルを使っている人がいる、または「チャンネル状況」には表示されないデジタルコードレス電話機、ワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボード、Bluetooth などの電波を放射する装置で電波干渉がある。 <ul style="list-style-type: none"> → クイック設定 Web を起動して [無線 LAN 設定] - [無線 LAN 設定] の [無線 LAN アクセスポイント (親機) 設定] で「使用チャンネル」の番号を変更します。設定値の目安として、他の無線設備が使用しているチャンネルから 4 チャンネル以上ずらすようにしてください。 ● 本製品と無線 LAN (Wi-Fi®) 端末が近すぎる <ul style="list-style-type: none"> → 1m 以上離してください。

症 状	原因と対策
Wi-Fi スポットに接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ● Wi-Fiスポットが設定されているか確認してください。(●P4-4) ● Wi-Fi スポットサービスエリア内であることを確認してください。 ● 契約しているプロバイダのご契約状況を確認してください。
無線 LAN (Wi-Fi [®]) 接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスプレイメニューまたはクイック設定 Web 画面で「Wi-Fi 暗号化強化」を「しない」に設定することで接続できる場合があります。
Bluetooth 接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 複数台接続した状態からペアリングを行う際、接続台数が 7 台以下でもペアリングできないときがあります。その場合は、他の Bluetooth 搭載端末を切断してからペアリングを行ってください。
WWW ブラウザ画面のアドレスに「http:192.168.179.1/」と入力してもクイック設定 Web が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ● プロキシの設定をしていませんか → プロキシの設定をしている場合、受け付けが拒否されます。Internet Explorer の場合以下の設定を行ってください。 ① [ツール] - [インターネットオプション] - [接続] - [LAN の設定] の順にクリックする ② [LAN にプロキシサーバーを使用する]の[詳細設定]をクリックして、例外に「http://192.168.179.1/」を入れる ● お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。(●P1-17) ● 無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続してクイック設定 Web を表示させる場合、セカンダリ SSID に無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続していると、クイック設定 Web は表示できません。その場合は、AES の暗号化モードに対応した無線 LAN (Wi-Fi[®]) 端末からプライマリ SSID に無線 LAN (Wi-Fi[®]) 接続してクイック設定 Web を表示してください。 ● 本製品をクレードル (別売) から外してルータモードにしてからクイック設定 Web を開いてください。
本製品のクイック設定 Web が開かない	<ul style="list-style-type: none"> ● JavaScript が無効に設定されている → WWW ブラウザの設定で JavaScript を有効に設定してください。(●P1-24) ● IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してみてください。
WWW ブラウザでクイック設定 Web にアクセスすると、ユーザー名と管理者パスワードを要求される	<ul style="list-style-type: none"> ● WWW ブラウザでクイック設定 Web にアクセスすると、ユーザー名と管理者パスワードを要求されます。 → 「ユーザー名」(上段)には、「admin」を入力してください。「パスワード」(下段)には、WWW ブラウザでクイック設定 Web に最初にアクセスした際に、登録したパスワードを入力してください。(●P2-6)



症 状	原因と対策
管理者パスワードを忘れてしまった	<p>●本製品を工場出荷状態に初期化してください。この場合、設定した値はすべて初期値に戻ってしまいます。(●P8-2) ただし、クイック設定 Web の「メンテナンス」－「設定値の保存&復元」で以前の設定値をファイルに保存してあると簡単に復元させることができます。設定変更する場合は設定値を保存しておくことをお勧めします。(●P9-43)</p>
使用可能状態において突然「IP アドレス 192.168.179.XXX は、ハードウェアのアドレスが...と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された	<p>● [OK] をクリックして次の手順で IP アドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、他のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記の手順を行って IP アドレスを再取得してください。</p> <p>< IP アドレスの再取得 ></p> <p>< Windows 8.1/8/7/Windows Vista の場合 ></p> <ol style="list-style-type: none"> ① [スタート]画面上で右クリックして [すべてのアプリ] をクリックし、[アプリ]画面にある [コマンドプロンプト] を右クリックし、[管理者として実行] をクリックする ※ Windows 7/Windows Vista の場合は、[スタート] (Windows のロゴボタン)－[すべてのプログラム]－[アクセサリ]－[コマンドプロンプト] を右クリックし、[管理者として実行] をクリックします。 ② ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[はい] または [続行] をクリックする ③ [ipconfig/release] と入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを解放する ④ [ipconfig/renew] と入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを取り直す ⑤ IPv4 アドレスが「192.168.179.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字) <p>< Mac OS X の場合 ></p> <p>以下は Mac OS X v10.10 の場合の例です。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① アップルメニューの [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択する ② [ネットワーク] 画面で [Wi-Fi] を選択し、[詳細] をクリックする ③ [TCP/IP] タブをクリックする ④ [DHCP リースを更新] をクリックし、IPv4 アドレスが「192.168.179.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字) <p>< iOS の場合 ></p> <p>以下は iOS 8.0 の場合の例です。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「ホーム」画面の「設定」アイコンをタップする ② 設定メニューの「Wi-Fi」をタップする ③ チェックが入っている接続中のネットワーク名 (SSID) の右側にある (i) ボタンをタップする ④ 「DHCP リースを更新」をタップする ⑤ 「リースを更新しますか？」をタップする
本製品のバージョンを確認したい	<p>●クイック設定 Web トップページ上の「装置情報」欄で確認します。</p>

症 状	原因と対策
ブラウザからの応答がなくなりました	<ul style="list-style-type: none"> ● クイック設定 Web では、[設定] をクリックすると設定値は即時有効となりますので、[詳細設定] - [LAN 側設定]、または [無線 LAN 設定] - [無線 LAN 設定] の変更では、[設定] をクリックするとブラウザからの応答がなくなる場合があります。その場合は、いったんクイック設定 Web を終了させてください。(無線 LAN 設定を変更した場合は、本製品と無線 LAN (Wi-Fi®) 端末との無線設定をし直して、接続を確立させてください。) その後、再度クイック設定 Web を起動し(●P2-4)、[保存] をクリックしてください。(本製品の IP アドレスを変更した場合は、再度クイック設定 Web を起動する際、変更した IP アドレスを入力してください。) なお、[保存] をクリックせず、本製品の電源を OFF したり、再起動したりすると、設定値が失われますのでご注意ください。
本製品をクレードル (別売) に設置すると再起動する	<ul style="list-style-type: none"> ● 無線 LAN アクセスポイントモードになっています。本製品をクレードル (別売) から着脱するたびに再起動します。無線 LAN アクセスポイントモードを無効にする場合は、クイック設定 Web の「詳細設定」 - 「その他の設定」で [クレードル接続時の動作モード設定] で「使用する」のチェックを外してください。(●P9-41)
本製品を工場出荷時の状態に戻したい	<ul style="list-style-type: none"> ● 本製品のディスプレイメニューにて「初期化」を選択します。(●P8-2) 本製品を初期化すると、すべての設定内容が工場出荷時の状態に戻ります。

ご契約された WiMAX 事業者にお問い合わせください。

Speed Wi-Fi NEXT WX01 本体仕様

項目		諸元および機能		備考
WiMAX 2+/ WiMAX インタ フェース	WiMAX 2+	周波数範囲/ BW	2.6GHz 帯 (2,605 ~ 2,645MHz) /20MHz	
		伝送方式	OFDMA 方式	
		伝送速度 (*1)	最大下り 220Mbps、上り 10Mbps	
		最大出力	23dBm	
		アンテナ	送信 1 × 受信 4 (内蔵アンテナ)	
	WiMAX (IEEE802.16e- 2005)	周波数範囲/ BW	2.5GHz 帯 (2,595 ~ 2,625MHz) /10MHz	
		伝送方式	OFDMA 方式	
		伝送速度 (*1) (*5)	最大下り 40Mbps、上り 15.4Mbps	
		最大出力	26dBm	
		アンテナ	送信 1 × 受信 2 (内蔵アンテナ)	
無線 LAN (Wi- Fi®) インタ フェース	IEEE802.11ac	周波数範囲/ チャンネル	5GHz 帯 W52、W53、W56 (*4)	
		伝送速度 (*1)	最大 867Mbps	
	IEEE802.11n	周波数範囲/ チャンネル	2.4GHz 帯 2,400 ~ 2,472MHz 1 ~ 13ch (*2) 5GHz 帯 W52、W53、W56 (*4)	
		伝送速度 (*1)	最大 300Mbps	
	IEEE802.11a	周波数範囲/ チャンネル	5GHz 帯 W52、W53、W56 (*4)	
		伝送速度 (*1)	最大 54Mbps	
	IEEE802.11g	周波数範囲/ チャンネル	2.4GHz 帯 2,400 ~ 2,484MHz 1 ~ 13ch (*2)	
		伝送速度 (*1)	最大 54Mbps	
	IEEE802.11b	周波数範囲/ チャンネル	2.4GHz 帯 2,400 ~ 2,484MHz 1 ~ 13ch (*2)	
		伝送速度 (*1)	最大 11Mbps	
アンテナ	送信 2 × 受信 2 (内蔵アンテナ)			
セキュリティ	SSID、MAC アドレスフィルタリング、ネットワーク分離機能、WEP (128bit)、WPA2-PSK (AES)、WPA/WPA2-PSK (AES)、WPA/WPA2-PSK (TKIP/AES)			
最大同時接続数		Wi-Fi : 10 台 / USB : 1 台 / Bluetooth : 7 台		
Bluetooth インタフェース	対応バージョン	Bluetooth 4.0 ワイヤレステクノロジー準拠		
	周波数範囲	2.4GHz 帯 2402 ~ 2480MHz 79ch		
外部インタ フェース	USB ポート	USB ポート (microB-type) × 1		USB2.0 推奨 (*3)
	クレードルポート	USB ポート兼用		
	SIM カードス ロット	au Micro IC Card (LTE) × 1		

項目		諸元および機能	備考
USB インタフェース	物理インタフェース	USB コネクタ (micro B-type) × 1	USB2.0 推奨 (*3)
	クレードルポート	USB ポート兼用	
連続動作時間	一般通信時 (Wi-Fi 接続)	WiMAX 2+ (4 × 4 MIMO 通信) : 約 400 分 WiMAX 2+ (2 × 2 MIMO 通信) : 約 520 分 (省電力設定時) WiMAX : 約 680 分	
	一般通信時 (Bluetooth接続)	WiMAX 2+ (4 × 4 MIMO 通信) : 約 480 分 WiMAX 2+ (2 × 2 MIMO 通信) : 約 620 分 (省電力設定時) WiMAX : 約 810 分	
	休止状態 (リモート起動・有り)	約 400 時間	
	休止状態 (リモート起動・無し)	約 650 時間	
	ウェイトング時	約 35 時間	
ヒューマンインタフェース	ディスプレイ	有機 EL ディスプレイ (モノクロ) 約 1.0 インチ	
	ボタン	電源ボタン × 1、SET ボタン × 1、SELECT ボタン × 1	
外形寸法	約 109 (W) × 66 (H) × 9.0 (D) mm		
電池	電池パック (リチウムイオン電池) 定格 3.8V 2500mAh		
電源	AC アダプタ AC100V ~ 240V ± 10%、50/60Hz		
消費電力	最大 約 8 W		本体のみ
質量	約 97g		電池パック装着時
動作環境	温度 5 ~ 35℃、湿度 35 ~ 85%		結露しないこと
充電時間	約 180 分 (同梱の AC アダプタ使用時)		

(*1) : 規格による理論上の速度であり、ご利用環境や接続機器などにより実際のデータ通信速度は異なります。

(*2) : オートチャネルセレクト時は、1 / 6 / 11ch

(*3) : USB1.1 の環境では十分なデータ転送速度が得られないため、USB2.0 以上でのご使用をお勧めします。なお、対応しているすべてのパソコンについて動作保証するものではありません。

(*4) : [W52] 5.2GHz 帯 (5150 ~ 5250MHz) : 36 / 40 / 44 / 48ch ※屋内限定
[W53] 5.3GHz 帯 (5250 ~ 5350MHz) : 52 / 56 / 60 / 64ch ※屋内限定
[W56] 5.6GHz 帯 (5470 ~ 5725MHz) : 100 / 104 / 108 / 112 / 116 / 120 / 124 / 128 / 132 / 136 / 140ch

(*5) : 2015 年 2 月 12 日 (木) 以降、エリアごとに WiMAX の下り速度は最大 40Mbps から最大 13.3Mbps に順次切り替わります。

AC アダプタ仕様

項目		諸元および機能		備考
ACアダプタ部	電源仕様	入力電圧	AC100 ~ 240V (50/60Hz)	
		出力電圧/電流	DC5.0V/1.0A	USB A コネクタ
	外形寸法	約 47 (W) × 54 (H) × 19 (D) mm		
	質量	約 41g		
microUSB ケーブル部	コード長さ	約 1.0m		
	質量	約 30g		
	インターフェイス	USB プラグ: A タイプ microUSB プラグ: B タイプ		

クレードル (別売) 仕様

項目		諸元および機能		備考
ETHERNET ポート	物理インタフェース	8 ピンモジュラージャック (RJ-45) × 1 ポート		
	インタフェース	1000BASE-T/100BASE-TX		
	伝送速度	1000Mbps/100Mbps		
	全二重/半二重	全二重/半二重		
AC アダプタ接続ポート	物理インタフェース	USB コネクタ (micro B-type) × 1 ポート	※ USB 通信はできません。	
ヒューマンインタフェース	状態表示	POWER	電源通電時点灯	
	ランプ	LINK	有線 LAN の通信状態表示	
クレードルポート (本体とのインタフェース)		USB コネクタ (micro B-type) × 1 ポート		
外形寸法		約 117 (W) × 27 (H) × 37 (D) mm		
質量		約 55g		

『au Wi-Fi SPOT』のご利用にあたっては、以下の利用契約の内容を承諾の上、ご利用ください。

株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレス（以下「当社」といいます。）は、この利用規約（以下「本規約」といいます。）に従って、KDDI 株式会社、沖縄セルラー電話株式会社又は KDDI・沖縄セルラーの通信設備などを使用して通信サービスを提供する通信事業者（以下「KDDI 等」といいます。）の通信サービスの契約者（以下の③項に定める条件を満たす契約者に限ります。以下「提供対象者」といいます。）に対して、『au Wi-Fi SPOT』（以下「本サービス」といいます）を提供します。お客さまは、ご利用開始後、本規約を遵守する義務を負うものとなります。

(1) 当社は、本サービスの提供にあたり、本規約のほか、別に定める「公衆無線 LAN サービス契約約款」及び「利用規約」の適用を受けます。本規約の規定と「公衆無線 LAN サービス契約約款」及び「利用規約」の規定が抵触する場合は、本規約の規定が優先して適用されます。

また、KDDI 等が本サービスに関して制定するご利用条件等は本規約の一部を構成し、本サービスを利用するもの（以下「お客さま」といいます。）はこれを遵守する義務を負います。当社及び KDDI 等は、当該規定及びご利用条件等を本サービス用の Web 等への掲載、又はその他の合理的な方法により告知します。

(2) 当社は、本サービス及び本規約を予告なく改訂、追加、変更又は廃止することができるものとします。

(3) 本サービスの提供対象者と利用可能エリアは、KDDI 等の本サービス用の Web 等で掲載します。

(4) 本サービスの提供は③項で指定する条件が満たされなくなった場合、自動的に終了するものとします。また、お客さまが本規約に違反した場合、お客さまに対する本サービスの提供を停止し又は終了することができるものとします。

(5) 本サービスは、KDDI 等が本サービス用に提供するアプリケーションを搭載した Wi-Fi 搭載機器で利用できます。
お客さまは、自己の責任と負担において、本サービスを利用するために必要な Wi-Fi 搭載機器を保持管理するものとします。

(6) 国際ローミングサービスの取扱いは次によります。

① お客さまは、国際ローミングサービスの利用にあたり、関連する法令、提携事業者が定める約款等を遵守するものとします。なお、日本国外における国際ローミングサービスの利用に関しては、当社約款および本規約の定めにかかわらず、関係国の法令または提携事業者その他の電気通信事業者等が定める約款等により、その利用が制限等されることがあります。

② お客さまは、自己の責任に基づき国際ローミングサービスを利用するものとし、国際ローミングサービスの利用結果等について、全責任を負うものとします。

③ 当社は、国際ローミングサービスについて、その正確性、完全性、有用性等に関し、何らの保証責任および瑕疵担保責任を負わないものとします。

④ お客さまは、国際ローミングサービスの利用に伴って、第三者から問合せ、クレームもしくは損害賠償その他の権利の侵害等（知的財産権その他の権利の侵害等をいう。）の紛争等の請求を受け、または第三者に対して問合せ、クレームもしくは損害賠償等の請求を行う場合は、自己の責任と費用をもって処理解決するものとし、当社は、一切の責任を負わないものとします。

- ⑤ お客さまは、本規約への違反その他自らの責に帰すべき事由により、当社または第三者に対して損害を与えた場合、その損害を賠償するものとします。
- (7) 国際ローミングサービスの利用可能エリアと通信料金等は、次によります。なお、ご契約のプランによっては国際ローミングサービスがご利用になれませんので、Web 等でご確認ください。
- 1) 利用可能エリア（国、地域等）は Web 等に掲載します。
 - 2) 通信料金は、別に定める「公衆無線 LAN サービス契約約款」にて規定した料金が適用されます。なお、国際ローミングサービスの通信料金は渡航先の通信事業者及び当社の機器によりログイン時刻とログアウト時刻までを測定し、そのデータに基づき算定します。利用終了時には Wi-Fi 接続中にアプリよりログアウト操作をしてください。ログアウト操作しない場合は渡航先の通信事業者が一定時間経過後にログアウト処理を行うまで課金される可能性があります。
- (8) 本サービスの利用により生じた債権は当社が KDDI 等に譲渡し、その債権額を KDDI 等から請求します。
- (9) 本サービスに関する著作権等を含む一切の権利は、当社又は第三者に帰属します。お客さまは本サービスに関する当社及び第三者の権利を侵害したり又はそのおそれがあるような行為を一切行ってはならないものとします。
- (10) お客さまは、本規約に係るいかなる権利又は義務も第三者に移転又は譲渡することはできません。
- (11) 本サービスの利用にあたり、当社が KDDI 等からお客さまの氏名・契約電話番号及び契約の料金プランの情報等の開示を受けることを承諾していただきます。
- (12) 当社が提供するサービスを通じて取得した個人情報とは、次の目的の為に利用させていただきます。
- サービスの紹介、提案、および申込受付のため
 - サービスの申込に基づくご本人さまの確認等のため
 - サービスや契約の期日管理等、継続的なお取引における管理のため
 - サービスの提供に関する妥当性の判断のため
 - 他の事業者等から個人情報の処理の全部または一部について委託された場合等において、委託された当該業務を適切に遂行するため
 - お客さまとの契約や法律等に基づく権利の行使や義務の履行のため
 - 市場調査やデータ分析等によるサービスの向上や開発のため
 - ダイレクトメールの発送等、サービスに関する各種ご提案やご案内のため
 - サービスの終了後の管理のため
 - その他お客さまのお取引を適切かつ円滑に履行するため
- (13) 本サービス又は本規約に関してお客さまとの間で疑義又は争いが生じた場合には、誠意をもって協議することとしますが、それでもなお解決しない場合には「東京地方裁判所」又は「東京簡易裁判所」を専属の管轄裁判所とします。

附則 本改訂規約は、2013年10月31日から実施します。

商標について

- らくらく無線スタート、らくらくQRスタートは、NECプラットフォームズ株式会社の登録商標です。
- Windows、Windows Vista[®] は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows Vista はオペレーティングシステムです。
- Mac、Macintosh、Mac OS、OS X、AirMac、iPad、iPhone、iPod、iPod touch、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iPhone 商標はアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- インテル、Intel は、米国およびその他の国におけるインテルコーポレーションの商標です。
- Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Android は、Google Inc. の商標または登録商標です。
- Firefox[®] は、米国 Mozilla Foundation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Opera は、Opera Software ASA の商標または登録商標です。
- 「PlayStation」、「プレイステーション」、「PS3」および「PSP」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
「PS4」は同社の商標です。
また、「プレイステーション 3」、「プレイステーション 4」、「PSP[®]「プレイステーション・ポータブル」」および「Play Station[®]Vita」は同社の商品です。
©Sony Computer Entertainment Inc.
- Wii、Wii U、ニンテンドー DS、ニンテンドー 3DS は任天堂の登録商標または商標です。
- Bluetooth は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。
- Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Adobe Reader、Acrobat Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 「QR コード」は、株式会社デンソーウェブの登録商標です。
- その他、各会社名、各製品名およびサービス名などは各社の商標または登録商標です。

© NEC Platforms, Ltd. 2015

NECプラットフォームズ株式会社の許可なくソフトウェア、および取扱説明書の全部または一部を複製・改版、および複製物を配布することはできません。

【数字】

2.4GHz 帯 20
 5GHz 帯 21、5-13

【A ~ Z】

AC アダプタ
 1-4、1-14、12-2、12-10
 AC アダプタ接続ポート 1-9、12-10
 AES 6-3
 au Micro IC Card (LTE) 13、1-10
 取り付け 1-10
 取り外し 1-11
 『au Wi-Fi SPOT』利用規約 12-11
 Bluetooth 1-3、3-32
 Bluetooth インタフェース 12-8
 Bluetooth 設定 9-23、11-12
 Bluetooth ペアリング 9-23、11-9
 DHCP 固定割当設定 9-29
 DHCP サーバ機能 9-25
 DHCP 除外設定 9-28
 ECO 5-4、9-24、10-14
 ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)
 6-4、9-14、9-17
 ETHERNET ポート 1-9、12-10
 IEEE802.11a 12-8
 IEEE802.11ac 12-8
 IEEE802.11b 12-8
 IEEE802.11g 12-8
 IEEE802.11n 12-8
 IPv4 パケットフィルタ設定 9-30
 IPv6 パケットフィルタ設定 9-33
 IP パケットフィルタリング 5-19
 JavaScript 1-24
 LAN 側設定 9-25
 LAN 側無線状態 1-7
 LAN 側無線設定 9-27
 LAN 側無線選択 11-4
 LINK ランプ 1-8
 MAC アドレスフィルタリング
 6-4、9-14、9-17、9-18

microUSB ケーブル
 1-4、12-2、12-10
 microUSB ポート 1-5
 NAPT 6-5、6-6、9-39
 PING テスト 9-46
 PIN コード管理 9-47
 PIN 方式 3-28、9-20、10-13
 POWER ランプ 1-8
 PING テスト 9-46
 SELECT ボタン 1-5、3-2、11-2
 SET ボタン 1-5、3-2、11-2
 SIM カードスロット 1-5
 TKIP 6-3
 UPnP 5-19、9-40、9-52
 USB インタフェース 12-9
 USB で接続する 1-2、3-30
 VPN 5-15、9-40
 WEP 6-3
 Wi-Fi 暗号化強化 9-15、11-6
 Wi-Fi スポット 4-4、11-12、11-13
 Wi-Fi スポット設定 9-21
 WiMAX 2+/WiMAX 4-2、11-12、12-8
 WPS 3-27、9-20、10-13
 WWW ブラウザの設定 1-22

【ア行】

アドバンスド NAT (IP マスカレード /
 NAPT) 6-5
 アフターサービス 12-7
 暗号化 6-3
 暗号化キー 3-3
 安全上のご注意 5
 ウェイティング 5-4、9-24、10-15

【カ行】

外部インタフェース 12-8
 各種機能の詳細設定 9-6、10-6
 各部の名称とはたらき 1-5
 管理者パスワードの変更 9-42、10-17
 起動関連 11-14
 機能設定 11-5、11-13
 基本設定 9-7、9-21、10-7

- 基本的な操作…………… 2-2
- 休止状態
 …… 1-7、5-5、5-11、9-24、10-15
- クイック設定 Web…………… 2-4、9-2
 ～画面でのバージョンアップ…………… 7-4
 ～で初期化する…………… 8-3
 ～のトップページ… 2-5、9-3、10-3
 ～を起動する…………… 2-4、9-2、10-2
- クレードル…………… 1-3、1-8、12-10
- クレードルポート…………… 1-8、12-10
- 現在の状態…………… 9-51
- 故障とお考えになる前に…………… 12-3
- [サ行]**
- 再起動…………… 9-50、11-7
- 自動省電力…………… 5-4、9-24、10-15
- 充電時間…………… 1-15、12-9
- 充電のしかた…………… 1-14
- 周辺機器のご紹介…………… 12-2
- 詳細設定… 2-6、9-4、9-6、9-25、10-5、
 10-6、10-16
- 各種機能の～…………… 9-6、10-6
 ～にログイン…………… 2-6、9-4
 ～のトップページ設定画面
 ……………… 2-7、9-5、10-5
- 省電力設定…………… 11-7、11-13
- 情報…………… 9-51、11-14
 スマートフォンアプリで～を見る… 5-6
- 初期化…………… 8-2、9-44、10-18、11-6
 クイック設定 Web で～…………… 8-3
 設定値の～…………… 9-44、10-18
 ディスプレイメニューで～…………… 8-2
- スマートフォンアプリ…………… 5-6
- スマートフォン用クイック設定 Web… 10-2
 ～起動する…………… 10-2
 ～のトップページ…………… 10-3
- 静的ルーティング…………… 9-37
- 製品仕様…………… 12-8
- セキュリティ機能…………… 6-2
- 接続先設定…………… 4-2、4-5、9-22
- 接続状態…………… 1-6
- 接続する…………… 3-2、3-30、3-32
 iPhone/iPod touch/iPad/
 iPad mini を～…………… 3-11
 Mac を～…………… 3-8
 PlayStation®Vita を～…………… 3-22
 PSP®「プレイステーション・ポータブル」
 を～…………… 3-24
 Wii U を～…………… 3-18
 Wii を～…………… 3-21
 Windows パソコンを～…………… 3-4
 WPS 対応の無線 LAN (Wi-Fi®)
 端末を～…………… 3-27
 スマートフォンを～…………… 3-9
 タブレット (Android) を～…………… 3-9
 ニンテンドー 3DS LL/3DS/DSi/
 DS Lite/DS を～…………… 3-14
 「プレイステーション 3」を～…………… 3-25
 「プレイステーション 4」を～…………… 3-26
 無線 LAN (Wi-Fi®) で～…………… 3-2
- 接続設定…………… 9-8、10-8
- 接続端末の準備…………… 1-17
- 設定値の初期化…………… 9-44、10-18
- 設定値の保存&復元…………… 9-43
- 設定モード…………… 11-2
- [タ行]**
- ダイナミックポートコントロール…………… 6-6
- 端末情報…………… 11-4
- 知的財産権…………… 12-13
- 通信情報ログ…………… 9-52
- 通信量カウンター…………… 9-11
- 通信量表示設定…………… 11-6
- ディスプレイの表示説明…………… 1-6、11-12
- ディスプレイメニューの使いかた
 ……………… 2-2、11-2
- データ通信量…………… 1-7
- 電源 ON/OFF のしかた…………… 1-16
- 電源ボタン…………… 1-5
- 電池残量…………… 1-14、1-15
- 電池状態…………… 1-7

電池パック	11、1-4、1-12
取り付け	1-12
取り外す	1-12
電波受信レベル	1-6

【ナ行】

ネットワーク設定	9-7、10-7
ネットワーク分離機能	6-5
ネットワーク名 (SSID)	3-2

【ハ行】

バージョンアップ	7-2、7-4
箱の中身をチェックしよう	1-4
パソコンのネットワークの確認	1-20
ヒューマンインタフェース	12-9、12-10
ファームウェア更新	1-6、9-45、10-16、10-19、 11-10、11-13
ファイアウォール	1-17
不正アクセス検出	6-6
プロファイル設定	9-9、10-9
便利な機能	5-15
ポートマッピング	5-19、9-35
本製品の使いかた	1-2

【マ行】

マニュアル	9-53
無線 LAN (Wi-Fi®)	1-2、3-2
無線 LAN (Wi-Fi®) 帯域	1-6
無線 LAN 情報	3-2、11-4
無線 LAN 設定	9-12、10-11、11-8、 11-12
無線 LAN 帯域切替	11-3
無線スリープ	5-4
メッセージ	1-7
メンテナンス	9-42、10-17、11-5
目次	23

【ヤ行】

有線 LAN	1-3
--------	-----

【ラ行】

らくらく QR スタート	5-2
らくらくスタートボタン	1-5
らくらく無線スタート	3-2
ランプ表示	1-8
リチウムイオン電池	11、18
リモート起動	5-11、9-24、10-15、11-5

■本製品で使用しているソフトウェアについて

本製品には、GNU General Public License (GPL) または GNU Lesser General Public License (LGPL) に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLまたはLGPLにしたがい、複製、頒布および改変することができます。詳細は、WiMAX Support Information ホームページを参照してください。

■ cgi

Copyright (c) 1996-1998
John-Mark Gurney. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
This product includes software developed by John-Mark Gurney
4. Neither the name of the author nor the names of any co-contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY John-Mark Gurney AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ dhcp-isc 4.1

Copyright (c) 2004-2014 by Internet Systems Consortium, Inc. ("ISC")
Copyright (c) 1995-2003 by Internet Software Consortium

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND ISC DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL ISC BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Internet Systems Consortium, Inc.
950 Charter Street
Redwood City, CA 94063
<info@isc.org>
<https://www.isc.org/>

■ expat 1.95.7

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd
and Clark Cooper
Copyright (c) 2001, 2002 Expat maintainers.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the Software), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

■ Flex 2.5

Flex carries the copyright used for BSD software, slightly modified because it originated at the Lawrence Berkeley (not Livermore!) Laboratory, which operates under a contract with the Department of Energy.

Copyright (c) 1990 The Regents of the University of California.
All rights reserved.

This code is derived from software contributed to Berkeley by Vern Paxson.

The United States Government has rights in this work pursuant to contract no. DE-AC03-76SF00098 between the United States Department of Energy and the University of California.

Redistribution and use in source and binary forms with or without modification are permitted provided that: (1) source distributions retain this entire copyright notice and comment, and (2) distributions including binaries display the following acknowledgement: "This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors" in the documentation or other materials provided with the distribution and in all advertising materials mentioning features or use of this software. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

This basically says "do whatever you please with this software except remove this notice or take advantage of the University's (or the flex authors') name".

Note that the "flex.ski" scanner skeleton carries no copyright notice.

You are free to do whatever you please with scanners generated using flex; for them, you are not even bound by the above copyright.

■ **http_client**

Copyright (c) 1998 Dag-Erling Coodan Smxrgvr
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in this position and unchanged.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ **lperf 2.0.0**

Copyright (c) 1999,2000,2001,2002,2003,2004,2005 The Board of Trustees of the University of Illinois
All Rights Reserved.

lperf performance test

Mark Gates
Ajay Tirumala
Jim Ferguson
Jon Dugan
Feng Qin
Kevin Gibbs
John Estabrook
National Laboratory for Applied Network Research
National Center for Supercomputing Applications
University of Illinois at Urbana-Champaign
<http://www.ncsa.uiuc.edu>

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software (lperf) and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimers.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimers in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the names of the University of Illinois, NCSA, nor the names of its contributors may be used to endorse or

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE CONTRIBUTORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

■ **libffi 3.0.13**

libffi - Copyright (c) 1996-2012 Anthony Green, Red Hat, Inc and others.
See source files for details.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

■ **libmrvlencrypt**

Copyright (C) 2002-2006, Jouni Malinen <jkmaline@cc.hut.fi>
Copyright (C) 2003-2005, Jouni Malinen <jkmaline@cc.hut.fi>
Copyright (C) 2004-2005, Jouni Malinen <jkmaline@cc.hut.fi>
Copyright (C) 2003-2006, Jouni Malinen <jkmaline@cc.hut.fi>
Copyright (C) 2005-2006, Jouni Malinen <jkmaline@cc.hut.fi>
Copyright (C) 2006, Jouni Malinen <j@w1.fi>

Copyright (C) 2006-2007, Marvell International Ltd. and its affiliates
Copyright (C) 2009, Marvell International Ltd. and its affiliates
All rights reserved.

1. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
2. Neither the name of Jouni Malinen, Marvell nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

@author Vincent Rijmen <vincent.rijmen@esat.kuleuven.ac.be>
@author Antoon Bosselaers <antoon.bosselaers@esat.kuleuven.ac.be>
@author Paulo Barreto <paulo.barreto@terra.com.br>

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ libpcap 1.1.1
License: BSD

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The names of the authors may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

■ libxml2 2.7.6

Except where otherwise noted in the source code (e.g. the files hash.c, list.c and the trio files, which are covered by a similar licence but with different Copyright notices) all the files are:

Copyright (C) 1998-2012 Daniel Veillard. All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights in the Software without restriction, including without limitation the rights copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

■ mini_httpd

Copyright 1999,2000 by Jef Poskanzer <jef@acme.com>.
All rights reserved.
Copyright(C) 1995 by Jef Poskanzer <jef@acme.com>.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (c) 1991, 1993
The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1989, 1993
The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ MiniUPnPd 1.8
MiniUPnPd
Copyright (c) 2006-2011, Thomas BERNARD
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ MII interface

Copyright (c) 1997 Manuel Bouyer. All rights reserved.

Modification to match BSD/OS 3.0 MII interface by Jason R. Thorpe,
Numerical Aerospace Simulation Facility, NASA Ames Research Center.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
This product includes software developed by Manuel Bouyer.
4. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (c) 1998, 1999, 2000, 2001 The NetBSD Foundation, Inc.
All rights reserved.

This code is derived from software contributed to The NetBSD Foundation by Jason R. Thorpe of the Numerical Aerospace Simulation Facility, NASA Ames Research Center.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.
4. Neither the name of The NetBSD Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE NETBSD FOUNDATION, INC. AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ Ncurses 5.9

-- Copyright (c) 1998-2004,2006 Free Software Foundation, Inc. --
-- --
-- Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a --

```

-- copy of this software and associated documentation files (the
-- "Software"), to deal in the Software without restriction, including
-- without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish,
-- distribute, distribute with modifications, sublicense, and/or sell copies
-- of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished
-- to do so, subject to the following conditions:
--
-- The above copyright notice and this permission notice shall be included
-- in all copies or substantial portions of the Software.
--
-- THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS
-- OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF
-- MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN
-- NO EVENT SHALL THE ABOVE COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM
-- DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR
-- OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE
-- USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.
--
-- Except as contained in this notice, the name(s) of the above copyright
-- holders shall not be used in advertising or otherwise to promote the
-- sale, use or other dealings in this Software without prior written
-- authorization.

```

-- \$Id: README.v 1.23 2006/04/22 22:19:37 tom Exp \$

README file for the ncurses package

See the file ANNOUNCE for a summary of ncurses features and ports.
 See the file INSTALL for instructions on how to build and install ncurses.
 See the file NEWS for a release history and bug-fix notes.
 See the file TO-DO for things that still need doing, including known bugs.

Browse the file misc/ncurses-intro.html for narrative descriptions of how to use ncurses and the panel, menu, and form libraries.

Browse the file doc/html/hackguide.html for a tour of the package internals.

ROADMAP AND PACKAGE OVERVIEW:

You should be reading this file in a directory called: ncurses-d.d, where d.d is the current version number (see the dist.mk file in this directory for that). There should be a number of subdirectories, including 'c++', 'form', 'man', 'menu', 'misc', 'ncurses', 'panel', 'progs', 'test', 'tack' and 'Ada95'. (The 'tack' program may be distributed separately).

A full build/install of this package typically installs several libraries, a handful of utilities, and a database hierarchy. Here is an inventory of the pieces:

The libraries are:

```

libncurses.a      (normal)
libncurses.so     (shared)
libncurses_g.a   (debug and trace code enabled)
libncurses_p.a   (profiling enabled)

libpanel.a        (normal)
libpanel.so       (shared)
libpanel_g.a      (debug and trace code enabled)

libmenu.a         (normal)
libmenu.so        (shared)
libmenu_g.a       (debug enabled)

libform.a         (normal)
libform.so        (shared)
libform_g.a       (debug enabled)

```

If you configure using the `--enable-widec` option, a "w" is appended to the library names (e.g., `libncursesw.a`), and the resulting libraries support wide-characters, e.g., via a UTF-8 locale. The corresponding header files are compatible with the non-wide-character configuration; wide-character features are provided by `ifdefs` in the header files. The wide-character library interfaces are not binary-compatible with the non-wide-character version.

The ncurses libraries implement the curses API. The panel, menu and forms libraries implement clones of the SVr4 panel, menu and forms APIs. The source code for these lives in the 'ncurses', 'panel', 'menu', and 'form' directories respectively.

In the 'c++' directory, you'll find code that defines an interface to the curses, forms, menus and panels library packaged as C++ classes, and a demo program to test it. These class definition modules are not installed by the 'make install.libs' rule as `libncurses++`.

In the 'Ada95' directory, you'll find code and documentation for an Ada95 binding of the curses API, to be used with the GNAT compiler. This binding is built by a normal top-level 'make' if configure detects an usable version of GNAT (3.11 or above). It is not installed automatically. See the Ada95 directory for more build and installation instructions and for documentation of the binding.

To do its job, the ncurses code needs your terminal type to be set in the environment variable TERM (normally set by your OS; under UNIX, `getty(1)` typically does this, but you can override it in your `.profile`); and, it needs a database of terminal descriptions in which to look up your terminal type's capabilities.

In older (V7/BSD) versions of curses, the database was a flat text file, `/etc/termcap`; in newer (USG/USL) versions, the database is a hierarchy of fast-loading binary description blocks under `/usr/lib/terminfo`. These binary blocks are compiled from an improved editable text representation called 'terminfo' format (documented in `man/terminfo.5`). The ncurses library can use either `/etc/termcap` or the compiled binary terminfo blocks, but prefers the second form.

In the 'misc' directory, there is a text file `terminfo.src`, in editable terminfo format, which can be used to generate the terminfo binaries (that's

what make install.data does). If the package was built with the `--enable-termcap` option enabled, and the ncurses library cannot find a terminfo description for your terminal, it will fall back to the termcap file supplied with your system (which the ncurses package installation leaves strictly alone).

The utilities are as follows:

```
tic      -- terminfo source to binary compiler
infocmp -- terminfo binary to source decompiler/comparator
clear    -- emits clear-screen for current terminal
tput     -- shell-script access to terminal capabilities.
toe      -- table of entries utility
tset     -- terminal-initialization utility
```

The first two (`tic` and `infocmp`) are used for manipulating terminfo descriptions; the next two (`clear` and `tput`) are for use in shell scripts. The last (`tset`) is provided for 4.4BSD compatibility. The source code for all of these lives in the `'progs'` directory.

Detailed documentation for all libraries and utilities can be found in the `'man'` and `'doc'` directories. An HTML introduction to ncurses, panels, and menus programming lives in the `'doc/html'` directory. Manpages in HTML format are under `'doc/html/man'`.

The `'test'` directory contains programs that can be used to verify or demonstrate the functions of the ncurses libraries. See `test/README` for descriptions of these programs. Notably, the `'ncurses'` utility is designed to help you systematically exercise the library functions.

AUTHORS:

Pavel Curtis:

wrote the original ncurses

Zeyd M. Ben-Halim:

port of original to Linux and many enhancements.

Thomas Dickey (maintainer for 1.9.9g through 4.1, resuming with FSF's 5.0):

configuration scripts, porting, mods to adhere to XSI Curses in the areas of background color, terminal modes. Also memory leak testing, the `wresize`, default colors and key definition extensions and numerous bug fixes (more than half of those enumerated in NEWS beginning with the internal release 1.8.9).

Florian La Roche (official maintainer for FSF's ncurses 4.2)

Beginning with release 4.2, ncurses is distributed under an MIT-style license.

Eric S. Raymond:

the man pages, `infocmp(1)`, `tput(1)`, `clear(1)`, `captoinfo(1)`, `tset(1)`, `toe(1)`, most of `tic(1)`, trace levels, the HTML intro, `wgetnstr()` and many other entry points, the cursor-movement optimization, the scroll-pack optimizer for vertical motions, the mouse interface and xterm mouse support, and the ncurses test program.

Juergen Pfeifer

The menu and form libraries, C++ bindings for ncurses, menus, forms and panels, as well as the Ada95 binding. Ongoing support for panel.

CONTRIBUTORS:

Alexander V. Lukyanov

for numerous fixes and improvements to the optimization logic.

David MacKenzie

For first-class bug-chasing and methodical testing.

Ross Ridge

or the code that hacks termcap parameterized strings into terminfo.

Warren Tucker and Gerhard Fuernkranz,

for writing and sending the panel library.

Hellmuth Michaelis,

for many patches and testing the optimization code.

Eric Newton, Ulrich Drepper, and Anatoly Ivasyuk:

the C++ code.

Jonathan Ross,

for lessons in using sed.

Keith Bostic (maintainer of 4.4BSD curses)

for help, criticism, comments, bug-finding, and being willing to deep-six BSD curses for this one when it grew up.

Richard Stallman,

for his commitment to making ncurses free software.

Countless other people have contributed by reporting bugs, sending fixes, suggesting improvements, and generally whining about ncurses :-)

BUGS:

See the `INSTALL` file for bug and developer-list addresses.

The Hacker's Guide in the `doc` directory includes some guidelines on how to report bugs in ways that will get them fixed most quickly.

■ nkf

/** Network Kanji Filter. (PDS Version)

** Copyright (C) 1987, Fujitsu LTD. (Itaru ICHIKAWA)

** 連絡先: (株) 富士通研究所 ソフト3研 市川 至

** (E-Mail Address: ichikawa@flab.fujitsu.co.jp)

** Copyright (C) 1996,1998

** Copyright (C) 2002

```
** 連絡先：琉球大学情報工学科 河野 真治 mime/X0208 support
** (E-Mail Address: kono@ie.u-ryukyu.ac.jp)
** 連絡先：COW for DOS & Win16 & Win32 & OS/2
** (E-Mail Address: GHG00637@niftyserve.or.jp)
**
** このソースのいかなる複写、改変、修正も許諾します。ただし、
** その際には、誰が貢献したかを示すこの部分を残すこと。
** 再配布や雑誌の付録などの問い合わせも必要ありません。
** 営利利用も上記に反しない範囲で許可します。
** バイナリの配布の際には version message を保存することを条件とします。
** このプログラムについては特に何の保証もしない、悪しからず。
**
** Everyone is permitted to do anything on this program
** including copying, modifying, improving.
** as long as you don't try to pretend that you wrote it.
** i.e., the above copyright notice has to appear in all copies.
** Binary distribution requires original version messages.
** You don't have to ask before copying, redistribution or publishing.
** THE AUTHOR DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE.
```

■ OpenSSL 1.0.1h LICENSE ISSUES

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit.
See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eyay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eyay@cryptsoft.com)
All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eyay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.
If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.
This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"

The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).

4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:

"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publicly available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

■ pcrc 8.35

PCRE LICENCE

PCRE is a library of functions to support regular expressions whose syntax and semantics are as close as possible to those of the Perl 5 language.

Release 8 of PCRE is distributed under the terms of the "BSD" licence, as specified below. The documentation for PCRE, supplied in the "doc" directory, is distributed under the same terms as the software itself.

The basic library functions are written in C and are freestanding. Also included in the distribution is a set of C++ wrapper functions, and a just-in-time compiler that can be used to optimize pattern matching. These are both optional features that can be omitted when the library is built.

THE BASIC LIBRARY FUNCTIONS

Written by: Philip Hazel
Email local part: ph10
Email domain: cam.ac.uk

University of Cambridge Computing Service,
Cambridge, England.

Copyright (c) 1997-2014 University of Cambridge
All rights reserved.

PCRE JUST-IN-TIME COMPILATION SUPPORT

Written by: Zoltan Herczeg
Email local part: hzmester
Email domain: freemail.hu

Copyright(c) 2010-2014 Zoltan Herczeg
All rights reserved.

STACK-LESS JUST-IN-TIME COMPILER

Written by: Zoltan Herczeg
Email local part: hzmester
Email domain: freemail.hu

Copyright(c) 2009-2014 Zoltan Herczeg
All rights reserved.

THE C++ WRAPPER FUNCTIONS

Contributed by: Google Inc.

Copyright (c) 2007-2012, Google Inc.
All rights reserved.

THE 'BSD' LICENCE

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither the name of the University of Cambridge nor the name of Google Inc. nor the names of their contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

End

■ radvd 1.9.3

The author(s) grant permission for redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, of the software and documentation provided that the following conditions are met:

0. If you receive a version of the software that is specifically labelled as not being for redistribution (check the version message and/or README), you are not permitted to redistribute that version of the software in any way or form.
1. All terms of all other applicable copyrights and licenses must be followed.
2. Redistributions of source code must retain the authors' copyright notice(s), this list of conditions, and the following disclaimer.
3. Redistributions in binary form must reproduce the authors' copyright notice(s), this list of conditions, and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
4. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement with the name(s) of the authors as specified in the copyright notice(s) substituted where indicated:

This product includes software developed by the authors which are mentioned at the start of the source files and other contributors.

5. Neither the name(s) of the author(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ITS AUTHORS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ STLPart 5.2.1

Copyright (c) 1994
Hewlett-Packard Company

Copyright (c) 1996-1999
Silicon Graphics Computer System, Inc.

Copyright (c) 1997
Moscow Center for SPARC Technology

Copyright (c) 1999-2003
Boris Fomitchev

This material is provided "as is", with absolutely no warranty expressed or implied. Any use is at your own risk.

Permission to use or copy this software for any purpose is hereby granted without fee, provided the above notices are retained on all copies. Permission to modify the code and to distribute modified code is granted, provided the above notices are retained, and a notice that the code was modified is included with the above copyright notice.

■ tcpdump 3.9.x

License: BSD

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The names of the authors may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

■ telnetd

Copyright (c) 1991 The Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that: (1) source distributions retain this entire copyright notice and comment, and (2) distributions including binaries display the following acknowledgement: "This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors" in the documentation or other materials provided with the distribution and in all advertising materials mentioning features or use of this software.

Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE

Copyright (c) 1988 The Regents of the University of California.
Copyright (c) 1988, 1993 The Regents of the University of California.
Copyright (c) 1989 The Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ zlib 1.2.3 ZLIB DATA COMPRESSION LIBRARY

zlib 1.2.3 is a general purpose data compression library. All the code is thread safe. The data format used by the zlib library is described by RFCs (Request for Comments) 1950 to 1952 in the files <http://www.ietf.org/rfc/rfc1950.txt> (zlib format), [rfc1951.txt](http://www.ietf.org/rfc/rfc1951.txt) (deflate format) and [rfc1952.txt](http://www.ietf.org/rfc/rfc1952.txt) (gzip format). These documents are also available in other formats from <ftp://ftp.uu.net/graphics/png/documents/zlib/zdoc-index.html>

All functions of the compression library are documented in the file `zlib.h` (volunteer to write man pages welcome, contact zlib@gzip.org). A usage example of the library is given in the file `example.c` which also tests that the library is working correctly. Another example is given in the file `minigzip.c`. The compression library itself is composed of all source files except `example.c` and `minigzip.c`.

To compile all files and run the test program, follow the instructions given at the top of `Makefile`. In short "make test; make install" should work for most machines. For Unix: `./configure; make test; make install`. For MSDOS, use one of the special makefiles such as `Makefile.msc`. For VMS, use `make_vms.com`.

Questions about zlib should be sent to zlib@gzip.org, or to Gilles Vollant info@winimage.com for the Windows DLL version. The zlib home page is <http://www.zlib.org> or <http://www.gzip.org/zlib/>. Before reporting a problem, please check this site to verify that you have the latest version of zlib; otherwise get the latest version and check whether the problem still exists or not.

PLEASE read the zlib FAQ http://www.gzip.org/zlib/zlib_faq.html before asking for help.

Mark Nelson markn@ieee.org wrote an article about zlib for the Jan. 1997 issue of Dr. Dobbs' Journal; a copy of the article is available in <http://dogma.net/markn/articles/zlibtool/zlibtool.htm>

The changes made in version 1.2.3 are documented in the file `ChangeLog`.

Unsupported third party contributions are provided in directory "contrib".

A Java implementation of zlib is available in the Java Development Kit <http://java.sun.com/j2se/1.4.2/docs/api/java/util/zip/package-summary.html>
See the zlib home page <http://www.zlib.org> for details.

A Perl interface to zlib written by Paul Marquess pmqs@cpan.org is in the CPAN (Comprehensive Perl Archive Network) sites <http://www.cpan.org/modules/by-module/Compress/>

A Python interface to zlib written by A.M. Kuchling amk@amk.ca is available in Python 1.5 and later versions, see <http://www.python.org/doc/lib/module-zlib.html>

A zlib binding for TCL written by Andreas Kupries a.kupries@westend.com is available at http://www.oche.de/~akupries/soft/trf/trf_zip.html

An experimental package to read and write files in .zip format, written on top of zlib by Gilles Vollant info@winimage.com, is available in the `contrib/minizip` directory of zlib.

Notes for some targets:

- FOR Windows DLL versions, please see `win32/DLL_FAQ.txt`
- For 64-bit Irix, `deflate.c` must be compiled without any optimization. With `-O`, one `libpng` test fails. The test works in 32 bit mode (with the `-n32` compiler flag). The compiler bug has been reported to SGI.
- zlib doesn't work with `gcc 2.6.3` on a DEC 3000/300LX under OSF/1 2.1 it works when compiled with `cc`.
- On Digital Unix 4.0D (formerly OSF/1) on AlphaServer, the `cc` option `-std1` is necessary to get `gzprintf` working correctly. This is done by `configure`.
- zlib doesn't work on HP-UX 9.05 with some versions of `/bin/cc`. It works with other compilers. Use "make test" to check your compiler.
- `gzdopen` is NOT supported on RISCOS, BEOS and by some Mac compilers.
- For PalmOs, see <http://palmzlib.sourceforge.net/>
- When building a shared, i.e. dynamic library on Mac OS X, the library must be installed before testing (do "make install" before "make test"), since the library location is specified in the library.

Acknowledgments:

The deflate format used by zlib was defined by Phil Katz. The deflate and zlib specifications were written by L. Peter Deutsch. Thanks to all the people who reported problems and suggested various improvements in zlib; they are too numerous to cite here.

Copyright notice:

(C) 1995-2004 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly Mark Adler
jloup@gzip.org madler@alumni.caltech.edu

If you use the zlib library in a product, we would appreciate *not* receiving lengthy legal documents to sign. The sources are provided for free but without warranty of any kind. The library has been entirely written by Jean-loup Gailly and Mark Adler; it does not include third-party code.

If you redistribute modified sources, we would appreciate that you include in the file ChangeLog history information documenting your changes. Please read the FAQ for more information on the distribution of modified source versions.



携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するため
お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メー
カーを問わず、♻️マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

モバイルリサイクルネットワーク
携帯電話の中身のリサイクルにご協力ください。

発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）

製造元：NECプラットフォームズ株式会社

Speed Wi-Fi NEXT WX01 取扱説明書 第 1.1 版

AM1-002691-002
2015年6月